

第二次魚沼市総合計画

前期基本計画 中間検証

〈施策シート〉

魚沼市総務政策部企画政策課

〈分野別 主要な施策〉

第1節 生活基盤

第1項	安心で便利な生活基盤の整備.....	1
第2項	快適な暮らしを支える生活基盤の整備.....	5
第3項	暮らしを守る防災体制の整備.....	9

第2節 環境衛生・自然

第1項	豊かな自然の保全と育成.....	13
第2項	自然の恵みを活かす仕組みづくりの推進.....	17
第3項	自然に親しみ、学び、誇りを持てるふるさとの創造.....	21
第4項	循環型社会環境の整備.....	25

第3節 健康・福祉

第1項	心身ともに健康で笑顔あふれる暮らしの創造.....	29
第2項	安心して産み育てる喜びを感じることができる社会の構築.....	33
第3項	市民が安心して暮らせる仕組みの構築.....	37
第4項	高齢者が安心して生き生きと暮らせる仕組みの構築.....	41
第5項	誰もが健康管理ができる安心で身近な地域医療の充実.....	45

第4節 産業

第1項	地域資源の活用による産業の振興.....	49
第2項	魅力ある農林業の振興.....	53
第3項	商工観光業の競争力強化.....	57
第4項	雇用機会の拡充と地域の担い手の確保.....	61

第5節 教育・文化

第1項	生涯学び続ける仕組みの充実.....	65
第2項	乳幼児期の教育の充実.....	69
第3項	市民が参加する学校づくりの推進.....	73
第4項	潤いのある地域文化や芸術の振興と創造.....	77
第5項	楽しく質の高いスポーツ・レクリエーションの振興.....	81

第6節 市民協働・自治体運営

第1項	市民参画と行政との協働の推進.....	85
第2項	市民参画による地域づくりの推進.....	89
第3項	市民に信頼される開かれた行政運営.....	93
第4項	選択と集中による財政運営.....	97

〈重点施策〉

第1項	第1号	雇用の創出、就業の場の確保.....	101
第1項	第2号	結婚・出産・子育ての支援.....	105
第2項	第1項	食のまちづくりの推進.....	109
第2項	第2号	地域資源を活かした産業おこし.....	113
第3項	第1号	市民参画の推進とコミュニティの充実・強化.....	115
第3項	第2号	「魚沼市版コンパクトなまちづくり」の推進.....	119

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	生活基盤	作成日	
基本目標	第1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり	検証担当	産業経済部
	快適な生活環境と雪や災害に強い体制を構築し、今もこれからも愛着をもって暮らせるまちづくりをすすめます。	関係部署	
主要施策	第1項 安心して便利な生活基盤の整備		

2. 市民アンケートの結果

主要な施策		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
	1-(1) 安全で便利な生活基盤の整備			13.4%	46.8%	22.1%	9.4%	3.2%	0.37				
				64.7%	23.6%	1.1%	0.2%	2.8%	2.16				
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">タイプ1 重点課題領域</td> <td style="width: 50%;">タイプ2 安定維持領域</td> </tr> <tr> <td>タイプ3 警戒領域</td> <td>タイプ4 見守り領域</td> </tr> </table>		タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域	タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域					
タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域												
タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域												
関連する主な取組	① 1. 道路の整備 (前回項目：自宅周辺の生活道路の整備)	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
				11.1%	41.4%	21.2%	8.4%	17.9%	0.28				
		R1調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
				30.7%	40.1%	9.1%	1.2%	18.9%	1.20				
		② 3. 市街地の拠点づくり	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数			
				5.1%	36.8%	28.3%	6.6%	23.2%	0.04				
	R1調査		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
				19.7%	41.5%	14.8%	1.8%	22.2%	0.80				
		③ 21. まちのバリアフリー化の促進	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数			
				5.1%	34.3%	31.6%	8.0%	20.9%	-0.06				
	R1調査		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
				28.3%	38.6%	11.1%	0.8%	21.1%	1.10				
		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
				4.0%	37.0%	38.5%	9.1%	11.5%	-0.17				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
				37.5%	45.1%	6.6%	1.3%	9.4%	1.47				
分析結果	<p>「道路の整備」については、前回調査から満足度・重要度とも上昇し、見守り領域から安定維持領域になりました。</p> <p>「市街地の拠点づくり」は、前回調査から重要度は上昇していますが、満足度は低下しています。依然、警戒領域となっています。</p> <p>「バリアフリー化の促進」は、前回調査から重要度は上昇していますが、満足度は低下しています。依然、警戒領域となっています。</p> <p>前回調査から「わからない」の回答割合が減少し、関心は高まっています。</p>												

※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。

3. [前期基本計画]主要な施策を構成する施策の成果

施策名称		第 1 号 道路網の整備										
施策目標	地域発展や産業の振興を図るため、幹線道路の整備及び利便性の高い交通ネットワークの強化に努めるとともに、災害時の孤立集落解消のため、道路機能の向上を促進します。											
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考			
	道路の整備延長 (m)	0	1,365	2,251	3,316			7,500	m			
評価	評価区分	H28	H29	H30	R1	R2	備考					
	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	高い	高い							
二次評価	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	高い	高い							
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続							
取組状況	<p>市道の整備については、道路交通ネットワークの構築による地域住民の生活環境の向上のため、地域要望や冬期の除雪対策等を勘案し、必要性や効果を見極めながら着実に整備を進めており、平成28年度から平成30年度までに3,316mの市道整備を行いました。</p> <p>平成28年に都市計画マスタープランを改訂し、「魚沼市コンパクトなまちづくり」を推進しており、さらには平成29年に立地適正化計画を策定し、居住誘導区域及び都市機能誘導区域を明示して計画実行の取組みを進めています。また、平成28年から進めてきた景観計画策定については、平成30年度に策定が完了したことから、今後は周知期間とともに運営審議会等の体制準備を整え、令和3年度の運用開始に向けて事務を進めています。</p>											
課長検証	<p>市道の整備については、国県道や公共施設へのアクセスなど、道路交通ネットワークの構築が概ね計画に沿って進捗しており、道路の整備における市民アンケート調査結果は、前回調査から満足度・重要度とも上昇しています。</p> <p>また、「都市計画マスタープラン」の改訂、「立地適正化計画」の策定により、居住誘導区域及び都市機能誘導区域を明示して計画実行の取組みを進めていること、さらに「景観計画」の策定が完了し、令和3年度の運用開始に向けて事務を進めていることから、一定の成果があったと判断し、「概ね良好」としました。</p>											概ね良好

施策名称		第 2 号 道路機能の維持向上										
施策目標	地域の実情に即した道路の機能向上、ユニバーサルデザイン化など人にやさしい生活道路を整備するとともに、適切な維持管理による長寿命化をすすめます。また、冬期間の道路機能を確保するため、効率的な除雪体制の確立及び関連施設の機能向上を図ります。											
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考			
	歩道整備延長 (m)	0	1,502	1,961	2,458			3,000	m			
評価	評価区分	H28	H29	H30	R1	R2						
	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	高い	高い							
二次評価	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	高い	高い	高い							
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続							
取組状況	<p>道路施設の老朽化対策については、劣化した舗装の打ち換えや破損した側溝の布せ換えを実施し、橋梁については法定点検に基づき損傷の著しいものから修繕を実施しました。また、冬期については、機械除雪及び消雪パイプにより交通確保を実施しました。</p>											
課長検証	<p>道路機能の維持・向上については、老朽化した施設の修繕及び更新を実施し安全に道路を通行できています。また冬期間においても、機械除雪及び消雪パイプにより交通の確保ができていたため、概ね良好としました。</p>											概ね良好

施策名称		第 3 号 ライフラインの維持向上										
施策目標	ガス・上下水道は、人口減少に伴う料金収入の減少、施設の老朽化に伴う更新投資の増大などにより、経営環境が厳しくなることを踏まえ、施設の統廃合や効率化を図り、将来を見据えた適正な規模の施設整備をすすめます。また、快適な生活環境を維持するために安全安心な供給体制の維持向上を図ります。											
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考			
	ガス・水道・下水道施設の統合（ガスの施設数）	36	35	35	35			34	か所			
	ガス・水道・下水道施設の統合（水道の施設数）	49	49	49	49			48	か所			
評価	評価区分	H28	H29	H30	R1	R2						
	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い							
二次評価	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い							
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続							
取組状況	<p>(1) ガス 経年管対策として本支管布設替を1,477m実施しました。残りの2,039mは令和2年度までに実施する予定です。</p> <p>(2) 水道 魚沼市上水道吉水水源設備が老朽化していたため、下倉水源からの給水を開始しました。安定給水を行うため引き続き小出・堀之内連絡管整備を実施する予定です。老朽管対策として1,929mの配水管布設替を実施しました。</p> <p>(3) 下水道 雁坂下処理場の電気・機械設備更新を行いました。建築設備更新を令和元年度から事業を実施する予定です。奥只見浄化センター更新のための実施設計を行いました。更新工事は令和元年度～令和2年度の予定です。</p> <p>その他にマンホールポンプ通報装置やマンホール蓋等の更新を行いました。</p>											
課長検証	<p>関係機関との協議・連絡調整を図り事業を実施し、施設の更新により、快適な生活環境の維持及び安全安心な供給体制の維持向上に貢献できました。</p> <p>他工事との調整により一部事業を実施できませんでした。概ね目標どおり事業を実施することができたので概ね良好と評価しました。</p>											概ね良好

4. 主要な施策の総合検証

一次 検証	検証者(職・氏名)	産業経済部長 小幡 直	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	○
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	<p>満足度、重要度共高い水準を維持しているため、引き続き施策を推進する。 道路交通ネットワークの構築については、概ね計画に沿って進捗している。新規道路改良整備について、他事業関連や地域要望を勘案し、検討していく必要がある。 今後は、ストックインフラの経年劣化に対する維持修繕、更新を積極的に進めていく必要がある。 また、冬期交通確保のため、除雪機械の更新及び消雪施設の更新を計画的に進めていく必要がある。</p>		
二次 検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	○
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	<p>既存道路については、道路形状等の要因から改良時に必ずしもユニバーサルデザイン化できない状況である。しかし、今後、高齢化が進むことで電動カート等の利用増加も見込まれるため、ユニバーサルデザイン化へ一層取り組む必要がある。</p>		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	生活基盤	作成日	
基本目標	第 1 節 安心な暮らし 愛着もてるまちづくり 快適な生活環境と雪や災害に強い体制を構築し、今もこれからも愛着をもって暮らせるまちづくりをすすめます。	検証担当	市民福祉部
主要施策	第 2 項 快適な暮らしを支える生活環境の整備	関係部署	

2. 市民アンケートの結果

主要な施策		R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
	1-(2) 快適な暮らしを支える生活環境の整備		3.8%	27.5%	28.5%	17.9%	16.6%	-0.43	1.90				
			55.3%	28.3%	3.4%	0.2%	6.4%						
	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">タイプ 1 重点課題領域</td> <td style="padding: 5px;">タイプ 2 安定維持領域</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">タイプ 3 警戒領域</td> <td style="padding: 5px;">タイプ 4 見守り領域</td> </tr> </table>	タイプ 1 重点課題領域	タイプ 2 安定維持領域	タイプ 3 警戒領域	タイプ 4 見守り領域								
タイプ 1 重点課題領域	タイプ 2 安定維持領域												
タイプ 3 警戒領域	タイプ 4 見守り領域												
関連する主な取組	①	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
		R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数					
	②	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
		R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数					
	③	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
		R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数					
分析結果													
			<p>「鉄道・バス等の公共交通網の充実」は、前回調査から重要度は上昇していますが、満足度は大幅に低下しています。 「交通安全対策」は、前回調査から重要度の上昇により、見守り領域から安定維持領域になりました。</p>										

※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。

3. [前期基本計画]主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 公共交通の持続可能な仕組みづくり									
施策目標	鉄道、路線バス、乗合タクシー等の交通資源の有効活用に加え、将来を見据えたコミュニティバスの導入の検討など、市民生活の足として通学、通院、買い物など地域の実情に対応した持続可能な公共交通体系を整備し、利便性の向上と利用の促進を図ります。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	乗合タクシーの利用者数	26,835	25,079	23,554	23,858			28,000	人
	入広瀬コミュニティバス利用者数 (No1の外数)			1,984	4,364				人
	交通事故件数	72	72	85	57			70	件 (少ないほど良い)
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2		備考
	二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや低い	やや低い	やや高い			
課長検証	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	高い	高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	改善	改善	現状で継続				
取組状況	<p>魚沼市地域公共交通網計画に基づきJRをはじめ路線バス事業者、タクシー事業者、コミュニティバス事業者による市民の生活を支える公共交通手段が確保されています。</p> <p>公共交通連携事業の利用者数の減少は、入広瀬地域コミュニティバスの運行によるもので、総体的な利用者数は増加傾向となっています。</p> <p>高齢者の交通確保として運転免許自主返納者への乗合タクシー共通回数券の交付事業は、高齢者の交通安全活動の一環を担っていることから、交通安全教育とあわせ推進する必要があります。</p> <p>市内における交通事故発生件数は減少傾向にあるものの、死亡事故者数は減少傾向ではないことから、引き続き啓発活動を展開する必要があります。</p>								
課長検証	<p>いわゆる交通弱者の生活の足(手段)の確保が継続して重要課題です。さらなる利便性の向上によって、快適で安心な生活ができる生活環境の確保が重要です。</p> <p>そのため、魚沼市地域公共交通形成計画に基づき、公共交通ネットワークの確保・維持を図ることが重要です。</p>								概ね良好
施策名称 第 2 号 情報通信基盤の整備と活用									
施策目標	情報通信基盤においては、市内どこでも情報が早く的確に伝わることをめざすとともに、地域に密着した情報を発信できる環境整備及び公共施設や商業施設、観光施設等への公衆無線LANの設置をすすめ、情報通信技術を利用した利便性の高い地域の実現を図ります。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	ICT(情報通信技術)推進計画の達成度(%)	-	-	-	-			100.0	
	コミュニティFM放送聴取可能世帯の割合(%)	-	97.0	98.0	98.0			100.0	※
※FM放送聴取可能世帯の割合の実績値については、理論上の数値であり、難聴取に関する問い合わせが多数あることから、実際の聴取可能世帯割合は、実績値より低いと想定されます。									
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2		
	二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや低い	やや低い			
課長検証	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 折立及び大湯に光ファイバを整備しました。令和2年度には福山新田にも整備する計画です。 公共施設に公衆無線LANの整備を進めたほか、民間事業者に対しても補助金を交付し整備を支援しました。 防災時の情報発信手段として有効なコミュニティFMの開局支援を行いました。開局後は、難聴取地域対策として中継局や簡易送信局整備を行っています。 								
課長検証	情報通信基盤整備については、目標を概ね達成の見込みです。								概ね良好
施策名称 第 3 号 住環境の整備									
施策目標	屋根雪除雪の安全対策や一般住宅の克雪化、耐震化などをすすめるほか、法令に基づき空き家対策として所有者等に解体・撤去を含めた適正な管理を促すとともに、空き家バンクなどを通じて有効活用を図ります。また、公営住宅については、計画的な改修による長寿命化を図るとともに、民間活力も視野に入れながら住民ニーズに対応した再編整備をすすめます。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	克雪住宅支援件数	4,139	27	52	75			300	件
	空き家バンク登録件数	-	12	19	21			40	件
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2		
	二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い			
課長検証	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	改善	現状で継続				
取組状況	<p>公営住宅については、耐震化されていない住宅の耐震工事や老朽化した施設の改修工事を進め、安全な公営住宅の整備として成果を上げています。</p> <p>現在82棟678戸の住宅を抱え、施設の老朽化や人口減少など将来を見据えた公営住宅の適正管理、有効活用のために平成31年3月に魚沼市公営住宅等長寿命化計画を策定しました。</p> <p>一般住宅向けについては、安全安心な住宅整備のために各種支援事業を行いました。特に住宅リフォーム支援事業は申請件数も多く、魚沼市定住者の生活基盤の整備として成果を上げるとともに、地域建築業界の活性化にも寄与しています。</p> <p>空き家バンク登録数も概ね計画通りとなっており、成約物件もあることから定住促進及び地域景観維持に一定の成果があったものと考えます。</p>								
課長検証	<p>公営住宅の改修・整備事業はほぼ計画どおり進捗し、各種支援事業や空き家対策についても申請件数が伸びない事業もありましたが住環境の整備に一定の成果があったことから「概ね良好」としました。</p> <p>公営住宅の入居者は低所得者世帯が基準であるが、現状は低所得者かつ福祉世帯(母子、老人、障害者、生活保護者など)の割合が増加しており、この福祉世帯へ対応した住宅(バリアフリーなど)が必要とされていることが満足度の低下につながっていると思われます。今後は福祉住宅の整備等を視野に入れた公営住宅のあり方を検討していく必要があります。</p> <p>一般住宅向け支援については定住促進に向けて、住民ニーズに合った支援制度の充実や民間活力を活かした住環境整備の促進を図り、維持管理不能な空き家対策を進めていく必要があります。</p>								概ね良好

4. 主要な施策の総合検証

一次検証	検証者(職・氏名)	市民福祉部部長 小峯要一	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	<p>路線バスと乗合タクシーはお互いに競合しないことが前提であり、前提条件の中で、いかに市民の利便性を確保するかをさらに検討する必要がある。</p> <p>光ファイバー網整備やFM難聴地域解消、公営住宅の整備、リフォーム支援、空き家対策についても市民の安全安心につながる施策であることから、検証しながら継続して施策を進める必要がある。</p>		
二次検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	<p>「公共交通網の充実」については、アンケート結果において前回調査から大きく満足度が下がっており、使い勝手が悪いなどの意見も多い。満足度が低い理由を考え、路線バスと乗合タクシーがお互いに補完しながら、市民のニーズにあったバス交通網の整備に取り組む必要がある。</p> <p>また、運転免許証自主返納者へのタクシー券交付事業については、福祉分野との連携も視野に入れ、さらに高齢者の交通安全確保を図る必要がある。</p>		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	生活盤盤	作成日	
基本目標	第1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり 快適な生活環境と雪や災害に強い体制を構築し、今もこれからも愛着をもって暮らせるまちづくりをすすめます。	検証担当	総務政策部
主要施策	第3項 暮らしを守る防災体制の整備	関係部署	

2. 市民アンケートの結果

主要な施策		1-(3) 暮らしを守る防災体制の整備	R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数							
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数								
				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 15%;">タイプ1 重点課題領域</td> <td style="width: 15%;">タイプ2 安定維持領域</td> <td style="width: 15%;">タイプ3 警戒領域</td> <td style="width: 15%;">タイプ4 見守り領域</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>							タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域	タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域			
タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域	タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域														
関連する主な取組	①	6. 防災対策などの危機管理	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数							
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数								
			R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数							
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数								
			H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数							
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数								
	②	9. 河川の改修	R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数							
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数								
			H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数							
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数								
			R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数							
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数								
③	10. 雨水排水などの対策	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数									
		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数									
		H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数									
分析結果			<p>「防災対策などの危機管理」は、前回調査から「満足度」「重要度」とも上昇しました。 「わからない」と答えた人は、前回から大幅に減少しており、関心が高くなっていることがわかります。 「河川の改修」は、前回調査から重要度が上昇しました。 「雨水排水などの対策」は、満足度が低下し、重要度が上昇したことにより見守り領域から重点課題領域になりました。 「11. 土砂崩れ対策」「12. なだれ防止対策」は、前回調査から満足度・重要度とも上昇しました。 いずれの項目も、「満足」「やや満足」の合計が前回調査より上昇しました。</p>														

※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。

3.〔前期基本計画〕主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 自助・共助・公助の仕組みの充実									
施策目標	家庭・学校・職場などで自らがその生命や財産を守り（自助）、地域や企業が助け合い（共助）、市・消防本部・消防団・警察などによる応急・復旧対策活動（公助）の役割を明確にし、連携の仕組みを充実して災害対応を円滑にします。なお、消防団は、公助と共助の両方の側面があり、指揮統制で活動する実働部隊であると同時に、公助と共助や自助との「つなぎ役」、市民に対する「情報伝達者」であることから、役割の明確化を図ります。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	自主防災会の数	144	144	144	146			159	団体
評価	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	消防団協力事業所の数	12	9	12	13			15	団体
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや低い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	改善				
取組状況	毎年の防災訓練を通じて自助、共助の啓発活動と併せて、各地区における自主防災会組織の立ち上げを進めました。自主防災会組織は、平成30年度末で146団体*となりました。 なお、自主防災組織の防災力向上のため、すべての自治体に1人以上の防災士の配置を目指して資格取得に向けたセミナーへの参加支援を行っています。今後は、各地区の防災士が連携して地域の防災力の向上を図る取組が必要です。 市民の安全を守る身近な存在である消防団については、その活動を維持するため活動服等の貸与や活動に対する費用弁償の改正等を行いました。また、従業員に一定数の消防団員がいる、団員の消防活動に配慮があるなどの事業所を認定する「消防団協力事業所認定制度」や地域で消防団員を応援する「消防団サポートショップ」への加入促進など、団員が誇りを持って消防団活動に取り組める環境整備に努めました。 *自主防災組織として規約を制定している団体数								
課長検証	自主防災組織は146団体で組織され、また、防災士の有資格者も100人に達したことから、市民の防災、自助、共助の意識は確実に高まっています。ただし、自主防災組織と市の連携、防災士同士の連携など課題があります。また、市民アンケート結果からも「防災対策などの危機管理」に関して「満足」「やや満足」と答えた人の合計は前回調査から上昇していますが、「不満」「やや不満」と答えた人の合計も上昇しており、自主防災組織、防災士、消防団等連携して自助、共助の仕組みの充実を一層図る必要がありますが、防災意識は確実に高まっていることから「概ね良好」としました。								概ね良好
施策名称 第 2 号 自助・共助を支える支援体制の強化									
施策目標	家庭・学校・職場などでの災害への備え、危険箇所、避難場所や経路などの情報を提供するとともに、自らを守る防災意識の向上や防災教育の充実を図ります。また、自主防災会や防災士の育成・支援をすすめ、地域防災力の底上げを図るとともに、避難行動要支援者名簿や災害情報の共有を図るなど、地域や職場を守る災害対応を支援します。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	防災士の数	80	82	85	100			159	人
評価	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	消防団員の数	963	944	915	879			1,000	人
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや低い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	改善				
取組状況	魚沼市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例と整合・運動することにより今後の空き家等に関する対策を総合的に推進するため、平成29年9月に空き家等対策計画を策定しました。 また、危険空き家の対応については、適正に管理されていないことで人的被害が発生する危険性がある場合、所有者が存在する空き家については所有者に対して連絡、指導を行い、相続放棄により所有者が存在しない特定空き家については略式代執行を行いました。 防災士の育成については、各自主防災組織の中で防災力の向上のため、地域から選出された人材をはじめ消防団の幹部団員を中心に防災士の資格取得を要請し、平成30年度までに約100名の防災士を確保することができました。								
課長検証	空き家等対策計画を踏まえ、空き家等に関する相談窓口を一元化し、庁内関係課・関係団体等行政の連携のもとで総合的な対策に取り組んでいく必要があります。 また、冬期の積雪に伴う危険空き家の除雪対応等については、引き続き市民の安全のため継続した取り組みを進めるとともに、今後増加が想定される空き家対策については利活用を含め関係各課が連携して進めていく必要があります。 防災士の育成については、引き続き消防団等と連携した中で毎年15名程度を目標に、防災士の資格取得と地域リーダーとしての活躍を期待し、継続して支援を行っていきます。								概ね良好
施策名称 第 3 号 防災基盤の強化									
施策目標	市の防災体制、消防本部、消防団の充実を図るとともに、関係機関との協力関係を強化します。また、災害・防災情報の迅速、正確な提供を図るため、情報基盤の充実や情報通信事業者との連携をすすめるとともに、国県と連携し、自然災害の減災対策のための施設整備を促進します。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	消防団員の数	963	944	915	879			1,000	人
評価	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	消防団員の数	963	944	915	879			1,000	人
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	高い	高い	高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	改善				
取組状況	内水対策について、四日町排水ポンプ場の建設を平成29年度から令和4年度を計画期間として開始することとなり、浸水地域の被害の軽減が図られる排水対策に向けた取り組みが本格的にはじまりました。 消防団活動員は、団員の減少により消防団体制の継続が課題となっています。限られた人員で防災力の向上が図られる体制づくりが必要です。 災害時における情報の伝達について、防災行政無線のデジタル化を実施し基盤整備を進めることができましたが、一部の地域で受信不良が発生しており、今後は受信環境の改善に取り組みます。								
課長検証	防災行政無線のデジタル化が完了し、また、アンケート結果からも各災害への対策については、「満足」「やや満足」が50%以上となり概ね高い評価となりました。しかし、防災行政無線では、一部地域で受信不良が発生しているなど、今後は、受信環境の改善のほか、情報伝達手段の多様化を検討する必要があるため「概ね良好」としました。								概ね良好

4. 主要な施策の総合検証

一次検証	検証者(職・氏名)	総務政策部長 森山 徳裕	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	<p>成果指標自体は概ね目標値に向かって推移しており、また防災行政無線や緊急防災ラジオ等ハード面の整備も進んでいる。</p> <p>しかしながら、これまで整備育成してきた防災組織や防災士の活用をはじめとするソフト面においては、必ずしも進捗が図られているとはいえ、行政と地域の意思疎通をさらに図りながらそれぞれの地区における防災力の向上を推進していく必要がある。</p> <p>このことから、引き続きハード面の維持管理を行うとともに、「自助」「共助」のための地域への支援施策について強化していく必要がある。</p>		
二次検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	一次検証のとおり		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	環境衛生・自然	作成日	
基本目標	第 2 節 豊かな自然と人が共生するまちづくり	検証担当	産業経済部
	美しい魚沼の四季、これを織りなす雄大な自然を守り、活かし、親しみながら共生し、魅力あふれるまちづくりをすすめます。	関係部署	
主要施策	第 1 項 豊かな自然の保全と育成		

2. 市民アンケートの結果

主要な施策	2-(1) 豊かな自然の保全と育成	R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数			
				8.9%	30.4%	21.1%	6.0%	31.9%	0.18			
		R1 調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数			
				33.6%	39.8%	7.0%	1.9%	13.8%	1.28			
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>タイプ 1 重点課題領域</td> <td>タイプ 2 安定維持領域</td> </tr> <tr> <td>タイプ 3 警戒領域</td> <td>タイプ 4 見守り領域</td> </tr> </table>	タイプ 1 重点課題領域	タイプ 2 安定維持領域	タイプ 3 警戒領域	タイプ 4 見守り領域							
		タイプ 1 重点課題領域	タイプ 2 安定維持領域									
タイプ 3 警戒領域	タイプ 4 見守り領域											
関連する主な取組	① 13. 自然景観の保全	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数			
			10.1%	48.1%	19.8%	2.5%	19.5%	0.51				
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
			31.9%	38.3%	7.8%	1.4%	20.6%	1.22				
	R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			12.5%	50.6%	20.6%	3.8%	12.6%	0.56				
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
			29.8%	47.9%	10.4%	2.6%	9.2%	1.19				
	② 15. 森林や里山の保全	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数			
			7.0%	43.0%	24.3%	4.7%	21.0%	0.26				
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
			25.1%	45.7%	8.6%	0.8%	19.8%	1.10				
R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数					
		8.5%	48.3%	26.8%	4.7%	11.7%	0.33					
	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数					
		29.4%	49.4%	10.2%	1.9%	9.1%	1.22					
③ 16. 河川や水辺空間の保全	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
		5.8%	42.4%	25.7%	4.5%	21.6%	0.20					
	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数					
		28.0%	44.4%	6.8%	0.8%	20.0%	1.19					
R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数					
		7.5%	47.2%	28.1%	4.9%	12.3%	0.27					
	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数					
		27.9%	49.1%	11.1%	2.3%	9.6%	1.15					
分析結果	<p>「自然景観の保全」は、満足度がやや上昇しましたが、前回同様、見守り領域となっています。</p> <p>「森林や里山の保全」は、前回調査から満足度・重要度とも上昇していますが、依然、警戒領域となっています。</p> <p>「河川や水辺空間の保全」は、満足度がやや上昇しましたが、依然、警戒領域となっています。</p> <p>上記ともに前回調査から「わからない」の回答割合が減少し、関心は高まっています。</p>											
	<p>※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。</p>											

3.〔前期基本計画〕主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 豊かな自然と美しい景観の保全									
施策目標	やすらぎと潤いを与えてくれる貴重な自然環境を次世代へつなぐため、環境意識の啓発を図り、市民一人ひとりの環境保全に対する意識を高めるとともに、市民や関係団体と協働して、貴重・希少な動植物の保護に努めます。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	自然環境保全地域の指定数	0	2	3	3			5	か所
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続				
取組状況	<p>平成23年度から実施している自然環境保全調査は、NP0に委託して多くの市民ボランティア参加のもと毎年実施し、例年、植物では500種、鳥類60種、昆虫40種ほどが確認されています。また、成果の結果報告書は隔年で作成しておりデータベースの構築を進めるとともに、市民向け報告会として例年2月下旬に「生物多様性セミナー」を開催し、豊かな自然環境について啓発活動を行っています。</p> <p>調査結果の活用については、学術的な報告書の他に、市民や観光客が利用できるように「ガイドブック（仮称：ポケットブック）」としての活用が検討されています。</p> <p>なお、自然環境の経過を調査するためにも、今後も継続的な調査が必要です。</p>								
課長検証	調査結果を教育的な利用をはじめ、身近な里山観察や、遊歩道マップなどへの利活用について検討が始まった段階であり、具体的な利用まで結びついてはいません。								概ね良好

施策名称 第 2 号 森林と里山の再生									
施策目標	森林や里山の持つさまざまな機能を活かすための啓発活動、森林体験学習などの推進を図り、市民一人ひとりの森林保全に対する意識を高めます。また、「植える、育てる、伐る」の推進を図り、森林が循環していく体制整備を行うとともに、地域の特性に応じた健全な森林づくりをすすめます。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	森林体験学習の参加者数	216	240	267	328			340	人
	森林整備面積（H16～32累計）	539	612	645	675			715	ha
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	高い	高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	拡充	現状で継続	現状で継続				
取組状況	<p>森林・里山への関心を高める取組として、里山まつりや市民向け現地視察研修会等を開催しました。また、森林体験・環境学習に活用できるエリア等の調査を実施するとともに、既存体験メニューの洗い出しやインストラクターの育成研修を行うことにより森林体験・環境学習の充実を図りました。</p> <p>里山整備に対する助成を行い市民による里山整備の促進を図り、市有林及び私有林人工林の森林整備を計画的に実施することにより健全な森づくりを進めました。</p>								
課長検証	森林体験学習への参加者が伸びてきており、森林の有する公益的機能に関する普及啓発を進めることにより、市民の森林保全に対する意識向上は図られました。また、森林里山整備に対する助成により森林整備面積が着実に増加し、健全な森林づくりが進んでいると判断できます。								概ね良好

4. 主要な施策の総合検証

一次検証	検証者(職・氏名)	産業経済部長 小幡 直	
	検証者(職・氏名)	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	○
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	<p>満足度はやや上昇したが、まだ低い状況となっている。 重要度が高い中、更に森林や里山への関心を高め、市民の森林保全や活用に対する意識向上や環境意識を今以上に図っていく必要がある。 啓発活動を強化し、引き続き施策を推進する。</p>		

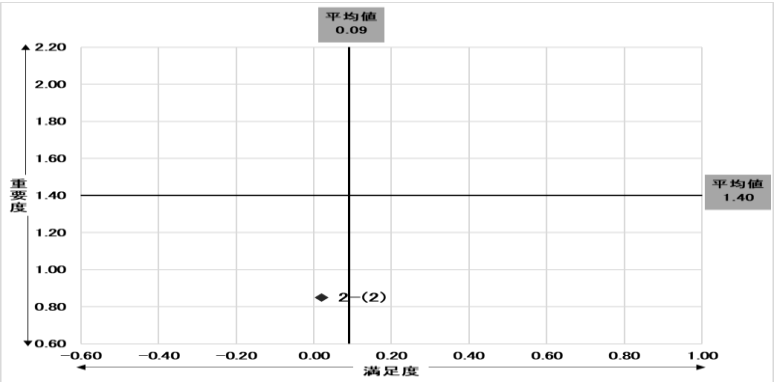
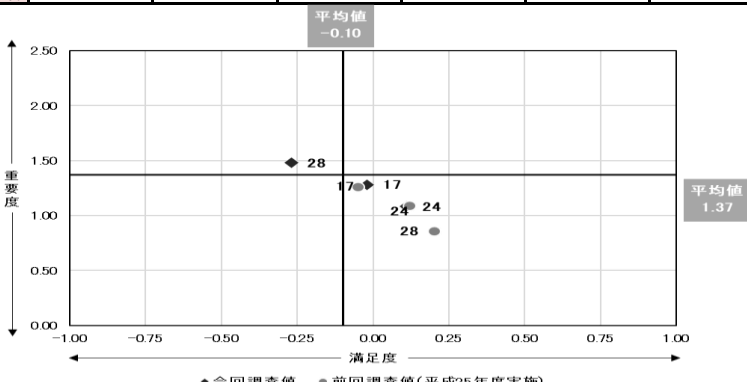
二次検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	○
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	一次検証のとおり		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	環境衛生・自然	作成日	
基本目標	第2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり	検証担当	産業経済部
	美しい魚沼の四季、これを織りなす雄大な自然を守り、活かし、親しみながら共生し、魅力あふれるまちづくりをすすめます。	関係部署	
主要施策	第2項 自然の恵みを活かす仕組みづくりの推進		

2. 市民アンケートの結果

主要な施策		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
	2-(2) 自然の恵みを活かす仕組みづくりの推進		4.7%	25.5%	19.6%	6.0%	41.5%	0.02	0.85				
			24.7%	34.0%	13.2%	3.2%	20.9%						
	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">タイプ1 重点課題領域</td> <td style="padding: 5px;">タイプ2 安定維持領域</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">タイプ3 警戒領域</td> <td style="padding: 5px;">タイプ4 見守り領域</td> </tr> </table>	タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域	タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域								
タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域												
タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域												
関連する主な取組	①	17. 省エネや新エネルギー対策の推進	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数			
			3.9%	35.4%	31.3%	6.8%	22.6%	-0.05					
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
			34.2%	35.6%	7.2%	1.4%	21.6%	1.27					
			R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数			
			5.8%	37.9%	36.2%	7.0%	13.0%	-0.02					
	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数						
	32.6%	44.7%	10.6%	1.5%	10.6%	1.28							
	②	24. 林業の振興	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数			
			6.6%	37.4%	26.5%	6.2%	23.3%	0.12					
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
			28.4%	38.3%	10.5%	1.2%	21.6%	1.09					
R1調査			満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
6.0%			44.7%	28.3%	7.9%	13.0%	0.11						
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数							
27.2%	47.7%	12.3%	2.8%	10.0%	1.08								
③	28. 観光業の振興 (H25調査項目：観光・レクリエーションの振興)	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
		6.4%	43.0%	24.1%	6.0%	20.6%	0.20						
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数					
		20.4%	43.8%	13.2%	1.9%	20.8%	0.86						
		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
		4.9%	35.1%	34.7%	14.0%	11.3%	-0.27						
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数							
40.4%	41.3%	7.5%	2.5%	8.3%	1.48								
分析結果	<p>「省エネや新エネルギー対策の推進」は、前回調査から満足度・重要度とも上昇しています。</p> <p>「林業の振興」は、前回調査とほぼ変化がなく、依然、警戒領域となっています。</p> <p>上記とともに前回調査から「わからない」の回答割合が減少し、関心は高まっています。「観光業の振興」は、満足度が低下し、重要度が上昇したことにより、見守り領域から重点課題領域になりました。</p> <p>前回調査から「わからない」の回答割合が減少し、関心は高まっています。</p>												
													

※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。

3. [前期基本計画]主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 自然環境を活用した地域づくりの推進									
施策目標	四季折々の美しく豊かな自然を活かした地域の魅力を発信し、交流などをすすめ、市民や関係団体と協働で地域の活性化を図ります。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	自然を活用した交流事業の参加者数	9,199	9,392	9,458	9,827			9,300	人
	ふるさと広場利用者数【追加】	-	2,226	1,522	2,452			2,700	人
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い		やや高い	やや低い	やや高い			
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い		やや高い	やや高い	やや高い			
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小		現状で継続	現状で継続	現状で継続			
取組状況	<p>体験型観光推進事業では、主に足立区、文京区及び江戸川区の小中学生の受入を行い、環境学習時の山岳ガイドや飯盒炊飯等の炊事場所の準備運営、歴史文化施設のガイド等について地域住民の協力をいただきながら実施しています。</p> <p>峠のふるさと広場においては、炭焼き体験施設の新築・改修、管理棟の屋根外壁等の改修、キャンプ場の改修、老朽化した遊具の撤去、林間歩道の改修などを行い、それらの施設を活用して交流人口の拡大に向けた取組を行いました。</p>								
課長検証	<p>自然環境を活用した魚沼地域の魅力発信は、地域住民との関わりを取り入れた体験型観光に重点を置いた取組を行っておりますが、こうした取組により、来訪者と地域との関わりがより深まることが期待されており、来訪者の本市に対する愛着だけでなく、体験受入れを行う地域住民にとっても地域を盛り上げようとする意識が広まるものと考えます。</p> <p>アンケート結果をみると、市民の満足度は平均値より低いものの、重要度については平均値より高いことから、地域活性化を図る上で更なる取組の強化が必要であると判断しました。</p>								概ね良好

施策名称 第 2 号 森林資源の利活用の推進									
施策目標	森林や里山づくりにより産出されるさまざまな森林資源の地産地消を推進するとともに、木質バイオマスエネルギーの有効利用と新たな利活用の取り組みを図り、地域の活性化をめざします。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	森林資源の利用量(t)	1,723	3,007	2,345	2,589			3,300	t
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い		高い	やや高い	やや高い			
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い		高い	やや高い	やや高い			
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小		現状で継続	現状で継続	現状で継続			
取組状況	<p>低質材の有効利用を目的に木質バイオマス発電事業に対し支援を行ってまいりましたが、東北電力への接続検討申請の回答として、設備増強に多大な費用と工事期間が必要なことが判明したこと、他の民間事業者による木質バイオマス発電事業の動きが確認されたことから、市として事業の推進を行わず推移を静観することとしました。</p> <p>地元産材の活用促進に向けた家づくり事業への取組みにより建築用材への活用量は年々増加しています。</p> <p>新商品開発事業ではブナを使った食器類、応接テーブル、打合せテーブルセット及びスギの低質材を使ったパーテーション等の試作品の製作を行いました。また、ブナの新たな活用法として新庁舎の接客カウンター用にブナの集成材の製作を行い建築用材としての活用を検討しました。</p>								
課長検証	<p>木質バイオマスエネルギーの有効利用においては十分な成果が得られませんでした。魚沼市産材の家づくり事業による地産地消の推進により森林資源の利活用の増加が図られました。新商品開発により試作された木製品の情報提供と販路の検討を行うことで魚沼産材の新たな需要の確保と地域の活性化に繋げていきます。</p>								やや不良

4. 主要な施策の総合検証

一次 検証	検証者(職・氏名)	産業経済部長 小幡 直	
	評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	重要度が高い中で、満足度が上がらない状況にある。 自然環境を活用した本市の魅力発信は、市民を巻き込んだ体験型観光に重点を置いており、今後も継続していく必要がある。 加えて、今後は市内の小中学生を対象とした事業等も検討していく必要がある。		

二次 検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	木質バイオマス発電事業については、電力会社や民間事業者の状況を注視しておく必要がある。		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	環境衛生・自然	作成日	
基本目標	第2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり	検証担当	教育委員会事務局
	美しい魚沼の四季、これを織りなす雄大な自然を守り、活かし、親しみながら共生し、魅力あふれるまちづくりをすすめます。	関係部署	市民福祉部 産業経済部
主要施策	第3項 自然に親しみ、学び、誇りを持てるふるさとの創造		

2. 市民アンケートの結果

主要な施策	2-(3)自然に親しみ、学び、誇りを持てるふるさとの創造	R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
				8.1%	37.9%	16.4%	4.2%	30.9%	0.33				
		R1調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
				21.5%	37.5%	16.0%	4.0%	16.4%	0.74				
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>タイプ1 重点課題領域</td> <td>タイプ2 安定維持領域</td> </tr> <tr> <td>タイプ3 警戒領域</td> <td>タイプ4 見守り領域</td> </tr> </table>	タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域	タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域								
		タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域										
タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域												
関連する主な取組	① 13. 自然景観の保全	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
				10.1%	48.1%	19.8%	2.5%	19.5%	0.51				
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数					
			31.9%	38.3%	7.8%	1.4%	20.6%	1.22					
	R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数					
			12.5%	50.6%	20.6%	3.8%	12.6%	0.56					
	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数						
		29.8%	47.9%	10.4%	2.6%	9.2%	1.19						
	② 18. ごみ・し尿処理対策	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
				14.6%	49.2%	14.4%	3.3%	18.5%	0.69				
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数					
			33.5%	41.4%	4.7%	0.4%	20.0%	1.36					
R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数						
		20.8%	50.6%	16.8%	3.4%	8.5%	0.86						
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数							
	49.1%	37.7%	4.7%	0.9%	7.5%	1.77							
③	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数					
	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数						
R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数						
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数							
分析結果	<p>「自然景観の保全」は、満足度がやや上昇しましたが、前回同様、見守り領域となっています。</p> <p>「ごみ・し尿処理対策」は、前回調査から満足度・重要度とも上昇し、安定維持領域を維持しています。</p> <p>上記ともに前回調査から「わからない」の回答割合が減少し、関心は高まっています。</p>												

※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。

3.〔前期基本計画〕主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 環境教育と環境学習の推進									
施策目標	ふるさとの価値や良さを知り、環境を大切にする心を育むために、豊かな自然やささまざまな地域資源を活用した環境教育を推進します。また、わかりやすく参加しやすい学習機会を提供し、市民一人ひとりの環境意識の高揚を図ります。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	環境学習講座等の参加者数	1,525	2,245	1,612	1,956			1,600	人
	(追加事業等の講座参加者数)				11,654				人
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続				
取組状況	<p>環境教育と環境学習の推進については、生活環境課・学校教育課・商工観光課・農林整備課・生涯学習課の各課の事業を横断して実施しています。平成28年度から平成30年度まで取組のうち、平成30年度から学校教育課と商工観光課の学習事業も加わったことにより、本施策における学習メニューに厚みと広がりを与えることが出来ました。</p> <p>具体的には商工観光課が主管する体験型観光推進事業では、主に市外から来訪した小中学生への学習活動（8764人、H30年度）を地元の指導者が行っていますが、これらの学習活動の担い手として、これまで各課が実施した指導者養成の取組が教育旅行の分野でも効果を発揮しています。また、これらの学習指導者が様々な場面で経験を積み、最新の知見と指導手法を市民の皆さんの活動に還元することで、各課連携による市民主体の自然環境学習の好循環の確立を目指しています。</p>								
課長検証	平成30年度には各課連携による事業メニューの更なる充実を図ることができました。平成30年度の実績数値も目標値の122%（当初の事業範囲に対して）となっています。また、市民アンケートでも満足度が上昇していることから、上記の状況と照らして判断しました。								概ね良好

施策名称 第 2 号 市民協働による環境保全活動の推進									
施策目標	市民や関係団体の環境保全活動の活性化と拡大を図るため、環境に関するさまざまな情報を提供するなど啓発活動を行うとともに、その担い手となる人材や団体などの育成をすすめます。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	自然環境活動団体数	10	10	12	12			15	団体
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続				
取組状況	<p>自然環境保全条例による指定数が、灯火採集規制（大白川地区）、ギフチョウ捕獲規制（青島地区）、池ノ山池保全（高倉地区）の3地区となり、地域の住民からその保全業務を担っていただいております。青島地区では、地元有志による「守る会」が組織され活動が始まっています。</p> <p>環境衛生管理事業として「地域美化運動」がありますが、例年地域住民から参加していただき安定的に約640団体からの参加を得ています。この他、有志による活動団体もありますが、市内全域の活動状況は把握できていません。</p> <p>市民向けの啓発行動として「環境フェア」を秋に開催しており、地球環境から市内環境まで盛り込んだものとなっています。特に、体験行動を通じて、環境を実感できるように、例年工夫をこらし開催しています。</p>								
課長検証	地域の自然環境を保全するためには、地元関係者をはじめ市民の協力なくてはできないため、現在活動している団体の自立支援はもとより、団体の発掘、育成が今後の課題です。								やや不良

4. 主要な施策の総合検証

一次検証	検証者(職・氏名)	教育委員会事務局 局長 堀沢 淳	
	評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	環境学習講座等の取り組みや体験型観光推進事業での市外から来訪した小中学生の学習については、それぞれ高く評価できるものであるが、市民アンケートの結果は高くない。これは、市民に対する自然学習が不足しているものと推測する。 市内の環境保全団体や理科教育センターの協力を得るなどし、自然環境に親しみ学ぶ取り組みが必要である。		
二次検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	自然環境活動の団体数は増加していないものの、それぞれの団体で活動が進められている。今後は子どもをはじめとする市民への啓発及び教育と発表の場の確保など、生涯学習との連携も考える必要がある。		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	環境衛生・自然	作成日	
基本目標	第2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり	検証担当	市民福祉部
	美しい魚沼の四季、これを織りなす雄大な自然を守り、活かし、親しみながら共生し、魅力あふれるまちづくりをすすめます。		
主要施策	第4項 循環型社会環境の整備	関係部署	

2. 市民アンケートの結果

主要な施策		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数								
	2-(4) 循環型社会環境の整備		10.4%	39.8%	19.4%	5.7%	22.5%	0.35	44.7%	36.6%	4.7%	1.1%	8.9%	1.63			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">タイプ1 重点課題領域</td> <td style="width: 50%;">タイプ2 安定維持領域</td> </tr> <tr> <td>タイプ3 警戒領域</td> <td>タイプ4 見守り領域</td> </tr> </table>		タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域	タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域											
タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域																
タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域																
関連する主な取組	① 13. 自然景観の保全	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数									
		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数									
	② 17. 省エネや新エネルギー対策の推進	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数									
		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数									
	③ 18. ごみ・し尿処理対策	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数									
		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数									
分析結果	<p>「自然景観の保全」は、満足度がやや上昇しましたが、前回同様、見守り領域となっています。 前回調査から「わからない」の回答割合が減少し、関心は高まっています。 「ごみ・し尿処理対策」は、前回調査から満足度・重要度とも上昇し、安定維持領域を維持しています。 「省エネや新エネルギー対策の推進」は、前回調査から満足度・重要度とも上昇しています。 上記ともに前回調査から「わからない」の回答割合が減少し、関心は高まっています。</p>																

※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。

3. [前期基本計画]主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 ごみの減量化とリサイクルの推進									
施策目標	家庭や事業所からのごみの発生や排出を抑制し、限りある資源を有効に活用するため、ごみの分別と3Rの啓発活動を積極的にすすめ、引き続きごみを資源に変えるリサイクル意識の醸成を図り、循環型社会の構築をめざします。また、ごみ処理施設の広域化を図ります。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	市民一人当たりの一般廃棄物排出量	1,075	1,059	1,079	1,100			999	g/日
	リサイクル率	17.1	17.4	17.3	16.6			18.1	%
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや低い	やや低い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや低い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	改善				
取組状況	<p>新ごみ処理施設建設事業は、二市一町で建設準備が進められていますが、建設予定地周辺地域の承諾が難航している状況です。令和元年度中に一定の結論が出される予定であることから、推移を見守っている状況です。</p> <p>また、市民一人当たりの一般廃棄物排出量は減少しておらず、リサイクル率にあっては、低下傾向にあるため、ゴミの資源化及び減量化については今後も検討を進める必要があります。</p>								
課長検証	循環型社会の構築に向け、ゴミの減量化と分別の徹底のため、市民向けの啓発活動を開催してきましたが、数値にはなかなか現れていません。従来からの各地域に出向いて開催してきた出前講座だけでなく、各種団体や、事業所などに向けた啓発活動を検討する必要があります。								やや不良

施策名称 第 2 号 地球温暖化対策の推進									
施策目標	地球温暖化対策の取り組みを計画的・総合的に推進し、公共施設、事業所、家庭において、省エネルギー、自然エネルギーの活用の普及・啓発を図ります。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	再生可能エネルギー機器施設件数	42	13	13	19			55	件/年
	バイオマスの利用率	90.3	94.0	88.0	91.0			92.0	%
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや低い	やや低い	やや低い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	改善	現状で継続				
取組状況	<p>再生可能エネルギー機器の設置は、発電電力の買い取り（FIT）事業の縮小により、ソーラーパネル設置件数は減少傾向にあります。今後は、売電から電力自家消費のための蓄電池補助に向かっていくことが予想されます。</p> <p>また、蔭ストープやペレットストープ等補助事業は一定数の申込があることから、家庭のリフォーム事業などにあわせた啓発活動も一定の効果上げています。</p> <p>子どもを通じた環境行動の一つとして取り組んでいる「子どもエコチャレンジ」は、家庭における環境行動の推進には、非常に有効であるため、指標外ではありますが、今後も取り組みを進めていく必要があります。</p> <p>カーボン・オフセット事業については、友好都市間のクレジット販売がされています。市内での大規模事業所などへの啓発行動を進め、市内での認知度を上げることが重要です。</p>								
課長検証	再生可能エネルギーの申請件数は伸び悩んでいます。太陽光発電を導入して10年経過した人など、発電から自家消費（蓄電）への要求はあると思われるため、補助事業メニューに「蓄電池（家庭用バッテリー）」を追加するなど、既存設備の利用促進を含めて検討する必要があります。								概ね良好

施策名称 第 3 号 公害の抑制と生活環境の保全									
施策目標	公害発生を未然に防ぎ、身近な生活環境を良好に保つために監視活動や環境意識向上のための啓発活動に努めます。また、市民が中心になった環境美化運動を推進し、ごみのないきれいなまちづくりをめざします。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	環境美化運動の参加者数	12,213	11,708	8,581	8,023			12,700	人
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや低い	やや低い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	改善				
取組状況	<p>市内6地区13名を配置して不法投棄をはじめ野焼きなどの防止活動に取り組んでいます。また、監視員の研修を実施して資質の向上にも努めています。不法行為の減少にはなかなか結びついていません。</p> <p>各地域で自主実施している、春・秋の美化運動は回収ゴミの減少はあるものの、参加人員の減少が著しい状況です。</p> <p>公害対策事業としては、典型7公害のうち長年の課題の「畜産団地の悪臭」は、苦情が絶えない状況です。苦情通報があるたびに農政部門と連携しながら事業者に対して、現場確認や指導を実施しています。</p> <p>騒音公害に関しては、新幹線騒音が解決に至っていません。高速道路騒音対策と同じく管理者（東日本旅客鉄道株、東日本高速道路株）に対して、県内の自治体と要請し行動を展開しています。</p>								
課長検証	特に、悪臭問題については長年の課題となっていますが、有効な手段がない状態です。現地指導を行っても最終的には事業者の行動が全てであるため、事業主への指導が必要です。								やや不良

4. 主要な施策の総合検証

一次検証	検証者(職・氏名)	市民福祉部部长 小峯要一	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	<p>ごみの減量化については、家庭ごみ減量の啓発活動だけでは限界があることから、家庭ごみ減量に向けた取り組みに加え、事業系のごみ減量化に向けた具体的な取り組みが今後新たに必要である。</p> <p>補助対象となる再生可能エネルギー機器については、技術革新により新しい機器が次々と出ていることから、時代に合ったメニューに更新する必要がある。</p> <p>養豚団地の悪臭対策については、合併前からの課題となっているが、目に見える進展がない状況となっている。今後は、事業者、県、市、三者の情報共有を更に強化するとともに、事業者が自ら積極的な対策を講じられる環境を作っていく必要がある。</p> <p>環境美化意識の向上については、連合自治会長会議、講習会をはじめ、広報誌やSNS等による息の長い啓発活動が必要である。</p>		

二次検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	一次検証のとおり		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

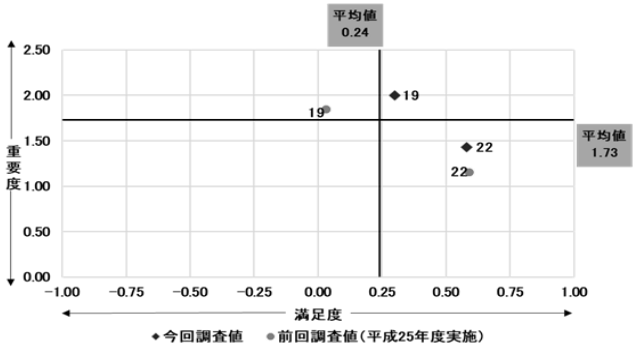
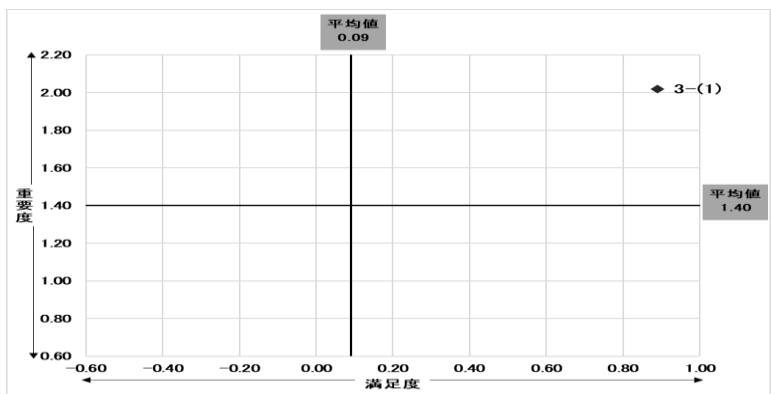
1. 施策の大綱

分野	健康・福祉	作成日	
基本目標	第 3 節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり 地域社会全体でともに支えあう関係や環境を整え、安心して心豊かに楽しく暮らせるまちをめざします。	検証担当	市民福祉部
主要施策	第 1 項 心身ともに健康で笑顔あふれる暮らしの創造	関係部署	

2. 市民アンケートの結果

主要な施策	3-(1)心身ともに健康で笑顔あふれる暮らしの創造	R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数
				20.8%	47.7%	12.5%	2.8%	13.2%	0.89
		R1 調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数
				58.5%	31.7%	1.9%	0.9%	3.6%	2.02
関連する主な取組	① 22. 健康づくりの推進	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数
				10.3%	51.2%	16.5%	2.3%	19.8%	0.59
		H25 調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数
				28.6%	40.9%	9.1%	0.6%	20.8%	1.16
		R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数
				11.3%	54.3%	22.5%	2.6%	9.2%	0.58
		R1 調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数
				35.5%	47.7%	7.7%	1.1%	7.9%	1.43
分析結果	② 19. 保健や地域医療の充実	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数
				7.2%	36.2%	28.2%	9.1%	19.3%	0.03
		H25 調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数
				54.7%	22.8%	2.3%	0.0%	20.2%	1.85
		R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数
				12.3%	45.5%	24.7%	9.1%	8.5%	0.30
		R1 調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数
				57.7%	31.1%	3.2%	0.4%	7.5%	2.00

タイプ 1	タイプ 2
重点課題領域	安定維持領域
タイプ 3	タイプ 4
警戒領域	見守り領域



※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。

3. [前期基本計画]主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第1号 健康づくりの推進										
施策目標	市民一人ひとりが、自主的に健康づくりに取り組むことができるよう、各年代に適した栄養・食生活、身体活動、こころの健康・休養などに関する情報を提供します。また、市民の取り組みを支える環境を整えます。									
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考	
	自分が健康であると感じている人の割合(%)	76.8 (H27)	-	-	-	79.8		80.0	% (市民アンケート)	
	健康と食に関するアンケート調査		第二次総合計画に関するアンケート調査							
評価	評価区分	H28	H29	H30	R1	R2	備考			
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや低い	やや高い	やや高い					
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	高い	高い					
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	拡充	拡充					
取組状況	<p>(心の健康づくり推進事業) 平成29～30年度に新潟県地域自殺対策強化事業「地域特性重点特化事業」高齢者自殺対策事業のモデル地域となり、高齢者の自殺対策に重点的に取り組みました。また、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指し、平成31年3月に「魚沼市のちを支える自殺対策計画」を策定しました。</p> <p>(保健対策事業) 栄養・食生活講座、料理講習会及び食生活改善広報などの一次予防と受診勧奨や保健指導などの二次予防対策を継続して実施し、生活習慣病の予防と重症化防止に取り組んでいます。</p> <p>(歯科保健事業) フッ化物洗口のマニュアル変更に合わせてH29から薬品を変更し、むし歯予防に取り組んでいます。成人歯科保健では、平成30年度から妊婦、成人及び後期高齢者の歯科健診を実施しています。</p> <p>(食でつながる元気なまちづくり推進事業) 親子の自然体験学習等を企画しました。また、企業の販路拡大も支援し、魚沼の食材と豊かな自然を市内外にPRしました。</p> <p>(健康づくり支援事業) 運動をはじめ”きっかけ”と”習慣化”の促進のため、平成29年度から「うおぬま元気ポイント」事業を開始し、参加者も増加しています。</p>									
課長検証	心と体の健康づくりについては、健診やイベント等の様々な場面でPR及び周知をし、市民自身に健康について関心を持ってもらう機会としたことがアンケート結果に反映したと思われます。県内でも自殺者数が多い本市の「こころの健康」については、対策計画を策定し、地域や企業を訪問し相談窓口を紹介するなど、支援の対応を準備し好評を得ています。 誰もが生涯を通じて心と体の健康を保ち、楽しく生き生きと暮らせるよう健康づくりを推進する事業に取り組んでいることから、概ね良好としました。								概ね良好	

施策名称 第2号 疾病予防と重症化防止対策の推進										
施策目標	生活習慣病の予防や重症化を防止するため、健診(検診)・健康相談・健康教育などの保健活動を充実します。また、心の健康づくりをすすめるため、保健・医療・福祉関係者をはじめ様々な分野との連携を強化するとともに、地域において気づき・つながり・見守りができるネットワークの構築をめざします。									
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考	
	特定健康診査受診率(%)	52.4	54.6	54.9	53.1			65.0	%	
	特定保健指導実施率(%)	49.2	53.7	52.4	56.0			65.0	%	
評価	評価区分	H28	H29	H30	R1	R2	備考			
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い					
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	高い	高い					
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	拡充	現状で継続					
取組状況	<p>電話健康相談事業では24時間、年中無休の電話健康相談事業を行っています。利用者は年々増加しており、健康相談等の相談窓口のひとつとして定着されつつあります。</p> <p>基本健診では、若い人が受診しやすい環境整備と健診の効率化を図るため、会場や体制の見直しを行ったほか、守門地区で総合健診を実施する体制を整え、受診者の利便性向上を図りました。また、平成29年度から骨粗鬆症検診を開始したほか、対象年齢の拡大を図ることで骨粗鬆症の予防と啓発に取り組みました。</p> <p>がん検診事業は、各種がん検診と受診率向上対策を行っています。しかし、各がん検診の受診率は県平均を上回っていますが、国の目標値までは届いていない状況です。特に、働き盛り世代の受診率が低いため、未受診者通知等で受診勧奨を行うことや、予約制がん検診を実施し、受診しやすい環境づくりに努めました。</p>									
課長検証	相談業務は身体の健康だけでなく、心の健康相談窓口としても活用されています。件数が多いことが良いわけではありませんが、相談の窓口が市民に周知されてきています。 健診については、受診者の利便性を考慮した会場等を検討しました。また、対象の年代の方々が健診を受診するきっかけづくりになっていると思われるため「概ね良好」としました。								概ね良好	

4. 主要な施策の総合検証

一次検証	検証者(職・氏名)	市民福祉部副部長 中村由美子	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	○
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	<p>「うおぬま元気ポイント」の導入、24時間対応の電話健康相談事業、がん検診の追加など新たな事業への取組をしている。また、会場や実施方法を見直し健診・がん検診の受診しやすい体制づくりを行うなど、引き続き疾病予防や重度化防止対策を進める。</p> <p>市民の健康への関心も高くなっており、引き続き事業を推進することにより、ライフステージに応じた心と体の健康づくりの意識を高めることができる。</p>		

二次検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	○
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	一次検証のとおり		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	健康・福祉	作成日	
基本目標	第 3 節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	検証担当	教育委員会事務局
	地域社会全体でともに支えあう関係や環境を整え、安心して心豊かに楽しく暮らせるまちをめざします。	関係部署	総務政策部
主要施策	第 2 項 安心して産み育てる喜びを感じることができる社会の構築		

2. 市民アンケートの結果

主要な施策		R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
	3-(2) 安心して産み育てる喜びを感じることができる社会の構築			12.8%	31.1%	14.2%	6.6%	31.9%	0.36				
				64.3%	20.8%	1.3%	0.6%	9.4%	2.11				
	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td>タイプ 1 重点課題領域</td> <td>タイプ 2 安定維持領域</td> </tr> <tr> <td>タイプ 3 警戒領域</td> <td>タイプ 4 見守り領域</td> </tr> </table>	タイプ 1 重点課題領域	タイプ 2 安定維持領域	タイプ 3 警戒領域	タイプ 4 見守り領域								
タイプ 1 重点課題領域	タイプ 2 安定維持領域												
タイプ 3 警戒領域	タイプ 4 見守り領域												
関連する主な取組	①	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
		R1 調査	満足度	10.2%	42.6%	26.8%	6.2%	14.2%	0.28				
			重要度	53.6%	30.4%	4.7%	1.3%	10.0%	1.82				
		②	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数			
				重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数			
	R1 調査		満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
	③		H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数			
				重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数			
		R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
分析結果		<p>「幼児保育や子育て支援の充実」は、前回調査から満足度・重要度ともに上昇し、重点課題領域から安定維持領域になりました。前回調査から「わからない」の回答割合が減少し、関心は高まっています。</p>											

※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。

3. [前期基本計画]主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第1号 子育て支援									
施策目標	育児不安を受け止め、子育て世代が孤立しないように子育てに寄り添い、子どもの健やかな成長を地域全体で見守り、育む仕組みづくりをすすめていきます。妊娠期から子育てまで切れ目のない母子保健対策の充実と、子育てに関して身近な相談窓口である保育園、幼稚園、子育て支援センターが連携し、情報の発信を行う体制づくりとその確立に努めます。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	子育てが楽しいと感じる人の割合(4ヵ月)	91.5	85.8	90.5	93.4			96.5	%
	子育てが楽しいと感じる人の割合(1歳6ヵ月)	88.8	85.2	82.8	88.7			93.8	%
	子育てが楽しいと感じる人の割合(3歳児)	82.2	75.7	81.5	77.7			87.2	%
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続				
取組状況	<p>妊娠・出産期から子育て期までの保護者や子どもを対象に、相談事業や乳幼児健診、各種の医療費助成事業などを実施しました。</p> <p>特に、妊産婦医療費助成事業は、平成28年度に妊娠・出産に関わる治療費の半額助成を全額助成に、平成29年度にすべての診療科を助成対象としました。平成29年度に、こども医療費助成事業対象年齢の15歳を18歳に変更しました。平成30年度には、乳児1か月検診及び産婦健診への助成、並びに産後ケア事業を開始しました。事業内容の拡充や新設により保護者等の経済的負担の軽減を図りました。</p> <p>また、児童虐待防止の観点から、関係機関との連携で支援が必要な家庭への訪問等を行い、子どもの健やかな育ちを促し、保護者の育児不安等の軽減のための取組を進めてきました。</p> <p>あわせて、晩婚化、未婚化対策事業ではセミナー開催やテレビのお見合い番組への協力などに積極的に取り組み、独身男女のコミュニケーション能力の向上や出会いの場の創出に努めました。</p>								
課長検証	<p>乳幼児健診は診察、保健・栄養相談等による疾病予防だけでなく、育児相談の場として重要です。孤立した子育てとならないように保護者に寄り添った相談支援を行い、成果指標「子育てが楽しいと感じる人の割合」については、目標値には届かないものの概ね上昇傾向にあります。</p> <p>各種医療費助成事業の内容の拡充や新設により、市民アンケート調査結果の「幼児保育や子育て支援の充実」は前回調査から満足度・重要度ともに上昇しています。</p> <p>保護者の育児不安や経済的負担の軽減を図り、安心して子どもを産み育てていくための環境づくりに貢献できたことから、施策の検証は「概ね良好」としました。</p>								概ね良好

施策名称 第2号 子育て環境の充実									
施策目標	社会の変化による保育ニーズの多様化に対応するため、多面的な保育サービスの提供や、公立保育園の運営のあり方について検討します。乳児期から健やかな発達を支援するため、子育て支援センターの体制整備や施策の充実に加え、保護者や地域が共に学び、育ち、支え合えるよう情報提供や利用相談に努めます。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	子育て支援センターの利用者数(延)の増加	20,838	15,306	15,107	15,185			23,000	人
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続				
取組状況	<p>公立保育園等整備事業では、守門地域及び湯之谷地域の幼稚園・保育園の統廃合を行いました。また、未満児保育ニーズに対応するため、休園中の入広瀬幼稚園舎内に「入広瀬保育室」を開設しました。さらに、「魚沼市公立保育園民営化計画検討委員会」を設置し、同委員会から提出された答申を基に、子ども・子育て会議内に公立保育園等の統廃合・民営化を検討する専門部会を立ち上げました。</p> <p>遊休施設の有効利用のため、市民ワークショップ等の意見を反映させて、子育ての駅「かたつくり」の施設整備を行いました。</p> <p>その他、乳幼児期からの健やかな発達を支援するため、各種療育事業等に取り組みました。</p>								
課長検証	<p>公立保育園等再編整備は施設の統廃合により一定の進展はあったものの、効率的で持続可能な施設運営を見通した市全体の施設再編計画策定の取組は緒に就いたばかりです。</p> <p>成果指標である「子育て支援センターの利用者数」は横ばいで推移しており、目標値には届いていませんが少子化傾向にある中で一定の利用者を確保しています。市民アンケート調査結果「幼児保育や子育て支援の充実」は、前回調査から満足度・重要度ともに上昇しました。子育ての駅「かたつくり」整備などが、子育て世代に歓迎されたことが伺えます。</p> <p>これらの結果から、一定の子育て環境の充実は図られたものと判断し、施策の検証は「概ね良好」としました。</p>								概ね良好

4. 主要な施策の総合検証

一次 検証	検証者(職・氏名)	教育委員会事務局 局長 堀沢 淳	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	○
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	少子高齢化が急速に進む中、国に先駆け第二子以降の保育料無償化を行うとともに、子育ての駅を整備するなどの子育て政策を推進した。 また、「妊産婦医療費助成事業」や「こども医療費助成事業」の拡充も行ったことが市民アンケートの結果に表れた。		

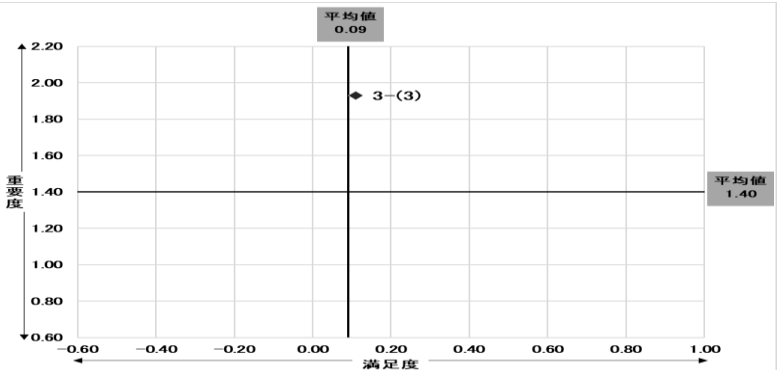
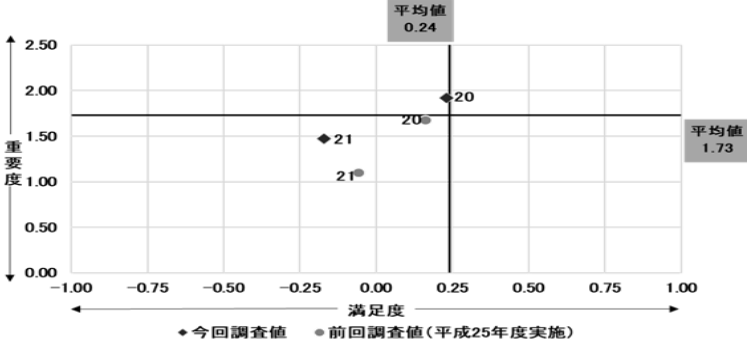
二次 検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	○
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	一次検証のとおり		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	健康・福祉	作成日	
基本目標	第 3 節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	検証担当	市民福祉部
	地域社会全体でともに支えあう関係や環境を整え、安心して心豊かに楽しく暮らせるまちをめざします。		
主要施策	第 3 項 市民が安心して暮らせる仕組みの構築	関係部署	

2. 市民アンケートの結果

主要な施策		R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
	3-(3)市民が安心して暮らせる仕組みの構築		8.1%	32.1%	22.1%	7.7%	27.5%	0.11	1.93				
	<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">タイプ 1 重点課題領域</td> <td style="padding: 5px;">タイプ 2 安定維持領域</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">タイプ 3 警戒領域</td> <td style="padding: 5px;">タイプ 4 見守り領域</td> </tr> </table>	タイプ 1 重点課題領域	タイプ 2 安定維持領域	タイプ 3 警戒領域	タイプ 4 見守り領域								
タイプ 1 重点課題領域	タイプ 2 安定維持領域												
タイプ 3 警戒領域	タイプ 4 見守り領域												
関連する主な取組	① 20. 高齢者・障害者の福祉の充実	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
		R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
	② 21. まちのバリアフリー化の促進	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
		R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
	③	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
		R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
分析結果	<p>「高齢者・障害者の福祉の充実」は、前回調査から満足度・重要度ともに上昇し、警戒領域から重点課題領域になりました。</p> <p>「バリアフリー化の促進」は、前回調査から重要度は上昇していますが、満足度は低下しています。依然、警戒領域となっています。</p> <p>上記ともに前回調査から「わからない」の回答割合が減少し、関心は高まっています。</p>												

※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。

3. [前期基本計画]主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 すべての市民が自立できる環境の構築									
施策目標	障害のある人が、住み慣れた地域の中で、自立した日常生活、社会生活を送ることができるよう、相談体制を強化するとともに、一人ひとりに合った適切な福祉サービスの提供や、生活支援体制を整えます。また、地域における自立と社会参加の実現に向けて、市民一人ひとりが相互に尊重し支えあい、障害のある人もない人も共に安心して暮らせるまちづくりを推進します。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	自立し安心して生活できる環境の整備施策の満足度 (%)	37.6 (H25)	-	-	-	40.2		50.0以上	総合計画に関するアンケート
評価	評価区分	H28	H29	H30	R1	R2	備考		
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続				
取組状況	<p>精神障害者医療費助成事業の利用促進のため、本人及び医療機関へ周知・啓発を行った結果、申請率が増加しました。</p> <p>平成30年4月に「手話言語条例」を制定したことに伴い、条例の周知・啓発を行うため、障害者本人からお話を聞く研修会を開催し、障害のある人の生活や苦勞について学ぶとともに、手話奉仕員養成講座を継続して実施しました。</p> <p>また、障害のある人の権利擁護（成年後見制度）に関する講演会等を、一般住民及び施設職員等関係者向けに実施し、制度の普及啓発及び障害のある人への理解を深めてきました。</p> <p>地域生活支援事業の補助金については、国へ北信越市長会を通じて、規程どおり補助するよう働きかけました。</p>								
課長検証	<p>施策の達成状況については、目標値にまだまだ届かないものの、今回のアンケート調査結果において「高齢者・障害者の福祉の充実」が、前回調査から満足度・重要度ともに上昇したため、各種福祉施策や各種事業が効果的に働いたのではないかと判断できます。</p> <p>また、施策を構成する事務事業について、一部に未達成の事業があったものの、他の事務事業は目標以上の達成度であり、概ね達成することができたため、障害のある人及びその家族が地域生活や社会生活において、生活の質の向上に貢献できたのではないかと考えます。</p> <p>以上のことから、まだまだ解決すべき課題はあるものの、概ね良好であると判断しました。</p>								概ね良好

施策名称 第 2 号 安心して暮らせる公共空間の整備									
施策目標	障害の有無にかかわらず、市民の誰もが安全で快適に暮らすことができる地域社会を実現するため、公共建物、交通機関や道路のユニバーサルデザイン化により、全ての人にやさしいまちづくりを推進します。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	外出時に不都合や不安を感じている人の割合 (%)【段差等】	35.6 (H26)	-	-	-	18.5※		30.0以下	※外出時に不便や不安があると答えた人42.8%の理由の割合
外出時に不都合や不安を感じている人の割合 (%)【経費等】	25.9 (H26)	-	-	-	31.3※		20.0以下		
評価	評価区分	H28	H29	H30	R1	R2	備考		
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続				
取組状況	<p>市道の整備については、道路交通ネットワークの構築による地域住民の生活環境の向上のため、地域要望や冬期の除雪対策等を勘案し、必要性や効果を見極めながら着実に整備を進めており、平成28年度から平成30年度までに3,316mの市道整備を実施しました。また、小出病院前通り線や袖八大塚線にフラットな歩道整備や、点字ブロックの設置を行いました。</p> <p>平成28年に都市計画マスタープランを改訂し、「魚沼市版コンパクトなまちづくり」を推進しており、さらには平成29年に立地適正化計画を策定し、居住誘導区域及び都市機能誘導区域を明示して計画実行の取組みを進めています。</p>								
課長検証	<p>市道の整備については、フラットな歩道整備や点字ブロックの設置など、全ての人にやさしい道路環境整備が進捗しています。</p> <p>また、「都市計画マスタープラン」の改定、「立地適正化計画」の策定により、居住誘導区域及び都市機能誘導区域を明示して計画実行の取組みを進めていることから、一定の成果があったと判断し、「概ね良好」としました。</p>								概ね良好

4. 主要な施策の総合検証

一次 検証	検証者(職・氏名)	市民福祉部副部長 中村由美子	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	医療費助成、福祉サービスの提供や相談体制の強化など、住み慣れた地域で安心して生活するための取組をすすめているが、地域における自立と社会参加の実現に向け、障害への理解をさらに進める必要がある。 指標に対するアンケート結果は前回から改善しているが、外出時に不都合や不安を感じている人の割合が増えているため、事業内容の改善も必要である。		

二次 検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	一次検証のとおり		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	健康・福祉	作成日	
基本目標	第3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	検証担当	市民福祉部
	地域社会全体でともに支えあう関係や環境を整え、安心して心豊かに暮らせるまちをめざします。		
主要施策	第4項 高齢者が安心して生き生きと暮らせる仕組みの構築	関係部署	

2. 市民アンケートの結果

主要な施策		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数					
				9.1%	31.5%	15.5%	3.8%	37.7%	0.32				
				40.9%	35.3%	6.0%	3.0%	11.1%	1.43				
	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">タイプ1 重点課題領域</td> <td style="padding: 5px;">タイプ2 安定維持領域</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">タイプ3 警戒領域</td> <td style="padding: 5px;">タイプ4 見守り領域</td> </tr> </table>	タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域	タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域								
タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域												
タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域												
関連する主な取組	① 20. 高齢者・障害者の福祉の充実	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
				9.1%	37.9%	27.2%	7.2%	18.7%	0.16				
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数					
			47.5%	29.0%	3.3%	0.2%	20.0%	1.68					
		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
				9.6%	44.9%	29.4%	7.0%	9.1%	0.23				
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数					
			53.4%	36.4%	2.5%	0.8%	7.0%	1.92					
		② 21. まちのバリアフリー化の促進	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数			
					5.1%	34.2%	31.7%	8.0%	21.0%	-0.06			
	重要度		重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数					
			28.4%	38.5%	11.1%	0.8%	21.2%	1.10					
		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
				4.0%	37.0%	38.5%	9.1%	11.5%	-0.17				
	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数						
		37.5%	45.1%	6.6%	1.3%	9.4%	1.47						
	③ 35. 生涯学習の場の活用と充実	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
				7.6%	46.3%	19.1%	3.9%	23.0%	0.38				
重要度		重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数						
		18.7%	41.8%	15.4%	1.4%	22.6%	0.78						
		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
				7.4%	50.6%	23.8%	3.4%	14.9%	0.39				
	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数						
		24.3%	47.5%	14.5%	2.3%	11.3%	0.99						
分析結果	<p>「高齢者・障害者の福祉の充実」は、前回調査から満足度・重要度ともに上昇し、警戒領域から重点課題領域になりました。</p> <p>「バリアフリー化の促進」は、前回調査から重要度は上昇していますが、満足度は低下しています。依然、警戒領域となっています。</p> <p>「生涯学習の場の活用と充実」は、前回調査から満足度・重要度は上昇しており、見守り領域となっています。いずれの項目も前回調査から「わからない」の回答が減少し、関心は高まっているといえます。</p>												

※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点(平均点)を示した。

3. [前期基本計画]主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 暮らしの支援体制の推進										
施策目標	住み慣れた地域の中で、高齢者が安心して自分らしい生活を送ることができるよう、地域資源を活用した地域ネットワークの整備をすすめ、住まい、医療、介護、予防、生活支援サービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の実現に向けた取り組みを推進します。									
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考	
	地域で高齢者に関するボランティア活動に参加したい人の割合(※)	37.2 (H24)	-	-	-	15.3		45.0	%	
	介護予防事業参加者の割合	4.5 (H26)	5.6	7.4	6.6			10.0	%	
※H24地域福祉計画アンケート調査の数値、R1第二次総合計画に関するアンケート調査の数値										
評価	評価区分	H28	H29	H30	R1	R2	備考			
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い					
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	高い	高い					
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	拡充	改善	拡充					
取組状況	<p>高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき各種事業展開を行っています。基盤整備では国が掲げる地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを施設整備及び地域資源を活かしたなかで医療介護から弱者が住みよい地域づくりを目的に事業展開を行ってきましたが、施設整備においては介護人材の不足が障害となり、新たな施設確保は現状のまま進展がありません。指定管理施設については、都度不具合の解消等を図っています。</p> <p>介護に関する人材不足は、施設整備にも大きく影響を及ぼしていることから人材確保に対して研修機会の提供など一般市民及び介護施設就労1年未満の初任者に対して定員12名枠で育成支援を行っていますが、参加者が定員の半数前後と少なく、目的を達成していません。</p> <p>在宅高齢者に対するサービスは、介護予防から介護の必要度に合わせた支援等サービスを展開しています。介護予防においては筋力トレーニングやほかの人たちとの交流により会話や軽体操など無理のない範囲の事業が好評であり、日々の生活支援においては、冬期間の除雪に対して民生委員などと連携し、支援や補助を行い在宅高齢者を支えています。</p> <p>支援を要する高齢者に対しては、個人に合った介護予防プランの作成から訪問や通所など各種サービスにつなげることができています。また、平成30年度には、総合的な支援事業につなげるための地域包括支援センターを外部に1か所委託し、きめ細やかな体制づくりが進んでいます。しかし、認知症支援に対しては、国の戦略プランにより集中支援事業を実施してきたものの、認知症家族や地域の理解に対し事業が十分浸透せず、利用が少ない状況です。</p>									
課長検証	<p>計画にある施設確保が遅れており、入所待機者の減少につながっていません。しかし、介護予防については、高齢者に対する支援事業は行えており、一部では定員を超えて空き待ちの状態です。今後は、ニーズ等を把握し、より希望に沿うカタチとなるよう改善が必要です。</p> <p>介護支援体制は、介護職種全般の人材不足に対する支援の具体策にあぐねている状況が続いていますが、人材不足による危機的な医療介護現場では、多職種が連携した地域資源による在宅医療介護において職種間での理解・協力が生まれ、地域住民などに「地域丸ごと医療介護」を伝えていける状況になっています。このことにより、地域で高齢者等に対する支援などの機運を育み、減少しているボランティア活動の醸成と、活動を通じて得られる健康増進やコミュニティ活動、生きがいづくりにつながっていくアイデアの検討も、暮らしやすい地域とするには大切であると考えます。</p> <p>以上のことから、総合的に事業の取り組み状況は概ね良好のレベルにあると考えるものの、住民の意識では満足度は平均値以下であり、やや不良としました。</p>							やや不良		

施策名称 第 2 号 高齢者の社会参加の推進										
施策目標	価値観が多様化する中で、高齢者が社会の重要な一員として、年齢や性別にとらわれることなく、培ってきた高い技術や知識を活かし、生きがいを持って活躍できる場の充実を図ります。									
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考	
	地域活動に参加している高齢者の割合(※)	26.6 (H26)	36.7	32.4	-	72.7		30.0	%	
	老人クラブ参加者減少の歯止め	49.8 (H27)	48.9	46.8	43.3			45.0	%	
※H26高齢者福祉計画・介護保険計画に伴う調査の数値、R1第二次総合計画に関するアンケート調査の数値 R1調査：60～70歳以上で地域活動に参加してみたいと答えた人200人/60～70歳以上のアンケート回答者275人										
評価	評価区分	H28	H29	H30	R1	R2	備考			
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	高い	高い					
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い					
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続					
取組状況	<p>高齢者の生きがい活動や社会参加の促進、健康維持を大きな目的に、各事業に対して補助金、助成金の支出を図り、事業の充実に努めました。シルバー人材センターに対する助成は、高齢者の就労機会の確保や長年培ってきた技術・知識で仕事を通じた社会参加につながっています。</p> <p>閉じこもり防止や健康、生きがいづくりに対する支援を行うため、老人クラブ活動に対する助成を県の補助金を活用し行いました。</p>									
課長検証	<p>いずれの事業も会員数、加入者数の目標に届かず、年々減少傾向であり目標と開きが出ています。</p> <p>シルバー人材センター事業にあつては、社会経済情勢の変化に伴い就労年齢が伸びたことにより、会社勤めなど、決まった雇用形態の継続が増えたことも、会員数が減る大きな要因の一つとも考えられます。</p> <p>老人クラブも、個々のつながりや友人などとの交流を行う人が増え、老人クラブに加入することにわずらわしさを感じたり、他の方法により趣味など生きがいづくり、健康づくりを見つめるなど、時代の流れも否定できません。</p> <p>しかし、一定の活動を維持するためには会員、加入者は大きな要となるため、関係する分野、方面などの各者と連携し参加者を増やすことにより、それぞれの社会貢献や生きがい、健康づくりにつながって行くと考えられるため、加入支援を含めて支援が必要であると考えます。</p>							概ね良好		

4. 主要な施策の総合検証

一次検証	検証者(職・氏名)	市民福祉部副部長 中村由美子	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	<p>多職種が連携した在宅医療介護、筋力トレーニング事業などの介護予防、冬期間の除雪支援や補助、見守り支援など日々の生活支援事業を実施し「地域包括ケアシステム」の実現に向け取り組んでいるものの、深刻な介護人材不足もあり施設整備が進まず入所待機者の解消とならなかったことは課題である。</p> <p>老人クラブやシルバー人材センターの活動助成を行い、社会参加促進、健康づくりに努めている。今後は会員数減少や価値観の多様化にあった活動内容となるよう検討が必要である。</p>		

二次検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	一次検証のとおり		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	健康・福祉	作成日	
基本目標	第3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	検証担当	市民福祉部
	地域社会全体でともに支えあう関係や環境を整え、安心して心豊かに楽しく暮らせるまちをめざします。	関係部署	
主要施策	第5項 誰もが健康管理ができる安心で身近な地域医療の充実		

2. 市民アンケートの結果

主要な施策		R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数							
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数							
	3-(5) 誰もが健康管理ができる安心で身近な地域医療の充実		8.5%	35.7%	17.2%	5.3%	30.8%	0.28	49.8%	33.6%	3.8%	0.8%	8.9%	1.77		
	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">タイプ1 重点課題領域</td> <td style="text-align: center;">タイプ2 安定維持領域</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">タイプ3 警戒領域</td> <td style="text-align: center;">タイプ4 見守り領域</td> </tr> </table>	タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域	タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域											
タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域															
タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域															
関連する主な取組	① 22. 健康づくりの推進	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数							
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数							
		R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数							
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数							
	② 19. 保健や地域医療の充実	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数							
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数							
		R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数							
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数							
分析結果	<p>「健康づくりの推進」は、前回調査から満足度・重要度とも上昇したものの、前回同様、見守り領域となっています。</p> <p>「保健や地域医療の充実」は、前回調査から満足度・重要度とも上昇し、重点課題領域から安定維持領域になりました。</p> <p>上記ともに前回調査から「わからない」の回答割合が減少し、関心は高まっています。</p>															

※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。

3. [前期基本計画]主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 健康管理システムの充実										
施策目標	市民が地域で安心して暮らしていくため、誰もが適切な健康管理が可能となるよう、初期医療から高度医療まで受けられる医療連携体制を構築します。また、市民に、適切な医療情報を迅速に提供するためのシステムの利用拡大を推進します。									
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考	
	基幹病院を含めた市内医療提供体制の満足度※	-	-	-	-	44.0		30.0	%	
	米ねっと加入率	-	19.0	22.0	24.0			50.0	%	
※第二次総合計画に関するアンケートで「市内及び基幹病院の医療体制」に『満足』『やや満足』と答えた人の合計										
評価	評価区分	H28	H29	H30	R1	R2	備考			
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや低い	やや高い	やや高い					
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや低い	やや高い	やや高い					
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続					
取組状況	<p>魚沼基幹病院への通院手段確保と需要調査を目的に、直営の通院バスを平成27年度と平成28年度に運行しました。また、直営バスの運行実績を検証し、平成29年度には民間路線バスへの移行に取り組み、持続可能な通院手段の確保を図りました。</p> <p>平成28年度には市立2病院の在り方を検討し、病棟再編に取り組みました。また、老朽化した堀之内医療センターの移転について、施設面の検討を実施しました。</p> <p>「うおぬま・米(まい)ねっと」の加入を促進するため、米ねっと事務局と連携し、継続して広報活動に取り組みました。</p>									
課長検証	医療再編という大きな変化があったなかで、市民アンケート結果（保健や地域医療の充実）の満足度が上昇したことは、本事業で実施した取り組みが総合的に評価されたものと思われまます。 看護師不足により堀之内病院を診療所化せざるを得なかったこともあり、地域医療の充実とは言い難い地域もあったことから、「概ね良好」としました。							概ね良好		

施策名称 第 2 号 医療資源の育成										
施策目標	医師・看護師など地域内に不足する医療資源を充実させるため、教育の充実や修学資金の助成などを行います。また、市民の医療知識や保健能力を向上させ、かかりつけ医を持ちながら上手に医療機関を利用することにより、医療従事者と一緒に医療を守る取り組みをすすめます。									
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考	
	家庭で血圧を測っている人の割合(%)	30.2 (H27)	-	-	-	34.7		35.0	H27健康と食に関するアンケート	
	かかりつけ医がある人の割合(%)	-	-	-	-	61.9		50.0	R1総合計画に関するアンケート	
	小出病院常勤医師数		8	9	9			9		
評価	評価区分	H28	H29	H30	R1	R2	備考			
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	高い	高い					
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	高い	高い	高い					
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続					
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 市民や医療及び介護施設関係者を対象とした講座等を開催し、市民の意識向上と保健能力向上に取り組みました。 魚沼市在宅医療推進センターと連携し、医療及び介護連携事業に取り組みました。 修学資金制度により将来の医療人材を確保しました。 (貸与決定者 H28年度：5人、H29年度：6人、H30年度：8人) 進学時の県外流出を防止し、地元に着定する人材を確保するため、長岡市に開学した看護系4年制大学の整備支援に取り組みました。 									
課長検証	医療公社及び医師会等々と連携し、事業に取り組んでいます。医療職員の確保についても、県及び公社の支援と併せ、近隣市等の学校に訪問するなどして事業のPRを行っています。 いづれも、微増ではありますが数字的には伸びており、成果がでているものと評価し「概ね良好」としました。 今後は、修学支援をした学生が、地元で就職し定着していけるような環境整備の検討も必要と考えます。							概ね良好		

4. 主要な施策の総合検証

一次検証	検証者(職・氏名)	市民福祉部副部長 中村由美子	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	○
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	<p>医療連携体制の構築により、地域内で医療提供ができ健康管理が可能となっている。また、在宅医療推進センターと医療介護連携や地域医療学校で講座等を実施したことにより市民の意識向上も図られ、かかりつけ医がいる人の割合も高くなっていること、修学資金制度による将来の医療人材確保など、身近な地域医療の充実が図られているから引き続き施策を推進する。</p> <p>今後の課題として、地元に着定する人材確保等について、医療だけでなく地域全体で取り組む必要がある。</p>		

二次検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	○
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	一次検証のとおり		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	産業	作成日	
基本目標	第4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり 豊富な地域資源を活用した新産業の創出と既存産業の強化を合わせ人材*の育成・確保により、力強い地域産業づくりをすすめます。また、雇用の場の拡充と交流人口の拡大を図り、広く情報発信をすることにより活力のあるまちづくりをすすめます。	検証担当	産業経済部
		関係部署	
主要施策	第1項 地域資源の活用による産業の振興		

*これからのまちづくりを担う人々を、市の財産であるという意味を込めて「人材」と表記しています。

2. 市民アンケートの結果

主要な施策		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
	4-(1) 地域資源の活用による産業の振興			5.3%	25.7%	22.8%	7.4%	35.1%	-0.03				
				34.2%	38.5%	6.4%	1.9%	14.2%	1.29				
	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">タイプ1 重点課題領域</td> <td style="padding: 5px;">タイプ2 安定維持領域</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">タイプ3 警戒領域</td> <td style="padding: 5px;">タイプ4 見守り領域</td> </tr> </table>	タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域	タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域								
タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域												
タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域												
関連する主な取組	① 23. 農業の振興	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			8.0%	39.9%	25.1%	5.1%	21.8%	0.24					
		R1調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
			40.7%	31.5%	6.6%	1.0%	20.2%	1.44					
			満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			7.2%	46.6%	26.8%	7.2%	12.3%	0.20					
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数					
		40.0%	43.0%	6.0%	1.7%	9.2%	1.52						
	② 24. 林業の振興	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			6.6%	37.6%	26.5%	6.2%	23.2%	0.12					
		R1調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
			28.3%	38.4%	10.5%	1.2%	21.6%	1.09					
		満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数					
		6.0%	44.7%	28.3%	7.9%	13.0%	0.11						
	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数						
	27.2%	47.7%	12.3%	2.8%	10.0%	1.08							
③ 26. 商業の振興 (H25調査項目：商業の振興、商業施設の充実)	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数					
		4.7%	23.5%	37.0%	12.6%	22.2%	-0.37						
	R1調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数					
		35.6%	36.2%	6.2%	0.6%	21.4%	1.35						
		満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数					
		4.7%	36.2%	34.3%	11.7%	13.0%	-0.19						
	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数						
	37.5%	41.1%	8.3%	2.6%	10.4%	1.38							
分析結果	<p>「23. 農業の振興」は、前回同様、安定維持領域を維持しています。 「24. 林業の振興」は、前回調査とほぼ変わらず、見守り領域となっています。 「25. 水産業（養鯉業等）の振興」は、満足度は低下しましたが、前回同様、見守り領域となっています。 「26. 商業の振興」は、重要度がやや上昇し、警戒領域から重点課題領域になりました。 「27. 工業の振興」は、前回調査から満足度が上昇しました。 上記それぞれ前回調査から「わからない」の回答割合が減少し、関心は高まっています。</p>												

※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。

3. [前期基本計画]主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 新たな特産品づくり、ブランド化の推進									
施策目標	本市には魚沼産コシヒカリや山菜をはじめとした豊かな森林水産物や魅力ある食文化があります。これらの地域資源を活用した新たな特産品づくりをすすめ、魚沼ブランドの積極的な情報発信や高付加価値化を図ります。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	魚沼ブランド推奨品の数	44	46	43	55			65	品
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	拡充	拡充	改善				
取組状況	魚沼ブランド推奨品への登録促進とPRに努めているほか、郷土料理の継承や国内のみではなく海外も視野に入れた販路拡大に向けた取り組みを進めています。 「食でつながる元気なまちづくり」については、各課では個々に関係する事業に取り組んでいるものの、事業間・部門間の連携が十分ではありませんでした。								
課長検証	<p>「食まちうおぬま」として横断的な取り組みを行うことで、魚沼ブランドのPR効果を高めていく必要がありますが、連携が十分ではありませんでした。</p> <p>また、地産地消や販路拡大の面では、魚沼ブランド推奨品について制度開始から6年が経過し、制度の見直しやPR強化を求める声もありますが、登録数も計画通りの実績となっており、貢献度は高いと評価しました。</p> <p>今後も引き続き地域資源を活用した商品開発や6次産業化の推進を図り、新たな魚沼ブランドの確立に向けて推進を図っていく必要があります。</p>								概ね良好

施策名称 第 2 号 新製品開発や新技術の確立に向けた取り組みの支援									
施策目標	地域の豊富な食材、雪や水などの資源の活用を推進し、新製品の開発や新技術の確立、新分野への進出や新産業の創出及び雪冷熱の活用促進を図る企業の取り組みを支援します。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	新製品の開発支援事業による事業化件数	1	3	4	5			5	件
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	改善				
取組状況	主に、製造業を中心とした企業の競争力強化に向けた取組の一環として、新製品開発や新技術の研究開発のほか、自社製品をPRする展示会等への出展等に対して支援を実施しました。また、経営面での課題解決を図るため、企業訪問により経営実態を把握するとともに、専門家によるアドバイスを実施しました。併せて国県制度を含めた各種支援制度の活用を勧めながら、地域資源を活用した新製品開発を奨励しました。 また、森林資源の活用促進を図るため、平成28年度から3年間試作品の製作などを行ってきましたが、事業に携わった方が大白川地区において個人事業主として開業したことにより、民間による地元産材を活用した新商品への取り組みが始まりました。								
課長検証	<p>地域経済を活性化するためには企業の競争力強化が求められますが、その上で地場産原材料など地域資源の活用が重要課題となっており、企業の販路開拓とともに研究開発意欲の向上に向けた支援を強化する必要があると考えます。</p> <p>アンケート結果をみると、重要度では平均値であるものの、満足度は平均値を下回るものも見られることから、地域経済の活性化を図るためには、事業内容や実施方法を見直しながら取組を強化していくことが必要であると考えます。</p>								やや不良

4. 主要な施策の総合検証

一次 検証	検証者(職・氏名)	産業経済部長 小幡 直	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	重要度が高い中で、満足度が伸び悩んでいる。 食まちうおぬまについて、庁内横断的な繋がりを強化して取り組んでいく必要がある。		

二次 検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	地域の資源を活用し、一次産業から二次産業へ、さらに市外に向けた発信につながる商品開発及び流通を進める必要がある。		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	産業	作成日	
基本目標	第 4 節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり 豊かな地域資源を活用した新産業の創出と既存産業の強化を合わせ人材*の育成・確保により、力強い地域産業づくりをすすめます。また、雇用の場の拡充と交流人口の拡大を図り、広く情報発信をすることにより活力のあるまちづくりをすすめます。	検証担当	産業経済部
		関係部署	
主要施策	第 2 項 魅力ある農林業の振興		

*これからのまちづくりを担う人々を、市の財産であるという意味を込めて「人材」と表記しています。

2. 市民アンケートの結果

主要な施策	4-(2) 魅力ある農林業の振興	R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数
				2.5%	16.0%	18.3%	4.9%	54.5%	-0.10
		R1 調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数
				28.3%	33.4%	8.9%	2.5%	22.3%	1.02
関連する主な取組	① 23. 農業の振興	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数
				8.0%	40.0%	25.1%	5.1%	21.8%	0.24
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数	
			40.7%	31.6%	6.6%	1.0%	20.1%	1.44	
	R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数	
			7.2%	46.6%	26.8%	7.2%	12.3%	0.20	
	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数		
		40.0%	43.0%	6.0%	1.7%	9.2%	1.52		
	② 24. 林業の振興	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数
				6.6%	37.6%	26.5%	6.2%	23.2%	0.12
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数	
			28.3%	38.4%	10.5%	1.2%	21.6%	1.09	
R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数		
		6.0%	44.7%	28.3%	7.9%	13.0%	0.11		
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数			
	27.2%	47.7%	12.3%	2.8%	10.0%	1.08			
③	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数	
	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数		
R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数		
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数			
分析結果	「農業の振興」は、前回同様、安定維持領域を維持しています。 前回調査から「わからない」の回答割合が減少し、関心は高まっています。 「林業の振興」は、前回調査とほぼ変わらず、見守り領域となっています。 前回調査から「わからない」の回答割合が減少し、関心は高まっています。								
			※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。						

3. [前期基本計画]主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 力強い農業経営の構築と地域農業の活性化									
施策目標	生産基盤の整備や担い手への農地集積をすすめ、生産性の向上や担い手の育成により、持続可能で力強い農業経営の構築を推進します。農産物の品質向上と生産拡大をすすめ、6次産業化、農商工連携、ブランド化により商品開発や販売活動を支援し、地域農業の活性化と農業者の所得向上を図ります。農村環境と調和した農業生産と食の安全性向上の取り組みをすすめ、安全安心な農産物の生産と地産地消の取り組みを推進します。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	担い手数（認定農業者等）	568 (H26)	537	519	395			520	経営体
	担い手への農地利用集積面積	2,103 (H26)	2,225	2,235	2,247			2,900	ha
	新規就農者数（H28～32累計）	7 (H26)	20	25	32			35	人
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	拡充	現状で継続	現状で継続				
取組状況	<p>国県補助事業や県事業等により、ほ場整備等の基盤整備や農地の集約化、担い手育成等を図り、農業経営基盤の強化に取り組んでいるほか、日本型直接支払制度の活用により農地等の維持を図ることで多面的機能の発揮に努めています。</p> <p>また、平成30年度より国の生産調整の関わりがなくなりましたが、市独自の需給調整制度により、需要に応じた生産への取組と全国的なブランドである「魚沼産コシヒカリ」の品質向上、ブランド維持、地産地消の推進に取り組んでいます。</p>								
課長検証	<p>ほ場やため池などの基盤整備については、概ね予定どおり推移しており、担い手確保、担い手への農地集積についても進捗は緩やかであるものの着実に進んできている状況です。しかし、山間地を中心とする一部地域では過疎化、高齢化が進み担い手不足となっており、耕作放棄地も増加してきている状況となっています。</p> <p>また、地域の状況に応じた生産を推進することで、ブランド維持、地産地消につながっています。</p>								概ね良好

施策名称 第 2 号 森林・里山を活用した地域の活性化									
施策目標	地元産木材の需要拡大と低質材の有効活用及び生産基盤の整備による生産コストの縮減を図り、人材の育成及び安定供給体制の整備により雇用の創出、所得の向上を図り地域産業である林業の活性化と、森林・里山の健全化をめざします。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	森林、里山整備新規事業者数の増加（H28～32の累計）	7 (H27)	13	26	53			35	人
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	高い	高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続				
取組状況	<p>森林整備や建築物への地元産材使用に係る助成など様々な補助事業を実施し、地元産材の活用促進を進めるとともに、生産コスト縮減を目指して、林道や林業専用道の整備により材の搬出作業の効率化を進めました。</p> <p>また、里山の健全化や雇用の創出に向け炭焼、木工及び紙すきの伝統技能の継承や人材育成に取り組む、地元産材の新たな需要の拡大を図るために市産材を活用した新商品開発を進めました。</p>								
課長検証	<p>森林整備や建築物への市産材使用に係る助成及び生産基盤を整備することにより、地域材の需要と供給の拡大が進んでいることから、雇用の創出に繋がり、林業の活性化、森林・里山の健全化が図られました。新商品開発により試作された木製品の情報提供と販路の検討を行うことで魚沼産材の新たな需要の確保及び雇用の創設に繋げていくことが必要です。</p>								概ね良好

4. 主要な施策の総合検証

一次 検証	検証者(職・氏名)	産業経済部長 小幡 直	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	○
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	重要度が非常に高い中、満足度は微増となっている。 農業、林業振興を推進するため、必要な施策をすすめてきた。今後も伝統技能の継承や人材育成は、喫緊の課題である。より魅力的な農業、林業の発信に努める。 スマート農業を積極的に取り入れる等、魅力ある農業、林業を推進し、活性化を図り、雇用創出に繋げる。		
二次 検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	○
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	一次検証のとおり		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	産業	作成日	
基本目標	第4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり 豊富な地域資源を活用した新産業の創出と既存産業の強化を合わせ人材*の育成・確保により、力強い地域産業づくりをすすめます。また、雇用の場の拡充と交流人口の拡大を図り、広く情報発信をすることにより活力のあるまちづくりをすすめます。	検証担当	産業経済部
		関係部署	
主要施策	第3項 商工観光業の競争力強化		

*これからのまちづくりを担う人たちを、市の財産であるという意味を込めて「人材」と表記しています。

2. 市民アンケートの結果

主要な施策	4-(3) 商工観光業の競争力強化	R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
				2.3%	14.0%	24.2%	14.0%	41.3%	-0.45								
		R1調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数								
				37.2%	33.8%	6.6%	2.3%	16.2%	1.32								
			<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>タイプ1</td> <td>タイプ2</td> </tr> <tr> <td>重点課題領域</td> <td>安定維持領域</td> </tr> <tr> <td>タイプ3</td> <td>タイプ4</td> </tr> <tr> <td>警戒領域</td> <td>見守り領域</td> </tr> </table>							タイプ1	タイプ2	重点課題領域	安定維持領域	タイプ3	タイプ4	警戒領域	見守り領域
タイプ1	タイプ2																
重点課題領域	安定維持領域																
タイプ3	タイプ4																
警戒領域	見守り領域																
関連する主な取組	① 26. 商業の振興 (H25調査項目：商業の振興、商業施設の充実)	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
				4.7%	23.6%	37.0%	12.5%	22.2%	-0.37								
		R1調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数								
				35.5%	36.3%	6.2%	0.6%	21.4%	1.35								
	② 28. 観光業の振興 (H25調査項目：観光・レクリエーションの振興)	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
				6.4%	43.1%	24.0%	6.0%	20.5%	0.20								
		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
				4.9%	35.1%	34.7%	14.0%	11.3%	-0.27								
		R1調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数								
				40.4%	41.3%	7.5%	2.5%	8.3%	1.48								
分析結果	<p>「商業の振興」は、重要度がやや上昇し、警戒領域から重点課題領域になりました。</p> <p>「観光業の振興」は、満足度が低下し、重要度が上昇したことにより、見守り領域から重点課題領域になりました。</p> <p>上記とともに前回調査から「わからない」の回答割合が減少し、関心は高まっています。</p>																
			<p>◆今回調査値 ◆前回調査値(平成25年度実施)</p>														

※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点(平均点)を示した。

3. [前期基本計画]主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 競争力強化に向けた商工業者への支援									
施策目標	商業においては商店街における賑わい創出による活性化をめざし、地域の一体的な取り組みを支援するとともに、製造業においては産学官連携の推進や関係団体との協力体制の強化に向けた活動を支援します。また、創業や新事業、高度な技術を持つ人材育成を支援します。あわせて、円滑な企業経営に必要な資金調達時の負担軽減に努めます。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	消費動向調査における地元購買率	55.1 (H25)	57.8	-	-			55	%
	研修事業への参加人数	31 (H26)	75	100	92			40	人/年
	支援事業の商談成立件数	28 (H26)	53	134	531			40	件/年
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続				
取組状況	<p>商業振興に関しては、市内の一体的な取組を推進するため、従来の商工会単位の範囲に限らず市内全域の商業活性化に向けた取組に対しても支援することとしています。また、個店の魅力向上と情報発信を強化するため、一店逸品運動を推進し、個店の強化や連携について支援しています。</p> <p>中小企業の人財育成・能力開発に向けた取組として、公的研修機関における従業員の研修受講等を推進するための支援を行っています。また、各種展示会や商談会への出展をはじめとした販路開拓に向けた取組に対して支援しているほか、ものづくり振興協議会が開催する研修や交流事業に対して支援しています。</p> <p>新規に起業する方や新分野への参入企業に対しては、その初期経費に対する支援制度を用意しているほか、専門家等による相談会やアドバイス、創業塾等によるサポートにも取り組んでいます。</p> <p>金融支援については、より企業の経営安定に資する制度となるように適宜見直しを行っています。</p>								
課長検証	アンケート結果をみると、観光業の振興に係る重要度が大幅に上昇したものの、商業・観光業ともに振興施策の満足度が平均値より低めであることから、これまでの取組内容を見直すとともに、今後、より積極的に施策を推進する必要があると判断して評価しました。							やや不良	

施策名称 第 2 号 地域資源を最大限に活かした観光の振興									
施策目標	魚沼の自然を活かした体験型観光や外国人観光客などの誘客促進に向けた体制整備、友好都市との交流、来訪者をおもてなしする人材の育成などを推進し、地域資源を最大限に活かした観光をめざします。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	観光客の入込数	1,384	1,579	1,534	1,588			2,000	千人/年
	魚沼自然教室の参加者数	9,083	9,303	9,325	9,679			11,000	人/年
	観光ガイド利用者数	2,631	2,031	1,919	1,631			3,200	人/年
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	高い	高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	拡充	拡充	現状で継続				
取組状況	従前から国内の観光客を対象として、自然環境や文化財、食を活かした体験型観光に取り組んできたところですが、人口減少による国内マーケットの縮小などの状況を踏まえ、いわゆる「外貨獲得」を目指して、中国等の海外からの観光客を対象としたインバウンド対応の拡大に向けた取組を進めてきました。								
課長検証	本市には、「自然景観」や「食」、「文化」「社会インフラ」などの観光資源が豊富にあるものの、それら地域資源を有効に活用し、発信しているとは言い難い状況にあることから、取組の内容を見直すとともに本市の弱みともいえる「発信力」を強化するための方法を検討しなければならないと考えます。							やや不良	
	また、市民アンケートでは、重要度が上昇した一方で満足度が低下となっていることから、上記の状況と照らして判断しました。								

4. 主要な施策の総合検証

一次検証	検証者(職・氏名)	産業経済部 副部長 星野 隆	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	<p>商工観光業については、商業の振興、観光業の振興とも重要度が増し、市民の関心が高まっている。</p> <p>競争力強化のためには、豊富な地域資源を活用した新産業の創出や人財育成、交流人口の拡大や情報発信などが必要である。</p>		

二次検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	一次評価のとおり		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	産業	作成日	
基本目標	第4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり 豊富な地域資源を活用した新産業の創出と既存産業の強化を合わせ人材の育成・確保により、力強い地域産業づくりをすすめます。また、雇用の場の拡充と交流人口の拡大を図り、広く情報発信をすることにより活力のあるまちづくりをすすめます。	検証担当	産業経済部
		関係部署	
主要施策	第4項 雇用機会の拡充と地域の担い手の確保		

2. 市民アンケートの結果

主要な施策	4-(4)雇用機会の拡充と地域の担い手の確保	R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
				2.8%	20.2%	21.7%	15.8%	35.8%	-0.41				
		R1調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
				52.5%	24.3%	4.0%	1.1%	13.8%	1.74				
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <table border="1" style="margin-right: 20px;"> <tr> <td>タイプ1 重点課題領域</td> <td>タイプ2 安定維持領域</td> </tr> <tr> <td>タイプ3 警戒領域</td> <td>タイプ4 見守り領域</td> </tr> </table> </div>										タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域	タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域
タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域												
タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域												
関連する主な取組	① 29. 雇用・就業の場の確保対策	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
				3.1%	16.4%	39.0%	21.6%	19.9%	-0.78				
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数					
			62.6%	15.2%	2.1%	0.6%	19.5%	1.99					
	R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数					
			3.2%	26.6%	39.8%	20.9%	9.4%	-0.66					
			R1調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数			
					63.0%	27.0%	1.9%	1.5%	6.6%	2.10			
②	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数					
	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数						
R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数						
		R1調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
分析結果	<p>「雇用・就業の場の確保対策」は、前回調査から満足度・重要度ともに上昇しましたが、重点課題領域となっています。 前回調査から「わからない」の回答割合が減少し、関心は高まっています。</p>												
			<p style="text-align: center;">*今回調査値 *前回調査値(平成25年度実施)</p>										

※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。

3.〔前期基本計画〕主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 起業の促進									
施策目標	起業や新分野進出にチャレンジしやすい環境を整備するため、相談窓口や各種支援策の充実に努めるとともに、国県等の支援制度についても積極的に情報提供や活用支援を行うなど利用促進に努めます。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	新規起業支援事業による起業件数	4	10	15	19			25	件
	新規起業支援事業による就業者数	11	16	30	34			70	人/年
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続				
取組状況	<p>国においては、開業率を高めることにより、地域の活性化の進展をめざしています。本市においても同様に新たなビジネスの創出による地域経済の活性化をめざしており、平成25年度から新規起業に要する経費の一部を支援してきました。</p> <p>また、補助金による支援のほかに、創業のために習得すべき事項（経営、販路開拓、人材育成、財務などの知識）を学ぶ場として「創業塾」を開催しているほか、「個別相談会」を開催し各種相談対応も行いました。</p>								
課長検証	<p>新たな雇用の場を創出するためにも、「起業」「創業」には大きな期待が寄せられております。また、市内には空き店舗や空き工場のほか、遊休状態の公共施設が多く存在しておりますが、今のところそれらをビジネスとして有効に活用した事例はまだ限られている状態にあります。</p> <p>このため、今後は市内において起業・創業をめざす方の夢を実現できるよう、ニーズに沿った支援策を用意していかなければなりません。</p> <p>アンケートではそうした状況を反映しているものと思われ、事業の内容を見直すとともに、実効性のある取組を進めなければならないと考えます。</p>								やや不良

施策名称 第 2 号 定住人口確保のための取り組みの強化									
施策目標	定住人口を増やすためには、雇用の場の確保が重要です。新たな就業の場を創出するため、事業者への各種支援策の拡充に努めるとともに、市内への就職希望者に対して、市が主催する就職相談会等の開催や、ハローワークとの連携による職業紹介の取り組みをすすめることにより、定住人口の確保に努めます。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	就職相談会の参加企業数	22	18	21	30			25	社
	就職相談会の参加者数	31	8	10	13			40	人/年
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや低い	やや低い	やや低い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	高い	高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	改善	改善	改善				
取組状況	<p>新規卒卒者等の市内事業所等への就職を進めるため、広域的な就職ガイダンス（南魚沼ハローワーク主催、小千谷魚沼川口雇用安定協議会主催）に協力していますが、参加者数が減少している状況にあります。</p> <p>こうした状況を踏まえて、市内事業所等への雇用と市内への定住の促進を図るため、若者定住就職奨励金のほか、新たに「U・Iターン促進住宅支援事業」を創設し取組を強化することとしました。</p> <p>このほか、市内企業の情報を掲載した企業ガイドブック及び専用ホームページを作成し、首都圏等大学に市内企業の周知を図ったほか、企業等への雇用促進の取組を強化しました。</p>								
課長検証	<p>従前の雇用情勢が「買い手市場」だったものが、昨今では「売り手市場」となっており、働く場は市内に十分確保されているものの雇用のミスマッチ状況が続いていることが大きな課題となっています。</p> <p>アンケートではそうした状況を反映しているものと思われ、事業の内容を時勢に沿ったものに見直すとともに、実効性のある取組を進めなければならないと考えます。</p>								やや不良

施策名称 第 3 号 戦略的な企業誘致の推進									
施策目標	本市の豊かで良質な水など、地域資源を活用した産業おこしをすすめます。あらゆるネットワークを活用し、重点的に企業誘致活動を行っている健康ビジネス分野での広がりをめざして、地域の特性を活かすことのできる優良企業の立地に向けて、新潟県や関係団体と連携しながら戦略的な企業誘致活動を展開します。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	水の郷工業団地立地企業の就業者数	77	102	105	161			150	人
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続				
取組状況	<p>水の郷工業団地への企業（工場）誘致活動はもとより、ホワイトカラー系の企業に対して新たに誘致活動を開始しました。</p> <p>誘致交渉を進めている企業に対しては、本市固有の資源を活用できることとして、例えば雪を活用した冷熱システムの導入や豊富で綺麗な地下水が利用できることなどの特徴やメリットをアピールしながら、誘致活動を行いました。また、特別高圧電力の共同受変電設備の導入検討など、工業団地の魅力を高める取組を行いました。</p>								
課長検証	<p>水の郷工業団地では既進出企業2社のほか、新たにブルボン社と魚沼醸造社に用地分譲（土地売買契約）を締結し、残りの分譲地が2区画となりました。今後の工場建設とともに就業の場が確保されることになり、人口増加と地域の活性化が期待される場所です。</p> <p>一方、昨今では、全国的な人手不足状況に加えて、若年層を中心に仕事の場にホワイトカラー系企業（業務）を求める傾向が強く、雇用のミスマッチが生じていることから、デスクワークを中心とした業種の企業の誘致活動にも注力していく必要があります。</p> <p>アンケート結果を見ると、重要度は非常に高いものの、満足度が低い状況に留まっているため、課題解決に向けた対応を急ぐ必要がありますが、水の郷工業団地における用地分譲ができたこと及びホワイトカラー系業務を行う企業の誘致活動の進捗がみられたことから「良好」とであると判断しました。</p>								良好

4. 主要な施策の総合検証

一 次 検 証	検証者(職・氏名)	産業経済部 副部長 星野 隆	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	雇用機会の拡充と地域担い手確保は満足度、重要度とも増し、市民の関心は高まっている。 人口減少対策として定住人口を増やすためには、働く場所の確保や雇用人材の確保が重要であり、起業の推進や企業等への雇用促進、企業誘致の推進を図る必要がある。 今後も雇用情勢や景気動向を勘案し、状況にあった支援制度の充実等、施策の見直しを図っていく必要がある。		
二 次 検 証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	水の郷工業団地への企業誘致は順調に進んでいるが、求職者と求人企業のマッチングについても検討が必要である。		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	教育・文化	作成日	
基本目標	第 5 節 私たちが育む学びのまちづくり	検証担当	教育委員会事務局
	誰もが学び交流する場所づくりを推進するとともに、楽しく有意義に継続できる生涯学習、スポーツや芸術文化活動の環境整備を推進し、質の高い学びのまちづくりをすすめます。	関係部署	
主要施策	第 1 項 生涯学び続ける仕組みの充実		

2. 市民アンケートの結果

主要な施策	5-(1)生涯学び続ける仕組みの充実	R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数
				8.1%	36.0%	17.4%	9.4%	24.9%	0.15
		R1調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数
				27.5%	41.5%	10.0%	2.5%	12.6%	1.07
				タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域				
				タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域				
関連する主な取組	① 35. 生涯学習の場の活用と充実	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数
				7.6%	46.4%	19.1%	3.9%	23.0%	0.38
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数	
			18.7%	41.9%	15.4%	1.4%	22.6%	0.78	
	R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数	
			7.4%	50.6%	23.8%	3.4%	14.9%	0.39	
	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数		
		24.3%	47.5%	14.5%	2.3%	11.3%	0.99		
	② 36. 文化施設の活用と充実	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数
				8.6%	45.2%	20.3%	4.7%	21.1%	0.37
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数	
			13.6%	45.2%	17.0%	2.9%	21.4%	0.60	
R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数		
		8.5%	48.5%	23.8%	4.3%	14.9%	0.37		
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数			
	21.7%	47.7%	16.4%	2.6%	11.5%	0.88			
③	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数	
	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数		
R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数		
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数			
分析結果	<p>「生涯学習の場の活用と充実」 「文化施設の活用と充実」は、前回調査から満足度・重要度はともに上昇していますが、前回同様、見守り領域となっています。 上記ともに前回調査から「わからない」の回答割合が減少し、関心は高まっています。</p>								

※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。

3. [前期基本計画]主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 誰でも、いつでも学べ、学習成果を生かす仕組みの充実									
施策目標	子どもから高齢者までの社会参加や生涯学習を支援し、学習機会の充実を図るため、多様な交流を促進するとともに優れた地域資源の活用を図り、地域課題解決に貢献する人財の発掘を推進します。また、生涯学習関係団体との事業連携を推進するとともに、インターネットなどを活用した効果的な学習情報の提供に努めます。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	公民館事業、図書館事業の講座の参加者数	13,980	11,293	14,884	14,039			15,000	人
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや低い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	改善	現状で継続	改善				
取組状況	うおぬま市民大学事業において、市民の集いや学習意欲向上を目的に年間に2回から3回の大規模講演会を開催しました。各回とも概ね150名前後の参加者があり、アンケートからは比較的高い評価をいただいています。また、さらに多くの市民からの参加を促進するため、中学生による広島平和記念式典派遣事業の報告会や小学生のありがとう作文優秀作品発表会と合わせて開催しています。 生涯学習サークルの活動を活性化させるため、生涯学習連絡協議会が実施している生涯学習体験ひろばや機関誌のキラキラ通信生きがい発行などへの活動支援を行っています。また、公民館講座参加者が学習成果を生かして自主サークルを立上げるための支援を公民館事業と連携して取り組んでいます。								
課長検証	成果指標の「公民館事業、図書館事業の講座の参加者数」が目標値を若干下回ったものの各事業が円滑に実施され、達成状況は80%を超えており、市民から一定の評価を受けたものと考えます。 また、市民アンケート結果からも「生涯学習の場の活用と充実」は、前回調査から満足度・重要度とも上昇しています。 以上のことから「概ね良好」と判断しました。								概ね良好

施策名称 第 2 号 生涯学習推進体制の充実									
施策目標	生涯学習の普及促進と、図書館や公民館事業の充実を目的に、市民主体の活動や園・学校を支援し、行政各分野の連携と様々な生涯学習事業の活用など生涯学習推進体制の充実を図ります。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	公民館事業、図書館事業の講座の数	138	147	149	158			150	件
指標	文化協会、生涯学習連絡協議会の加盟団体数	171	173	165	166			180	団体
	評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや低い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	改善	現状で継続	現状で継続				
取組状況	生涯学習推進事業では、生涯学習連絡協議会の活動を支援し、生涯学習体験ひろばの開催や広報誌の発行を通して生涯学習サークルを紹介し普及活動に取り組みました。 青少年教育事業では、学校、家庭、地域の連携・協働に関わる学習会を開催しました。 地区公民館講座教室事業では、公民館事業への参加を促進する目的で、市民や公民館関係者等を招き公民館活動についてのニーズや意見を話し合う会を開催しました。出された意見を各地区公民館で共有し、講座教室の企画等の参考にしています。								
課長検証	成果指標の「公民館事業、図書館事業の講座の数」は、目標値を大きく上回りました。「文化協会、生涯学習連絡協議会の加盟団体数」が目標値を若干下回ったものの達成状況は80%を超えております。 また、市民アンケート結果からも「生涯学習の場の活用と充実」は、前回調査から満足度・重要度は上昇しています。 公民館事業のマンネリ化などの課題はありますが、以上のことから「概ね良好」と判断しました。								概ね良好

施策名称 第 3 号 効率的・効果的な施設運営									
施策目標	社会教育施設の計画的な再編及び連携強化を図るとともに、運営体制の見直しを行い、図書館・公民館等の機能を整備し、効果的な活用を図ります。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	生涯学習施設の利用者数	401,789	405,946	388,393	390,364			420,000	人
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや低い	やや低い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続				
取組状況	利用しやすい施設を目指し、トイレ等の改修を進めてきました。また、経年劣化による改修については安全性や利用頻度等を勘案し計画的に進めるよう努めています。								
課長検証	成果指標の「生涯学習施設の利用者数」は、目標値を若干下回ったものの達成状況は80%を超えております。 また、市民アンケート結果からも「生涯学習の場の活用と充実」と「文化施設の活用と充実」は、前回調査から満足度・重要度とも上昇しています。 以上のことから「概ね良好」と判断しました。								概ね良好

4. 主要な施策の総合検証

一 次 検 証	検証者(職・氏名)	教育委員会事務局 局長 堀沢 淳	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	土日祝日には、どこかの公民館・図書館等では必ず事業が行われている状況となっているが、少子高齢化が進み、人口減の現状では事業の数を増加させるだけでは参加者数は伸びない。生涯学習への関心が高まってきている今、市民ニーズに沿った講座や事業へ転換を図る必要がある。		

二 次 検 証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	一次検証のとおり		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	教育・文化	作成日	
基本目標	第5節 私たちが育む学びのまちづくり	検証担当	教育委員会事務局
	誰もが学び交流する場所づくりを推進するとともに、楽しく有意義に継続できる生涯学習、スポーツや芸術文化活動の環境整備を推進し、質の高い学びのまちづくりをすすめます。	関係部署	
主要施策	第2項 乳幼児期の教育の充実		

2. 市民アンケートの結果

主要な施策		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数	
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数	
	5-(2) 乳幼児期の教育の充実			7.7%	26.6%	13.8%	2.5%	44.3%	0.29	
				44.3%	32.6%	3.0%	0.9%	14.2%	1.60	
関連する主な取組	① 37. 幼児保育や子育て支援の充実	H2.5調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数	
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数	
		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数	
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数	
		② 32. 青少年の健全育成	H2.5調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数
				重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数
	R1調査		満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数	
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数	
	③		H2.5調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数
				重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数
		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数	
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数	
分析結果		<p>「幼児保育や子育て支援の充実」は、前回調査から満足度・重要度ともに上昇しましたが、重点課題領域となっています。</p> <p>「青少年の健全育成」は、前回同様、重点課題領域となっています。</p> <p>上記ともに前回調査から「わからない」の回答割合が減少し、関心は高まっています。</p>								

※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。

3.〔前期基本計画〕主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 明るくのびのびとした子育て										
施策目標	家庭・地域・園が一体となり、社会全体で子育てを支えていく機運を醸成し、明るくのびのびとした子育てができるよう支援し、思いやりや挑戦の心を育むとともに、規則正しい生活のリズム、基本的な生活習慣の獲得をめざします。また、人や自然と関わり、遊びを通して多くの体験から、好奇心や社会性のある子どもに育つよう支援します。									
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考	
	生活習慣がきちんと整っている子どもの率	92.0	-	87.2	88.3			95.0	%	
評価	評価区分	H28		H29		H30		R1	R2	備考
	二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや低い	やや低い				
二次評価	総合評価	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
		総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続				
取組状況	<p>子育て支援センターの広場開放や出張広場の開設、子育てサークルへのサポーター派遣、会員相互で育児を協力し合うファミリー・サポート・センターの運営、発達に課題がある児とその保護者を支援する療育教室等を実施しました。</p> <p>核家族化が進む中、子育ての孤立化を防止するための交流の場の提供や相談等の援助により、明るくのびのびとした子育ての広がりに貢献しました。また、療育教室では専門機関の支援を受け、対象児の適切な発達と保護者の不安感の軽減を図ることができました。</p>									
課長検証	<p>広場開放の参加者やファミリー・サポート・センターの会員数に大きな進展はありませんが、入込地域での出張広場の開設や子育てサークルの活動支援など細やかな取組で、明るくのびのびとした子育てが広がることに貢献しました。成果指標「生活習慣がきちんと整っている子どもの率」は、目標値には届きませんでした。市民アンケート結果「幼児保育や子育て支援の充実」は、前回調査から満足度・重要度ともに上昇しました。</p> <p>発達に課題のある児は年々増加傾向にあり、障害の早期発見及び児と保護者への早期支援は益々重要になっています。各種療育教室には多数の参加者を迎え、就園や就学に向けて児や保護者の不安感や困り感の軽減を図りました。また、保育園における発達支援コーディネーター養成研修に取り組みなど支援体制の強化を図りました。これらの取組により子育てを支援する環境の充実に図られたと判断し、施策の検証は「概ね良好」としました。</p>									概ね良好
施策名称 第 2 号 乳幼児教育の仕組みづくり										
施策目標	乳幼児期の相談支援、子育てサークル支援、親子の交流の場の提供などを行い、子どもの個々の発達に即した支援に努めます。園と学校が連携し、情報共有することによって、切れ目のない支援と保育・教育の質の向上を図ります。									
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考	
	子育て相談窓口利用者数	260	245	216	222			280	人	
評価	評価区分	H28		H29		H30		R1	R2	備考
	二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや低い	やや高い	やや低い				
二次評価	総合評価	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや低い	やや低い	やや低い				
		総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	改善	拡充	改善				
取組状況	<p>入込地域での出張広場の開設、子育てサークルへのサポーター派遣、会員相互で育児を協力し合うファミリー・サポート・センターの運営等を行い、核家族化が進行する中で、子育て世代に相談・交流の場と育児支援の場を提供しました。</p> <p>子ども育み講座や親子で参加できる体験型イベントの開催などにより、幼稚園・保育園の保護者の学習機会と、参加者同士の交流機会の提供に努めました。また、入学前の子どもを持つ保護者向けの子育てセミナーを全小中学校で開催しました。</p>									
課長検証	<p>各種事業により保護者への支援に取り組み、また、各保育園と就学予定の小中学校との連携により児童の学校生活を支援していますが、保育・教育の質の向上を図るための市全体の仕組みづくりは、今後の課題となっています。</p> <p>子育て相談窓口の利用者数が減少していますが、これは、保育料無償化により保育園等に入園する子どもが増え、相談先が各保育園等に分散していることも原因としてあげられます。しかし、市民アンケート「幼児保育や子育て支援の充実」では、満足度が若干上昇したものの、依然として重点課題領域となっており、施設利用者の拡大とともに悩みを抱える保護者が支援を必要とする場合に、相談窓口として認知していただけるよう更に周知を進める必要があります。</p>									やや不良
施策名称 第 3 号 子育て環境の整備										
施策目標	乳児期から学童期まで、各年代の子育てニーズの多様化や少子化、過疎化などの社会情勢の変化に応じ施設内容の再編や充実などの子育て環境の整備に努めます。									
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考	
	子育て施設利用者数(人)	21,500	20,065	19,293	16,986			22,600	ほひふ、各園開放利用者	
評価	評価区分	H28		H29		H30		R1	R2	備考
	二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	高い				
二次評価	総合評価	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	高い				
		総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続				
取組状況	<p>公立保育園等整備事業では、守門地域及び湯之谷地域の幼稚園・保育園の統廃合を行いました。また、未満児保育ニーズに対応するため、休園中の入込瀨幼稚園舎内に「入込瀨保育室」を開設しました。さらに、「魚沼市公立保育園民営化計画検討委員会」を設置し、同委員会から提出された答申を基に、子ども・子育て会議内に公立保育園等の統廃合・民営化を検討する専門部会を立ち上げました。</p> <p>放課後児童クラブ再編事業では、広神西よつばクラブを広神西小学校内に移転しました。</p> <p>遊休施設の有効利用のため、市民ワークショップ等の意見を反映させて、子育ての駅「かたっくり」の施設整備を行いました。</p>									
課長検証	<p>公立保育園等再編整備については施設の統廃合により一定の進展はあったものの、効率的で持続可能な施設運営を見通した市全体の施設再編計画策定の取組は緒に就いたばかりです。しかしながら、放課後児童クラブの小学校への移転を計画通りに完了し、子育ての駅「かたっくり」を整備したことから、施設の有効利用の進展が見られました。</p> <p>また、成果指標の一つである子育ての駅利用者数は、開設初年度の利用者数が26,000人を上回りました。市民アンケート調査結果「幼児保育や子育て支援の充実」では、前回調査から満足度・重要度ともに上昇しました。</p> <p>これらの結果から、施設整備により子育て環境のより一層の充実に図られたと判断し、施策の検証は「概ね良好」としました。</p>									概ね良好

4. 主要な施策の総合検証

一 次 検 証	検証者(職・氏名)	教育委員会事務局 局長 堀沢 淳	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	個々の事業としての進捗は図られている。しかし、幼児教育の仕組みづくりにおいて、各保育園等と学校の連携については個別には取り組まれているものの、全体を通して施策目標の「切れ目のない支援と保育・教育の質の向上を図る」ために内容の改善が必要である。		
二 次 検 証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	一次検証のとおり		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	教育・文化	作成日	
基本目標	第 5 節 私たちが育む学びのまちづくり	検証担当	教育委員会事務局
	誰もが学び交流する場所づくりを推進するとともに、楽しく有意義に継続できる生涯学習、スポーツや芸術文化活動の環境整備を推進し、質の高い学びのまちづくりをすすめます。	関係部署	産業経済部
主要施策	第 3 項 市民が参加する学校づくりの推進		

2. 市民アンケートの結果

主要な施策	5-(3) 市民が参加する学校づくりの推進	R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数								
				6.0%	26.0%	13.2%	3.4%	46.4%	0.21								
				30.9%	35.5%	9.2%	1.3%	17.7%	1.15								
			<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>タイプ 1</td> <td>タイプ 2</td> </tr> <tr> <td>重点課題領域</td> <td>安定維持領域</td> </tr> <tr> <td>タイプ 3</td> <td>タイプ 4</td> </tr> <tr> <td>警戒領域</td> <td>見守り領域</td> </tr> </table>		タイプ 1	タイプ 2	重点課題領域	安定維持領域	タイプ 3	タイプ 4	警戒領域	見守り領域					
タイプ 1	タイプ 2																
重点課題領域	安定維持領域																
タイプ 3	タイプ 4																
警戒領域	見守り領域																
関連する主な取組	① 32. 青少年の健全育成	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数								
		満足度	6.8%	43.5%	24.6%	3.7%	21.4%	0.28									
		重要度	41.9%	33.1%	4.7%	0.4%	19.9%	1.53									
	R1 調査	満足度	6.0%	45.3%	27.9%	4.5%	16.2%	0.22									
		重要度	41.9%	40.4%	5.1%	1.7%	10.9%	1.56									
	② 33. 学校教育の充実	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数								
		満足度	7.4%	45.2%	21.1%	5.3%	20.9%	0.30									
		重要度	53.0%	24.6%	2.5%	0.2%	19.7%	1.81									
	R1 調査	満足度	9.8%	44.0%	26.4%	5.7%	14.2%	0.30									
		重要度	55.5%	29.4%	3.8%	1.1%	10.2%	1.89									
③ 34. 学校施設や設備の充実	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数									
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数									
	満足度	7.8%	48.0%	19.1%	3.3%	21.8%	0.42										
	重要度	39.4%	33.7%	4.1%	0.6%	22.2%	1.46										
R1 調査	満足度	10.6%	47.7%	23.2%	3.8%	14.7%	0.45										
	重要度	43.2%	37.7%	6.4%	1.7%	10.9%	1.56										
分析結果	<p>「青少年の健全育成」は、前回同様、重点課題領域となっています。</p> <p>「学校教育の充実」は、前回同様、安定維持領域を維持しています。</p> <p>「学校施設や設備の充実」は、前回同様、安定維持領域を維持しています。</p>																

※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。

3.〔前期基本計画〕主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進									
施策目標	魚沼の自然や人的・文化的資源などの「ふるさと力」を生かし、家庭、地域、学校が目標や理念を分かち合い、協力し合って、感性豊かで、たくましい子どもを育てる教育環境の整備をすすめます。また、家庭教育、人権教育などの充実を図りながら、子どもたちの居心地の良い居場所づくりを行い、基礎学力の定着と体験活動を重視した教育の実践を推進します。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	学力テスト結果(NRT偏差値)	小54.1 中49.7	小53.8 中50.5	小51.9 中51.2	小51.6 中51.0			小55.0 中52.0	ポイント
	学級満足度	小73.51 中68.24	小72.77 中69.25	小70.81 中73.20	小70.33 中73.76			小75.0 中70.0	ポイント
	不登校率	小0.49 中2.86	小0.23 中2.33	中2.27	小0.36 中2.83			小中 県 平均以下	%
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い		やや高い	やや高い	やや高い			
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い		やや高い	やや高い	やや高い			
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小		拡充	現状で継続	現状で継続			
取組状況	<p>学級づくり支援事業では、QU調査結果分析の活用と小中連携で作成した自校プランに基づき「温かい学級づくり」の取組みを進めています。実践発表会では、学校関係者のほか、地域住民や保護者なども参加して意見交換を行い、地域全体で連携しながら取組内容の充実を図りました。QU調査によると自尊感情や貢献・奉仕の心が育まれています。平成30年度の全国学力調査の正答率が多く、教科で全国平均を超え、特に中学3年生はすべての科目で全国平均を超え、確かな学力が備わっています。</p> <p>森林体験・環境学習では、既存施設を活用した体験学習のほか、体験学習に活用できるエリア等の調査を実施するとともに、体験学習のインストラクターを対象とした研修会を開催しました。</p> <p>自然や文化を活用した学習として、小学5年生の尾瀬自然環境学習、さらに総合学習支援事業により職場体験学習などの校外学習に対する支援を行いました。直近のアンケート結果では、「魚沼市が好きですか」の問いに、好きと答えた割合が89%であり、郷土愛が育まれているといえます。</p> <p>不登校・いじめ問題、ひきこもり対策では、学校との連携を強化するとともに相談関係機関ネットワーク会議等で関係機関相互に課題の共通認識を持ち、役割分担しながら問題解決に向けた取組みを行いました。学級づくり支援事業と連携した取組により、不登校の発生率は全国平均を下回り続けています。</p>								
課長検証	平成28年度から30年度にかけて、成果指標の学力テスト結果及び学級満足度については、小学校で下がり、中学校で上がりました。学級満足度の中学校については目標値を超えました。また、市民アンケートでは学校教育の充実の満足度が安定維持領域となっています。施策の取組に一定の成果があったことと、成果指標値及び市民アンケート結果を照らし合わせ、概ね良好と判断しました。								概ね良好

施策名称 第 2 号 市民が参加し世代を超えて交流する地域に開かれた学校づくり									
施策目標	地域や家庭が学校活動に気軽に、積極的に参加できる地域に開かれた学校づくりと地域ぐるみの安全体制の充実をすすめます。幼保小中高の連携や外部との相互交流を積極的に推進し、地域の伝統文化に親しみながら、社会性の向上や社会を生き抜く知恵を磨きます。また、子どもたちにとってより良い教育環境を構築するため、地域と連携しながら学区再編の取り組みをすすめます。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	学校支援ボランティア数	2,117	2,331	2,354	3,609			2,300	人
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い		やや高い	やや高い	やや高い			
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い		やや高い	やや高い	やや高い			
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小		現状で継続	現状で継続	現状で継続			
取組状況	<p>地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業では、スクールガードの活動支援、スクールガードリーダー2人を配置して交通安全、不審者・有害鳥獣等への対応のためのパトロールを実施し、学校と地域の連携による児童・生徒の安全な通学サポート体制が機能しました。</p> <p>総合学習支援事業では、地域の自然、文化を学ぶための校外学習の実施に際し、バス運行支援や学校田の管理、農業資材の購入、外部講師の講演料等の支援を行いました。直近のアンケート結果では、「魚沼市が好きですか」の問いに、好きと答えた割合が89%であり、郷土愛が育まれているといえます。</p> <p>青少年教育事業では、子ども地域活動推進事業（野外学習活動わくわく体験クラブ）、放課後子ども教室、学校支援地域本部における学校ボランティアの養成と活動のコーディネート、青少年健全育成市民会議のあいさつ運動、PTA講演会、中学生の広島平和記念式典への派遣などを実施しました。</p>								
課長検証	平成28年度から30年度にかけて、成果指標の学校支援ボランティア数が目標値を大きく上回りました。市民アンケートでは学校教育の充実の満足度が安定維持領域となっています。上記の成果指標値及び市民アンケート結果から、概ね良好と判断しました。								概ね良好

施策名称 第 3 号 安全・安心な学校施設の整備									
施策目標	老朽化対策、大規模改修などによる施設整備をすすめるとともに、情報化対応など、近年の学習内容や形態に合った環境への改修を行い、子どもたちが快適に学ぶことができる、安全・安心な学校施設の整備をすすめます。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	建物の大規模改修率	81.5	84.2	87.2	90.9			100	%
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い		やや高い	高い	高い			
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い		やや高い	高い	高い			
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小		現状で継続	現状で継続	現状で継続			
取組状況	<p>通学対策では、適正なバス配置を行い、運行計画どおりに事業を実施しました。老朽化したスクールバスの更新のほか、統合後の魚沼北中学校のスクールバスを新規に購入しました。</p> <p>小中学校施設整備事業については、老朽化した校舎等の改修、耐震化未完了であった守門中学校（現魚沼北中学校）の耐震補強工事等を実施したほか、普通教室へのエアコン設置を実施し、平成31年度までに整備率100%に達する見込みです。また、移転改築が完了した湯之谷小学校の旧校舎（旧井口小学校）を解体しました。</p> <p>教育の情報化では、モデル校のみの配置であったICT支援員を全学校へ配置を拡大し、ICT授業のサポートを実施しました。放課後児童クラブ再編事業では、広神西よつばクラブを広神西小学校内に移転しました。</p>								
課長検証	小中学校の耐震化、老朽化した校舎の改修、エアコン等設備の充実を計画的に進めることができました。また、ICT支援員を全学校へ配置するなど、ICT活用の環境を整備することができました。成果指標である建物の大規模改修率を着実に伸ばし、市民アンケート結果の「学校施設の設備の充実」は、安定維持領域となっていることから、概ね良好と判断しました。								概ね良好

4. 主要な施策の総合検証

一次検証	検証者(職・氏名)	教育委員会事務局 局長 堀沢 淳	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	○
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	<p>温かい学級づくり支援事業の取り組みにより、不登校率は全国及び県平均を下回って推移しており、学校支援のボランティアも増加するなど、地域の人たちが学校づくりに参加していることもわかる。また、学校の耐震化・大規模改修・エアコン整備などの取り組みも順調に進捗していることから、引き続き施策を推進する。</p> <p>今後の課題として、不登校の大きな要因となっている昼夜逆転生活の改善に向けた支援、家庭でのルールづくりなど、児童・生徒だけでなく、保護者・家族への指導や教育を強化していく必要がある。</p>		
二次検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	○
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	一次検証のとおり		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	教育・文化	作成日	
基本目標	第 5 節 私たちが育む学びのまちづくり	検証担当	教育委員会事務局
	誰もが学び交流する場所づくりを推進するとともに、楽しく有意義に継続できる生涯学習、スポーツや芸術文化活動の環境整備を推進し、質の高い学びのまちづくりをすすめます。	関係部署	
主要施策	第 4 項 潤いのある地域文化や芸術の振興と創造		

2. 市民アンケートの結果

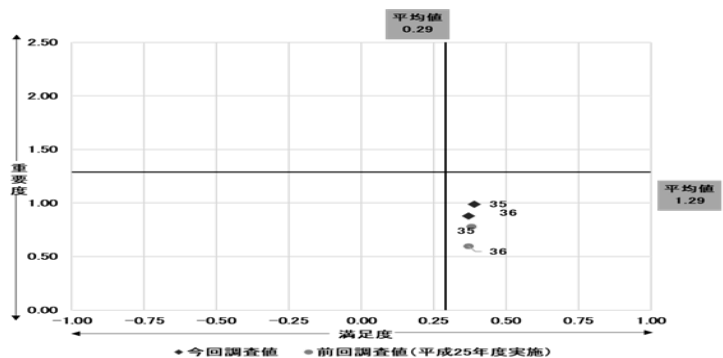
主要な施策	5-(4) 潤いのある地域文化や芸術の振興と創造	R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
		重要度	7.0%	27.9%	13.0%	3.6%	43.6%	0.25					
		R1調査	重要度	19.6%	37.4%	16.2%	2.8%	18.7%	0.72				
	<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">タイプ1 重点課題領域</td> <td style="padding: 5px;">タイプ2 安定維持領域</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">タイプ3 警戒領域</td> <td style="padding: 5px;">タイプ4 見守り領域</td> </tr> </table>	タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域	タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域								
タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域												
タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域												
関連する主な取組	① 36. 文化施設の活用と充実	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			8.6%	45.2%	20.3%	4.7%	21.1%	0.37					
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数					
			13.6%	45.2%	17.0%	2.9%	21.4%	0.60					
		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
		8.5%	48.5%	23.8%	4.3%	14.9%	0.37						
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数					
		21.7%	47.7%	16.4%	2.6%	11.5%	0.88						
	② 35. 生涯学習の場の活用と充実	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			7.6%	46.4%	19.1%	3.9%	23.0%	0.38					
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数					
			18.7%	41.9%	15.4%	1.4%	22.6%	0.78					
	R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数					
	7.4%	50.6%	23.8%	3.4%	14.9%	0.39							
	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数						
	24.3%	47.5%	14.5%	2.3%	11.3%	0.99							
③	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数					
	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数						
	R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数					
	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数						

分析結果

「文化施設の活用と充実」は、前回調査から重要度が上昇したものの、前回同様、見守り領域となっています。

「生涯学習の場の活用と充実」は、前回調査から満足度・重要度は上昇していますが、前回同様、見守り領域となっています。

上記ともに前回調査から「わからない」の回答割合が減少し、関心は高まっています。



※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点(平均点)を示した。

3. [前期基本計画]主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第1号 芸術・文化活動の促進										
施策目標	市民が心豊かな生活を送るために、多様な芸術文化に触れる機会を充実させるとともに、芸術文化を支える人材の育成と活動支援を行います。また、次世代の担い手である子どもたちを育成する文化体験の場を拡充します。さらに、市民が芸術文化に広く関わっていくため、教育・商工観光・福祉など各種団体と連携を深め、新しい文化活動を創出します。									
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考	
	芸術文化の事業件数	67 (H26)	51	40	59			75	件	
	文化的催しに対する満足度※	20.2 (H25)	-	-	-	35.8		30	%	
※H25 文化活動市民アンケート、R1第二次総合計画に関するアンケート										
評価	評価区分	H28	H29	H30	R1	R2	備考			
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い					
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い					
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続					
取組状況	<p>魚沼市文化協会と連携して各地域文化祭、芸能祭、魚沼市美術展を開催し、市内の芸術文化振興に努めてきました。魚沼方言かるた大会は、10回目を迎え、市内全小学校から参加をいただいています。</p> <p>魚沼の達人認定事業については、小出郷文化会館で開催している「アートの体験広場」において、わら細工で達人に認定された方を講師として、「わら細工講座」を開催し、達人の活用の第一歩を踏み出しました。</p> <p>小出郷文化会館は平成29年4月1日から、NPO法人魚沼交流ネットワークの指定管理となりました。魚沼文化自由大衆の理念を引き継ぎ、子どもたちの感性を磨く場として、様々な事業展開を行っているとともに、新しい事業にも取り組んでいます。施設は、平成8年に開館してから23年が経過しました。大規模設備の経年劣化や耐用年数の経過があり、大ホール音響反射板改修、受変電設備改修、館内水道管改修を行いました。</p>									
課長検証	<p>成果指標の「芸術文化の事業件数」は、目標値を若干下回ったものの達成状況は80%を超えております。</p> <p>また、市民アンケート結果からも「文化施設の活用と充実」は、前回調査から満足度・重要度とも上昇しています。</p> <p>以上のことから「概ね良好」と判断しました。</p>								概ね良好	
施策名称 第2号 地域文化の振興と発信										
施策目標	市内文化施設の特徴を活かし、家庭・地域・学校が連携し、伝統的生活文化に触れる機会を創出し、地域文化活動の促進を図ります。また、ふるさと伝統文化を継承し活用するために、子どもたちの地域文化活動への参加を促進します。国内外の都市・団体などと連携を図りながら文化交流を行い、あわせて地域文化活動の振興と情報の発信を図ります。									
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考	
	子ども芸能祭参加団体数	17	17	18	17			20	団体	
評価	評価区分	H28	H29	H30	R1	R2	備考			
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い					
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い					
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続					
取組状況	<p>子ども芸能祭は10回を超えました。学校と地域から連携して協力いただいているおかげで定着してきていると思います。また、子ども芸能祭で出演した子どもたちが成長して、地域芸能祭に出演するなど、少しずつですが効果が表れてきています。更に、今まで出演していなかった地域の子も出演するようになり、市内全域に広がりをみせております。</p> <p>地域公民館講座教室事業では、それぞれの地域の伝統や文化に関係した講座を開設し、地域文化活動の継承に取り組んでいます。</p>									
課長検証	<p>成果指標の「子ども芸能祭参加団体数」は、目標値を若干下回ったものの達成状況は80%を超えております。</p> <p>市民アンケート結果からも「文化施設の活用と充実」と「生涯学習の場の活用と充実」は、前回調査から満足度・重要度とも上昇しています。また、上記とともに前回調査から「わからない」の回答割合が減少し、市民の関心は高まっています。</p> <p>以上のことから「概ね良好」と判断しました。</p>								概ね良好	
施策名称 第3号 文化財の保護と活用										
施策目標	市内に存在する文化財を地域資源として広く公開し、施設整備を含め、子どもたちが接する機会や、市民が学ぶ機会を積極的に設けるなど有効な活用を図り、郷土の歴史・文化に関する認識を深め、市民全体で保護・継承し、発信していく意識を高めます。									
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考	
	文化財を活用した講座や体験教室等の参加者数	201	285	249	492			250	人	
	企画展等の見学者数	700	794	798	992			800	人	
評価	評価区分	H28	H29	H30	R1	R2	備考			
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	高い					
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	高い					
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続					
取組状況	<p>県営園場整備や開発工事等により破壊される遺跡の記録保存は、後世に伝えるための貴重な資料となるものです。これらを活用し、企画展や講演会、体験教室等を開催してきました。いずれも指標にある目標値を上回る成果を上げています。</p> <p>また、信濃川火焔街連携協議会や、歴史の道八十里越調査保存整備委員会により、他の自治体と連携し広域的に文化財の保存活用について取り組んできました。</p>									
課長検証	<p>市民アンケート調査の結果では、前回に比べると満足度で「やや満足」と「やや不満」が共にポイント増となっています。更に重要度では、「重要」「やや重要」と回答した人が合わせて約7割となっています。</p> <p>これは、文化財に関する企画展や講演会、体験教室等には概ね満足しているものの、文化財を公開するための根幹となる常設展示施設が無いことが要因として考えられます。今後、庁舎移転に伴う空き施設を活用し、常設展示施設の整備を進める必要があると考えます。</p> <p>成果指標の「文化財を活用した講座や体験教室等の参加者数」と「企画展等の見学者数」は、目標値を大きく上回りました。</p> <p>以上のことから「概ね良好」と判断しました。</p>								概ね良好	

4. 主要な施策の総合検証

一次 検証	検証者(職・氏名)	教育委員会事務局 局長 堀沢 淳	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	○
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	文化・芸術の分野は、個々の趣味趣向によるところが大きい分野となる。そのような分野において、徐々にではあるが市民の関心が高まっている。少子化の現状では子ども芸能祭参加団体の伸びなど期待薄の部分もあるが、引き続き事業を推進することにより、地域の伝統芸能の継承・発展を図るとともに、郷土の歴史・文化に関する認識を高めることができる。		

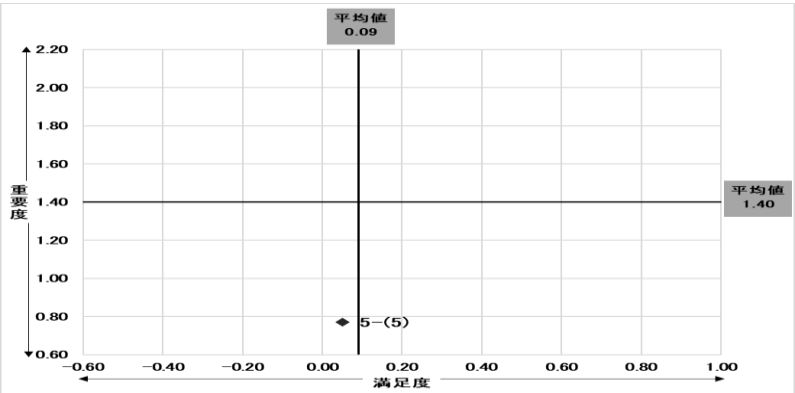
二次 検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	○
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	一次検証のとおり		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

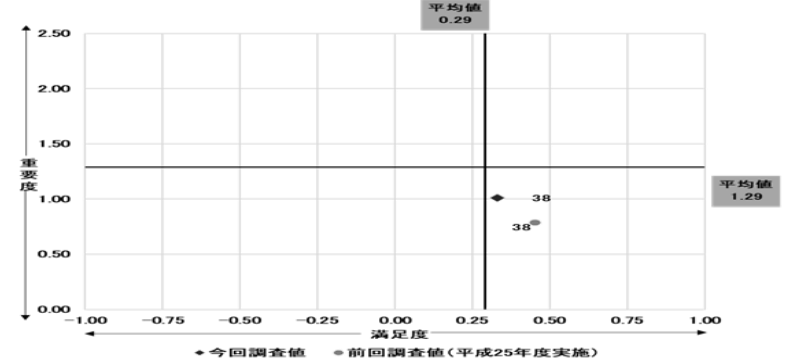
1. 施策の大綱

分野	教育・文化	作成日	
基本目標	第 5 節 私たちが育む学びのまちづくり	検証担当	教育委員会事務局
	誰もが学び交流する場所づくりを推進するとともに、楽しく有意義に継続できる生涯学習、スポーツや芸術文化活動の環境整備を推進し、質の高い学びのまちづくりをすすめます。	関係部署	市民福祉部
主要施策	第 5 項 楽しく質の高いスポーツ・レクリエーションの振興		

2. 市民アンケートの結果

主要な施策		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
	5-(5) 楽しく質の高いスポーツ・レクリエーションの振興			5.1%	22.3%	14.3%	6.0%	47.7%	0.05				
				22.1%	35.3%	12.3%	4.2%	20.9%	0.77				
	<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">タイプ1 重点課題領域</td> <td style="padding: 5px;">タイプ2 安定維持領域</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">タイプ3 警戒領域</td> <td style="padding: 5px;">タイプ4 見守り領域</td> </tr> </table>	タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域	タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域								
タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域												
タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域												
関連する主な取組	①	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
		②	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数			
				重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数			
	R1調査		満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
	③		H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数			
				重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数			
		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				

「スポーツ施設の活用、充実」は、前回調査から重要度は上昇していますが、満足度は低下しています。前回同様、見守り領域となっています。



※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。

3. [前期基本計画]主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 誰でも楽しく健康づくりができる活動の推進									
施策目標	子どもから高齢者まで、スポーツ活動やレクリエーションに参加でき、健康増進や生きがいづくり、そして地域も元気になる生涯スポーツの推進を図ります。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	各種スポーツ教室等の参加者数	7,807	9,439	9,677	8,168			8,200 人	
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや低い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	改善				
取組状況	<p>市の直営事業のほか、生涯スポーツに関連する多くの事業を体育協会や総合型スポーツクラブへ委託し、連携を図りながら進めてきました。質の高いプログラムや参加意欲が高まるような事業内容により、意欲的に取り組んでいる人には運動習慣の定着に結びついている一方、少子化の影響や個人でスポーツを楽しみたい人が増えていることもあり、各種スポーツ教室や大会等の参加者は必ずしも伸びているとは言えない状況です。</p> <p>市直営事業である小学生以下対象の水泳教室や小学生クロスカントリースキー大会、小中学生対象のスキーリフトシーズン券購入補助事業等は、ジュニア世代がスポーツに親しみ、関わる機会を創出しています。</p> <p>体育施設に関しては、年々老朽化等に伴う修繕が多くなっていますが、状態をみながら予算の範囲内で対応しています。また、多くの市民から利用いただいておりますが、設備面から実施可能な種目が限られるため、多様な市民ニーズに応えられている状況とはいえません。</p> <p>平成29年度からは、運動習慣の定着を図るため、運動への取り組みやスポーツイベントへの参加に対してポイントを付与する「うおぬま元気ポイント」の制度を開始し、市民が楽しみながらスポーツに親しめる環境整備を進めています。</p>								
課長検証	<p>市民アンケート「スポーツ施設の活用、充実」の満足度は、前回調査から低下となりました。また、「各種スポーツ教室等の参加者数」も、平成30年度では対前年比で減少となりました。</p> <p>しかし、参加者数の減少は、少子化の影響や市民が興味を持つ種目が増えていることも原因であると考えられ、スポーツや健康づくりのための運動に親しむ環境整備が進んだため「概ね良好」と判断しました。</p>								概ね良好
施策名称 第 2 号 スポーツ活動推進のための体制強化									
施策目標	夢に向かってスポーツに挑戦していく人々や関係者への支援を充実させるため、各スポーツ団体と連携・協働しながら、各組織の自立と体制強化を推進します。また、スポーツを「する」「観る」「支える」といった関わり方に応じて、スポーツに接する機会を創出し、それぞれが支えあい、連携するシステムの整備を図ります。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	体育協会の会員数	2,750	2,483	2,400	2,213			2,850 人	
	スポーツ少年団等の有資格指導者数	147	148	148	144			160 人	
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや低い	やや低い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	改善	改善	現状で継続				
取組状況	<p>体育協会へ各種スポーツ大会等を業務委託し、競技性の高い大会を実施することで競技力の向上を図るとともに、競技人口の拡大につなげていけるよう取り組んできました。しかしながら、体育協会やスポーツ少年団の加盟団体の減少(統合・休止)に伴い、競技人口の拡大については必ずしも成果を上げている状況ではなく、指導者の担い手不足についても継続した課題となっています。</p> <p>また、体制強化と運営維持を図るため、体育協会には運営費も含めた補助を行い、スポーツ少年団には体育協会を通しての補助金交付による支援を行うことで、競技に取組む環境整備を図りました。</p>								
課長検証	<p>体育協会やスポーツ少年団の加盟団体の減少(統合・休止)に伴い、競技人口の拡大については必ずしも成果を上げている状況ではなく、指導者の担い手不足についても継続した課題となっています。</p> <p>市民アンケートでも「スポーツ施設の活用、充実」は、前回調査から重要度は上昇していますが、満足度は低下しています。</p> <p>以上のことから「やや不良」と判断しました。</p>								やや不良
施策名称 第 3 号 スポーツにおける広域連携の推進									
施策目標	様々なスポーツに接する機会の拡大、スポーツの普及、推進、競技力向上を図るには、近隣市町と連携した取り組みも重要となります。既存施設の活用を図りながら、施設整備や相互利用など、スポーツの振興や推進にかかる全ての分野において、広域的な連携をすすめていきます。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	小、中学校体育連盟、体育協会等において近隣市町で連携した大会等の開催数	26	25	25	25			30 件	
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや低い	やや低い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	改善				
取組状況	<p>例年、市内体育施設で実施可能な種目の会場として、魚沼市中学校体育連盟及び体育協会加盟団体を中心となり市外からの参加を可能とした各種大会が開催されています。魚沼市としては、会場の早期予約に配慮するなど各種大会が円滑に行えるよう取り組みました。</p> <p>また、魚沼地域定住自立圏構想に係る専門部会において、施設の相互利用など継続した協議を行いました。</p>								
課長検証	<p>市内体育施設で実施可能な種目の会場として、魚沼市中学校体育連盟及び体育協会加盟団体が中心となり市外からの参加を可能とした各種大会が開催されています。</p> <p>成果指標の「小、中学校体育連盟、体育協会等において近隣市町で連携した大会等の開催数」は、平成28年度から平成30年度まで25件でした。</p> <p>市民アンケート調査結果からも「スポーツ施設の活用、充実」は、前回調査から満足度は若干減少しているものの重要度は上昇しています。</p> <p>以上のことから「概ね良好」と判断しました。</p>								概ね良好

4. 主要な施策の総合検証

一次 検証	検証者(職・氏名)	教育委員会事務局 局長 堀沢 淳	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	人口減少、高齢化の進行などによる各種スポーツ教室への参加者数や指導者の減少は今後においても考えられるところである。 しかし、市民の健康づくりへの意識は高まっており、少人数や個人での活動を希望する方々へのニーズに応えることが必要である。体育施設・公民館施設などの利用方法を含め改善すべき点がある。		

二次 検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	一次検証のとおり		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	市民協働・自治体運営	作成日	
基本目標	第6節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり	検証担当	総務政策部
	行政が情報を提供し、協働するシステムを充実させ、魅力あるまちづくりをすすめます。	関係部署	
主要施策	第1項 市民参画と行政との協働の推進		

2. 市民アンケートの結果

主要な施策		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
	6-(1) 市民参画と行政との協働の推進			1.9%	15.5%	19.1%	8.1%	50.9%	-0.22				
				31.1%	33.0%	6.0%	1.1%	23.6%	1.17				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">タイプ1 重点課題領域</td> <td style="width: 50%;">タイプ2 安定維持領域</td> </tr> <tr> <td>タイプ3 警戒領域</td> <td>タイプ4 見守り領域</td> </tr> </table>		タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域	タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域							
タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域												
タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域												
関連する主な取組	① 40. 市政への市民参加の推進	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
				7.0%	39.2%	29.0%	3.9%	20.9%	0.20				
		R1調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
				23.2%	44.8%	10.5%	0.4%	21.1%	1.03				
	② 42. 男女共同参画社会の実現	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
				5.3%	43.5%	24.4%	3.7%	23.0%	0.24				
		R1調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
				16.8%	42.9%	15.6%	2.7%	22.0%	0.70				
	③ 43. 人権問題への取組と啓発活動の推進	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
				6.4%	45.8%	19.1%	5.1%	23.6%	0.31				
		R1調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
				19.9%	43.1%	11.5%	2.5%	23.0%	0.84				
分析結果		H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
				8.9%	43.6%	28.1%	3.6%	15.8%	0.31				
		R1調査	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
				24.3%	45.3%	14.0%	3.8%	12.6%	0.93				
<p>「市政への市民参加の推進」「男女共同参画社会の実現」「人権問題への取組と啓発活動の推進」は、いずれも前回調査から重要度が上昇したものの、前回同様、見守り領域となっています。</p> <p>市政への参加参画については、「アンケートなどへの回答」が最も高く、「自主的に参加したい」は、前回調査より減少しています。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="width: 40%;"> </div> <div style="width: 60%;"> </div> </div>													

※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。

3. [前期基本計画]主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 まちづくりへの市民参画の推進									
施策 目標	市民一人ひとりが、お互いの人権・人格を尊重し合って、自らがまちづくりの重要な担い手であることを自覚し、発言と行動に責任を持って参画できるよう意識の高揚を図ります。また、情報を市民と共有し、男女・世代等を問わず多くの市民が参画し、その意見が反映されるまちづくりを推進します。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	地域活動への参加割合	68.0	-	-	-	67.0 (※)		75.0以上	%
(※)R1総合計画に関するアンケート調査で「どのような地域活動に参加していますか(複数回答)」に対して「特に参加していない」と答えた人の割合が33%であったため、何らかの地域活動に参加している人を100-33=67%とした。									
評価	評価区分	H28	H29	H30	R1	R2	備考		
二次 評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや低い	やや低い	やや低い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや低い	やや低い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	改善	改善	改善				
取組 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市政に関する各種の説明会や意見交換会、市長との市民対話等において、女性や若い世代の参加が少ない状況です。市の審議会等への女性登用率については数値目標を設定し、実際に向上が見られますが、これだけをもって「女性の参画が進んだ」とは言えません。 ・若い世代が市政に参画する機会として市主催の「まちづくり若者会議」を実施し、その後参加者による自主運営へと発展しました。 ・分野ごとに人権施策を推進していますが、現在のところ、まちづくりへの市民参画との関連は薄い状況です。 								
課長 検証	市民意識調査では、市政やまちづくりについて、5年前と比較して能動的な参加意識が低下し、受動的な参加でよしとする回答と「関心がない」とする回答がともに増加しました。従来を取組のままでは今後も市政への参加意識を高めることは難しいと考えます。一方で、人権問題では重要度・満足度ともにわずかながら上昇しました。								やや不良

施策名称 第 2 号 協働体制の充実									
施策 目標	まちづくりの主体である市民と行政が、お互いに対等な立場で意見交換を行いながら施策を推進する体制を充実していきます。また、地域社会の担い手として、自主的かつ自立的な活動を行う「コミュニティ」を守り育てていくとともに、まちづくり委員会をはじめとしたまちづくり組織の連携の仕組みづくりを推進します。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	市民と行政との協働推進の充実度	33.0	-	-	-	17.4 (※)		75.0以上	%
(※)R1総合計画に関するアンケート調査で「市民参画と行政との協働の推進」に対する満足度で『満足』1.9%、『やや満足』15.5%の合計									
評価	評価区分	H28	H29	H30	R1	R2	備考		
二次 評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや低い	やや低い	やや低い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや低い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	改善	改善	改善				
取組 状況	まちづくりへの市民参画を目的として設置したまちづくり委員会の事務局として活動の支援を行いました。まちづくり委員会の活動や主催事業を市報等で周知することで、まちづくりへの市民参画を推進しました。								
課長 検証	アンケート結果では重要度が上昇していますが市政への積極的な参加は減少している状況にあり、市民協働の場であるまちづくり委員会活動は市民からの認知度も低く参加者も固定化し減少していることから、幅広い年齢層の意見を集約ができない状態にあります。市内各団体との様々な関わり方を持つことでまちづくり組織の連携強化を図り、自主的かつ自立的なまちづくり組織の運営確立と市民参画の促進による参加者の増加を図っていく必要があります。								やや不良

4. 主要な施策の総合検証

一 次 検 証	検証者(職・氏名)	総務政策部長 森山 徳裕	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	「まちづくり基本条例」に基づき取り組んできたが、成果が上がってきていない状況となっている。このことから今までの取組を行政、市民及びまちづくり委員会など多角的方向から検証し課題を洗い出し、出てきた課題を解決するために必要な取組を再構築する必要がある。		

二 次 検 証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	一次検証のとおり		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	市民協働・自治体運営	作成日	
基本目標	第 6 節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり 行政が情報を提供し、協働するシステムを充実させ、魅力あるまちづくりをすすめます。	検証担当	総務政策部
		関係部署	
主要施策	第 2 項 市民参画による地域づくりの推進		

2. 市民アンケートの結果

主要な施策	6-(2) 市民参画による地域づくりの推進	R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数									
				2.5%	18.5%	16.6%	6.8%	50.8%	-0.11								
				27.0%	34.2%	8.7%	3.6%	20.6%	0.96								
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>タイプ 1</td> <td>タイプ 2</td> </tr> <tr> <td>重点課題領域</td> <td>安定維持領域</td> </tr> <tr> <td>タイプ 3</td> <td>タイプ 4</td> </tr> <tr> <td>警戒領域</td> <td>見守り領域</td> </tr> </table>		タイプ 1	タイプ 2	重点課題領域	安定維持領域	タイプ 3	タイプ 4	警戒領域	見守り領域						
タイプ 1	タイプ 2																
重点課題領域	安定維持領域																
タイプ 3	タイプ 4																
警戒領域	見守り領域																
関連する主な取組	① 問11 魚沼市を住みやすいまちだと思いますか。																
		H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数										
	R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数									
	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数										
	② 41. ボランティア活動の支援	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数									
	③	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数								
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数									
	分析結果	「ボランティア活動の支援」は、前回調査から満足度が低下しています。前回同様、見守り領域となっています。															

※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。

3. [前期基本計画]主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 支え合う地域づくりの支援									
施策目標	地域内の若者や子育て世代と高齢者など、世代間を超えた市民の交流を推進し、人財の発掘と活用を図るとともに、次代を担う人財の育成や活力ある地域づくりを支援します。また、少子高齢化に伴う社会情勢の変化に対応して、地域の事情に応じた支えあい、助け合う地域づくりを支援します。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	地域に対する満足度	51.0	-	-	-	58.1 (※)		75.0以上	%
(※)R1総合計画に関するアンケート調査で『住みやすい』17.7%、『どちらかといえば住みやすい』40.4%の合計									
評価	評価区分	H28	H29	H30	R1	R2	備考		
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや低い	やや低い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや低い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	改善	改善				
取組状況	うおめま未来人材育成事業について、平成28年度は行政主催で「うおめま若者会議」を全3回実施しました。会議では魚沼の強みや課題について若者目線での議論を促進しました。翌29年度には会議で集まったメンバーが中心となり、団体としての「うおめま若者会議」を立ち上げましたので、補助要綱の設置等を行い、行政との繋ぎ役の部分等で支援を行いました。 また、農村文化創生事業においては、平成30年度に商店街を活用した地域の活性化や地域の魅力を発見・発信し地域の活性化を図ることをテーマとし、新潟国際情報大学、昭和女子大学と連携し課題解決に取り組みました。商店街や地域でも自分たちの課題として捉え、新しい価値観の発見に向け学生と共に取り組むことにより、活性化が図られました。								
課長検証	うおめま未来人材育成事業については、若者が中心となって活動する組織が円滑に運営されるための支援や参加者の拡充を図るために他団体への周知や連携を深めていく必要があります。また、補助金に頼らない組織運営ができるよう活動内容の見直しの検討も必要となります。 農村文化創生事業については、既に連携し事業を行っている大学のほか、新たな大学との連携を協議し、学生など外からの視点で地域の魅力を発見し、農村に住む価値を更に高めるとともに新たな人の流れを作り出す必要があります。 地域で活動する様々な団体の支援や未来を考える人材を育成する施策を継続的に実施することにより、地域のコミュニティ基盤の強化や充実につながるものと考えます。								
概ね良好									
施策名称 第 2 号 地域づくりの活性化									
施策目標	「地域の課題は地域で話し合い解決する」という本来の住民主体型の地域づくりを推進しながら、「地域づくりから始まるまちづくり」をめざします。また、広範な地域課題への対応や活力ある地域活動をすすめるため、全地域へのコミュニティ協議会の設立と、その活動を積極的に支援します。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	コミュニティ協議会数	12	14	15	15			15	団体
	コミュニティ協議会の人口カバー率	54.0	72.1	78.9	78.9			67.0	%
評価	評価区分	H28	H29	H30	R1	R2	備考		
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続				
取組状況	地域活動支援事業については、集会所施設建設費等補助において、自治会の世帯数による負担割合の見直しを行い、平成29年度に補助金交付要綱の改正を行いました。令和2年度より施工し、これにより小集落の負担軽減が図られます。 コミュニティ活動支援事業については、現在15団体のコミュニティ協議会が設立。新規設立に向け、各自治会等の合意形成に向け支援を継続して行ってきました。 地域との「絆」推進事業については、集落支援員が課題解決のために地域へ入って活動を行いました。自治会の課題解決に向け集落アンケート等の実施に向け、専門の講師による研修等を実施してきました。また、除雪やコミュニティバスの運行など高齢者等の支援を地域で助け合っている関係団体との調整を行ってきました。								
課長検証	コミュニティ協議会や自治会に向けて、課題解決型への移行を促進しながら、市民の地域活動の充実のために今後も引き続き各事業の実施を支援していく必要があります。また、集落アンケートの実施や問題解決のための話し合いや取り組みのサポートについて、集落支援員が地域に入り活動を行う必要があります。 高齢者等の日常生活における不便を緩和するための高齢化対策共助事業について、地域のニーズや理解を得た中で地域で助け合う共助の仕組みづくりを検討していきます。 集落支援員の活動により、市、自治会、コミュニティ協議会、関係団体が連携し、地域の維持活性化対策を促進していく必要があります。								
概ね良好									
施策名称 第 3 号 地域づくりに向けた移住・定住の促進									
施策目標	地域外との交流や地域おこし協力隊の拡充による豊かな地域資源の発掘、積極的な情報発信、雪国・田舎暮らし体験、空き家の有効活用などを通じて、活力ある地域づくりに向けた移住者・定住者の増加を図ります。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	移住・定住者の数	-	18					25	件
評価	評価区分	H28	H29	H30	R1	R2	備考		
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	拡充	改善	拡充				
取組状況	移住の前段として関係人口の増加にも重点を置き、「地域交流推進事業」では友好都市である足立区のほか、旧町村時よりつながりのある自治体や在京郷人会、学習院との交流を深めるとともに、「田舎暮らし体験事業」によるインターンシップの実施や「ふるさと結基金事業」により魚沼市の認知度の深化を図りました。 また、「地域おこし協力隊受入事業」による受け入れも含め、各事業ともに地域住民や市内事業者との協働により実施しており、地域の受け入れ体制の整備や地場産業の活性化を図りました。 主となる「移住定住促進事業」では東京都での積極的な移住相談会を重ねる中で、民間での取り組みも含め、移住支援策を紹介するとともに、魚沼での暮らしをより具体的にイメージできるよう短期間滞在できるお試し住宅を2室準備し、利用促進を図りました。								
課長検証	積極的な首都圏移住相談を行っており、市の観光資源、仕事などを発信するとともに、より具体的な暮らしをイメージさせることで認知度向上・深化に寄与しており、少数ではあるものの移住者確保にもつながっております。 今後は、地域の良さを体験できる様々な交流活動の展開による交流人口の拡大により、主体的かつ継続的な関係性を持つ関係人口の拡大のための仕組みづくりを図る必要があります。 併せて、地域の生活・就職情報や総合的な住宅情報など積極的に定住関連情報等を発信するするとともに、定住につながる施策を組み合わせ推進していく必要があります。								
概ね良好									

4. 主要な施策の総合検証

一次 検証	検証者(職・氏名)	総務政策部長 森山 徳裕	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	コミュニティ協議会の結成数が向上し地域づくりへの体制整備は進んでいるが、これからの担い手である若者等の人財育成が遅れている状況であるため、これらの施策について改善していく必要がある。また外部からの人財として移住定住を更に推進するための施策を考えていく必要もある。		

二次 検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	一次検証のとおり		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

1. 施策の大綱

分野	市民協働・自治体運営	作成日	
基本目標	第6節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり	検証担当	総務政策部
	行政が情報を提供し、協働するシステムを充実させ、魅力あるまちづくりをすすめます。	関係部署	
主要施策	第3項 市民に信頼される開かれた行政運営		

2. 市民アンケートの結果

主要な施策		R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
	6-(3)市民に信頼される開かれた行政運営		8.3%	29.6%	16.6%	9.6%	30.9%	0.09	1.19				
			32.5%	36.4%	6.4%	2.8%	16.4%						
	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">タイプ1 重点課題領域</td> <td style="padding: 5px;">タイプ2 安定維持領域</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">タイプ3 警戒領域</td> <td style="padding: 5px;">タイプ4 見守り領域</td> </tr> </table>	タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域	タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域								
タイプ1 重点課題領域	タイプ2 安定維持領域												
タイプ3 警戒領域	タイプ4 見守り領域												
関連する主な取組	①	39. 情報公開の促進や広報活動の充実	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数			
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
			R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数			
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
	②	44. 市役所の組織機構の見直しや行政改革	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数			
				重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数			
				R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数		
				重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数			
	③	45. 行財政運営の健全化	H25調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数			
				重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数			
				R1調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数		
				重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数			
分析結果	<p>「情報公開の促進や広報活動の充実」は、重要度に大きな変化はありませんが、満足度が低下しました。</p> <p>「市役所の組織機構の見直しや行政改革」は、前回調査から満足度が低下し、不満・やや不満の合計は、9.7ポイント上昇し、全体の5割近くを占め、満足・やや満足を上回る結果となりました。</p> <p>「行財政運営の健全化」の重要度は、重要・やや重要な合計が全体の8割を占めます。満足度は不満・やや不満が全体の5割近くを占め、満足・やや満足を11.8ポイント上回る結果となっています。</p>												

※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。

3. [前期基本計画]主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 効率的で効果的な行政運営									
施策目標	持続可能な行政運営を確立するため、優先的、重点的に取り組むべき施策を中心に事業を展開し、効率的で効果的な行政運営をすすめます。そのために施策や事業について行政評価を行うとともに、その結果をわかりやすく公表します。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	効率的で効果的な行政運営	22.0	-	-	-	36.8		75.0以上	%
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや低い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続				
取組状況	行政評価について、事務事業評価は担当課による内部評価、施策評価は担当課及び庁内の行政評価会議による内部評価に加えて、抽出した施策を総合計画審議委員会による外部評価を行いその結果を公表しています。								
課長検証	行政評価の方法や公表の仕方については今後も改善の余地がありますが、「行政評価を行いその結果を公表する」ことについては達成できました。今後は、評価結果をいかに市民の満足度向上につなげていくかが課題です。								概ね良好

施策名称 第 2 号 わかりやすい行政情報の発信と職員の能力向上									
施策目標	行政と市民との情報共有及び市民が参加しやすい行政運営のため、広報誌、ホームページのみならず、コミュニティFMなど様々な媒体を活用した情報提供に努めるとともに、「市民の思い」を行政に反映させる広聴活動を行います。また、質の高い行政サービスを提供していくため、「質」を重視した職員の能力向上等に努めます。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	情報・行政サービス提供の満足度	60.0	-	-	-	54.6		75.0以上	%
					情報公開の促進や広報活動の充実に「満足」「やや満足」と答えた人の割合				
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	改善				
取組状況	<p>「行政と市民との情報共有」としては、従来手法である広報誌に加え、市ホームページやSNS、コミュニティFMなど各種媒体を活用した情報発信により、情報共有に努めました。活動指標である「ホームページのアクセス数」と「フェイスブックフォロワー数」は毎年着実に数値が伸びており、効果として表れています。</p> <p>広聴活動では、市長への手紙などで意見を募集したほか、市長が直接市民の声を聞く「市民対話の日」などを行い、市政への反映に向けた取組を行いました。しかし、施策目標である「市民の思いを市政に反映させる広聴活動」が十分に達成できたとは言いえない状況です。</p> <p>「質」を重視した職員の能力向上では、階層研修や専門研修、新採用職員を対象とした研修など職場内外で職員研修を実施し、職員の意識改革に努めました。平成30年度に実施した職員の接遇に関するアンケート調査では、職員のあいさつ、身だしなみ、対応・説明、対応の速さなどの市民が窓口職員等に持つ印象は概ね良好でした。</p>								
課長検証	市の情報を何から得ているかというアンケート項目では、依然として広報誌等の紙ベースが大半を占めているものの、SNSやFMうおぬまといった新しい媒体も伸びており、また前述したとおり活動指標でも成果が見られることから、「様々な媒体を活用した情報提供」という施策目標に対しては一定の成果があったものと考えます。一方でアンケート項目の「情報公開の促進や広報活動の充実」では、前回調査との比較では重要度が上がっているものの満足度は下がっています。市としてはこの分野でも充実を図ってきたところですが、市民の求めるものがこの数年でさらに高まっているものと考えられ、今後さらなる取組の強化が必要です。								概ね良好
また、広聴活動と職員の能力向上では前述したとおりですので、施策目標に対して成果が見られる取組もありますが、課題もあるため施策の検証は「概ね良好」としました。									

4. 主要な施策の総合検証

一次 検証	検証者(職・氏名)	総務政策部長 森山 徳裕	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	行政における評価とアンケート調査で乖離がある結果となった。その原因の解明と課題を洗い出し、解消していく施策を出していく必要がある。		

二次 検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	一次検証のとおり		

第二次総合計画 前期基本計画 主要な施策シート 中間検証

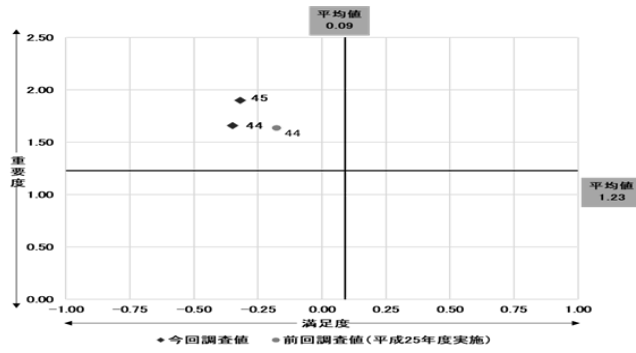
1. 施策の大綱

分野	市民協働・自治体運営	作成日	
基本目標	第 6 節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり 行政が情報を提供し、協働するシステムを充実させ、魅力あるまちづくりをすすめます。	検証担当	総務政策部
		関係部署	
主要施策	第 4 項 選択と集中による財政運営		

2. 市民アンケートの結果

主要な施策		R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
	6-(4) 選択と集中による財政運営		2.1%	14.5%	17.2%	14.3%	46.6%	-0.39					
			41.5%	24.5%	2.6%	1.3%	23.8%	1.42					
	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">タイプ 1 重点課題領域</td> <td style="padding: 5px;">タイプ 2 安定維持領域</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">タイプ 3 警戒領域</td> <td style="padding: 5px;">タイプ 4 見守り領域</td> </tr> </table>	タイプ 1 重点課題領域	タイプ 2 安定維持領域	タイプ 3 警戒領域	タイプ 4 見守り領域								
タイプ 1 重点課題領域	タイプ 2 安定維持領域												
タイプ 3 警戒領域	タイプ 4 見守り領域												
関連する主な取組	① 44. 市役所の組織機構の見直しや行政改革	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				
		R1 調査	満足度	5.1%	31.1%	33.8%	15.8%	14.2%	-0.35				
			重要度	47.7%	33.6%	6.4%	1.5%	10.8%	1.66				
		② 45. 行財政運営の健全化	H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数			
				重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数			
	R1 調査		満足度	4.3%	32.5%	34.3%	14.3%	14.5%	-0.32				
			重要度	56.0%	28.7%	3.2%	1.3%	10.8%	1.90				
	③		H25 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数			
				重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数			
		R1 調査	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数				
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数				

「市役所の組織機構の見直しや行政改革」は、前回調査から満足度が低下し、不満・やや不満の合計は、9.7ポイント上昇し、全体の5割近くを占め、満足・やや満足を上回る結果となりました。「行財政運営の健全化」の重要度は、重要・やや重要な合計が全体の8割を占めます。満足度は不満・やや不満が全体の5割近くを占め、満足・やや満足を11.8ポイント上回る結果となっています。



※アンケート調査結果の「指数」は、満足、重要と答えた回答を3ポイント、やや満足、やや重要と答えた回答を1ポイント、やや不満、あまり重要でないと答えた回答を-1ポイント、不満、重要でないと答えた回答を-3ポイントとして、回答者全員の合計点を集計し、それを回答者人数で除した点（平均点）を示した。

3. [前期基本計画]主要な施策を構成する施策の成果

施策名称 第 1 号 行政改革の継続と組織のスリム化									
施策目標	公共施設においては、複合的に施設を活用するなど、施設の再編を計画的にすすめ、維持管理経費の節減と将来負担の縮減を図ります。また、施設の再編とあわせ業務内容を見直して効率化をすすめることにより、行政組織のスリム化につなげ、人員の削減と財政負担の軽減を図ります。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	行政の組織機構や行政改革についての満足度	40.0	-	-	-	36.2		75.0以上	%
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや低い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎再編について、北部事務所管内を除き、庁舎の一元化を達成するために新庁舎の建設に着手しました。既存庁舎の利活用について民間活力の導入も含めた再整備計画を策定します。 ・また、すもんこども園建設等、保育園・幼稚園の再編を行ったほか、小学校内へ学童保育の移転を進めました。大規模建設事業に伴う公共施設再編については、概ね計画どおり進んでいますが、その他の既存施設の再編（主に廃止・統合等）は一部に遅れが生じています。 ・定員適正化計画に基づき、また庁舎一本化を見据えて、組織のスリム化を進めました。 								
課長検証	大型建設事業に伴う公共施設の再編・統合については、概ね計画どおり進めることができました。引き続き、公共施設総合管理計画に基づき、老朽化した既存施設の更なる縮減が課題です。								概ね良好

施策名称 第 2 号 事業の選択と予算の集中による財政運営									
施策目標	厳しくなる財政状況の中、民間企業の経営管理手法を参考に、市民への行政サービスの質を低下させることなく、将来につなげる事業選択をし、適正な予算執行と集中管理をすすめます。								
指標	指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	備考
	基本構想の財政フレーム	297.6 (H27)	287.1	262.4	277.7			230.0	億円
	実質公債費比率(注1)	10.7 (H25)	7.6	6.8	6.5			15.0% 未滿	%
	将来負担比率(注2)	36.1 (H25)	66.9	34.0	26.8			150.0% 未滿	%
評価	評価区分		H28	H29	H30	R1	R2	備考	
二次評価	達成度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや低い	やや高い	やや高い				
	貢献度	高い、やや高い、やや低い、低い	やや高い	やや高い	やや高い				
	総合評価	拡充、現状で継続、改善、縮小	現状で継続	現状で継続	現状で継続				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・行政評価を予算編成に活用することにより、事業の優先順位をつけて将来につながる事業選択となるよう努めていますが、まだ十分とは言えない状況です。 ・前期基本計画期間中に大型建設事業が続きましたが、新市建設計画の期間延長により合併特例債を活用し、財政の健全運営に努めています。 ・民間活力の導入については、指定管理を進め、経費の削減とサービス向上を図っています。一方、PFI手法を検討するなどの試みはありますが本格導入には至っていません。 								
課長検証	市民意識調査においては、行政改革や行財政運営の健全化に関しては満足度が低い結果となりましたが、公共施設総合管理計画の実行計画である公共施設再編整備期計画に基づき公共施設の統廃合等に取り組んでいるほか、定員適正化計画に基づき計画的な職員数削減と効率的な組織運営を進めています。実質公債費比率や将来負担比率等の財政指標は健全に推移しており、概ね良好としました。								概ね良好

(注1) 実質公債費比率：資金繰りの危険度を示します。借入金の返済額（公債費）と、これに準じる額の大きさを指標化したもの。自治体の収入に対する負債返済の割合を示し、3年間の平均値を使用します。新たな起債をするために、18%以上は国や県の許可が必要であり、25%以上だと起債を制限されます。

(注2)：将来負担比率：将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示します。借入金の返済額（公債費）や将来的に支払う可能性のある負担等について、現時点での残高の程度を指標化したものです。

・実質公債費比率は18.0%未滿、将来負担比率は180.0%未滿を健全財政の目安の比率と捉えています。

4. 主要な施策の総合検証

一次 検証	検証者(職・氏名)	総務政策部長 森山 徳裕	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	財政健全化の指標となる各種数値については向上しており改善がなされていると考えるが、取組を市民に分かりやすく伝えるためには、施策を絞り込んで実行していくことも必要と考える。施策及び事業における優先順位付けを更に明確化するとともに、施策内容も現状の課題にあわせ修正していく必要がある。		

二次 検証	検証者(職・氏名)	行政評価会議	
	検証	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	
		目標を達成するためには、一部の施策を改善する必要がある。	○
		目標を達成するためには、施策全体を改善する必要がある。	
理由 (改善内容等)	一次検証のとおり		

第二次総合計画 前期基本計画 重点施策シート 中間検証

1. 施策の基本事項

主要施策	第1項 人口減少問題対策	検証担当	行政評価会議
施策名	第1号 雇用の創出、就業の場の確保		

2. 取組の内容

農業や林業などの担い手の確保、企業誘致等による雇用促進や起業の支援、地域資源を活用した産業振興を総合的にすすめるほか、U・Iターンの受入れ体制をつくるなど、定住人口の増加を図ります。
あわせて、魚沼の自然を活かした体験型観光や友好都市との交流等により交流人口の増加を図ります。

3. 施策を構成する事業

〔事業費単位：千円〕

事業No.	事務事業名	担当課	H28 決算	H29 決算	H30 決算	R1 予算	R2 計画	合計	分野等	
									分野	備考
57	ICT推進事業	企画政策課	4,582	597	3,823	4,612	5,067	18,681	生活基盤	
127	介護人材確保支援事業	介護福祉課	2,656	2,981	2,742	3,102	7,430	18,911	健康福祉	
288	地域産業活性化事業	商工観光課	40,928	19,970	13,748	9,003	4,003	87,652	産業	
292	中小企業活性化支援事業	商工観光課	3,949	2,847	3,922	6,500	9,000	26,218	産業	
251	農業者育成支援事業	農政課	0	16,039	34,835	49,172	17,100	117,146	産業	
254	新規就農者援助事業	農政課	300	300	263	300	300	1,463	産業	
234	企業人材確保・育成支援事業 (旧：中小企業人材育成支援事業)	商工観光課	463	926	1,013	34,799	61,279	98,480	産業	
289	商店街等活性化事業	商工観光課	3,189	3,488	5,914	12,249	10,285	35,125	産業	
295	新規起業支援事業	商工観光課	4,162	2,486	2,068	5,625	5,745	20,086	産業	
233	雇用対策事業	商工観光課	51,875	54,167	57,344	65,531	64,880	293,797	産業	
291	企業誘致対策事業	商工観光課	18,151	19,410	47,413	26,948	47,658	159,580	産業	

4. 主な指標の達成状況

No.	関連事業	成果指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	単位
1	127	介護職員初任者研修課程修了者のうち新規就労者(就労者/課程修了者)	-	-	0	0			7	人/年
2	233	若者定住就職奨励金申請件数	-	13	27	28			100	人/年
3	233	就職ガイダンス参加企業数	-	18	21	30			20	社/年
4	233	就職ガイダンス参加者数	-	8	10	13			40	人/年
5	251	新規就農者研修支援	-	0	0	0			1	件/年
6	254	新規就農者数	7 (H26)	20	25	32			35	人
7	291	(工場立地)基本協定締結件数(実績/目標)	-	0	1	0				件
8	295	新規起業件数(実績/目標)	-	10	5	4			10	件/年

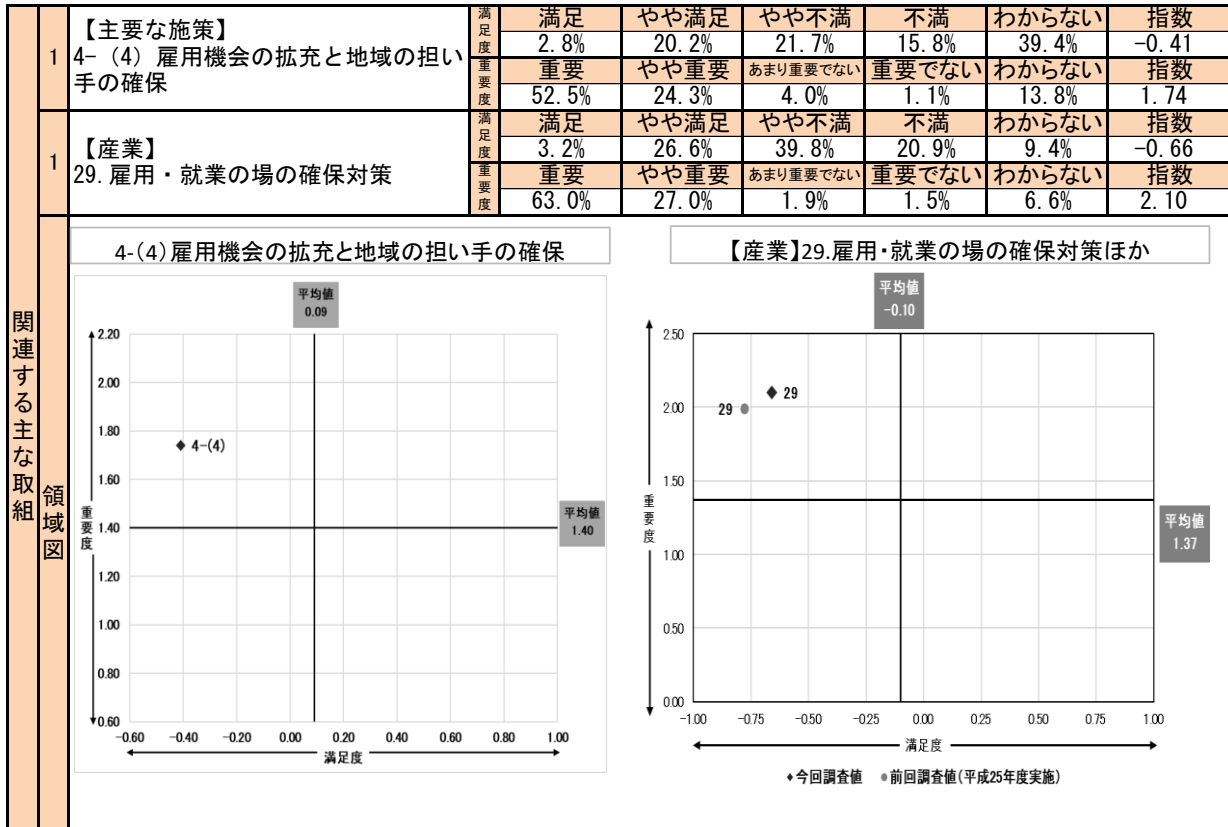
その他の指標

1		魚沼自然教室の参加者数	9,083 (H26)	9,303	9,325	9,679			11,000	人/年
2		体験型観光の受入延べ人数 上段：児童等 下段：その他	- - -	23,064 379	23,143 437	24,263 464			23,500 800	人/年
3		有効求人倍率(9月期)	0.87 (H26)	1.29	1.53	1.38	1.31		1.20 (戦略KPI)	倍
4		事業所数(全産業) ※経済センサス	2,342 (H26)	2,139	-					
5		従業者数(全産業) ※経済センサス	17,172 (H26)	14,512	-					

その他、指標で表すことが困難な効果・成果

--	--

5. 市民アンケート調査結果



6. 分析・検証

魚沼市内の有効求人倍率は、H20～27年度まで1.00未満（ハローワーク南魚沼資料）でしたが、H28年度以降1.00以上となり、求人倍率は上昇しています。一方で、求職者数はH26からH28は減少が続き、H29とH30は、ほぼ横ばいとなっています。しかし、求人があっても求職者が著しく減少しないということは、求人企業と就職者の間で条件等に乖離があるためと考えられます。

人口動態をみると、職業を理由とした転出と転入の差が少なくなってきており、市内高校卒業生の就職状況をみてもH30では、市内、県内就職者数が大半を占めています。人口減少対策を進めるうえで、高校卒業者の地元定着を進めることは重要な取り組みです。

また、雇用対策として取り組んでいる就職ガイダンスの参加企業は、年々増加しているものの、同ガイダンス参加者は伸び悩んでいる状況です。

施策の検証（行政評価会議）※いずれかに○

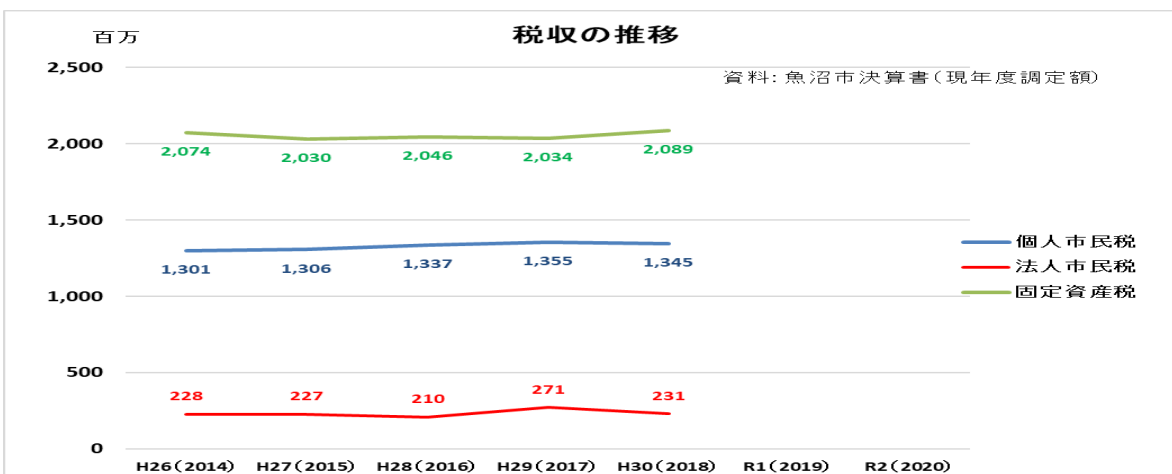
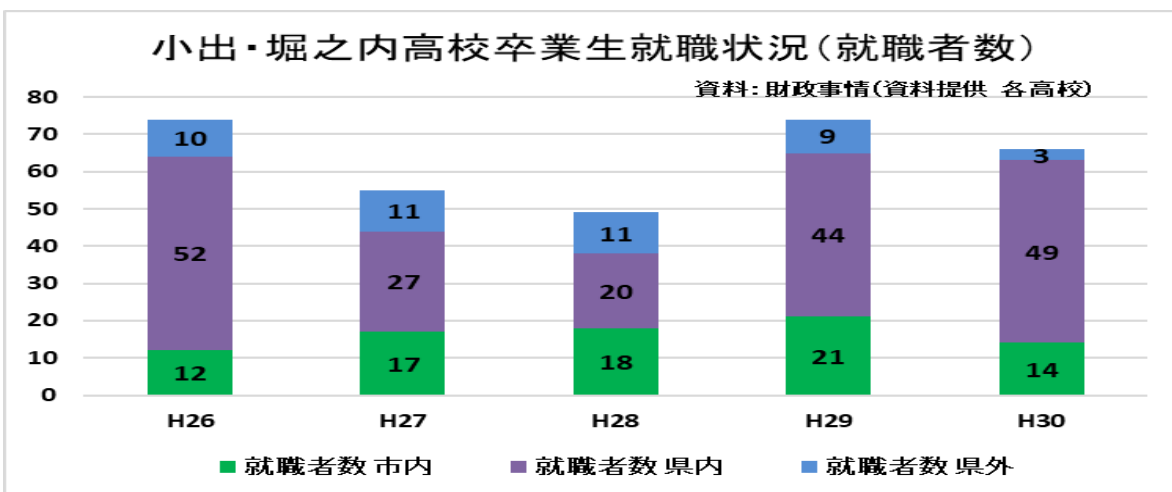
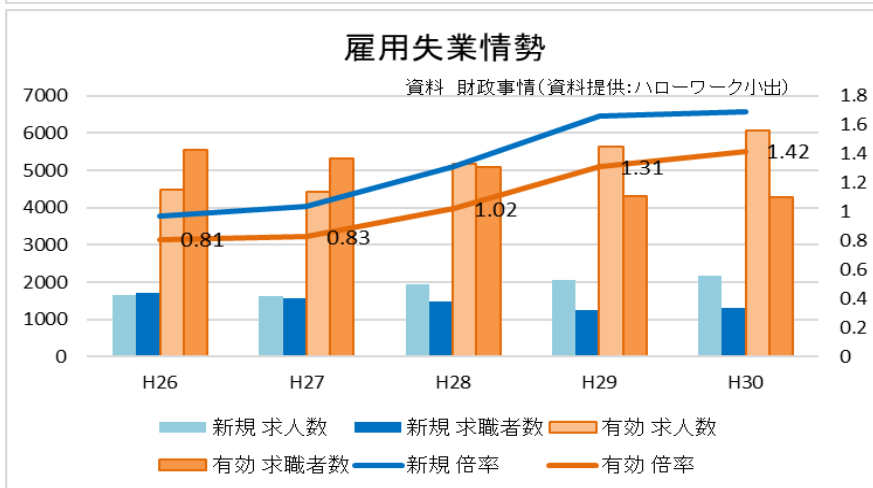
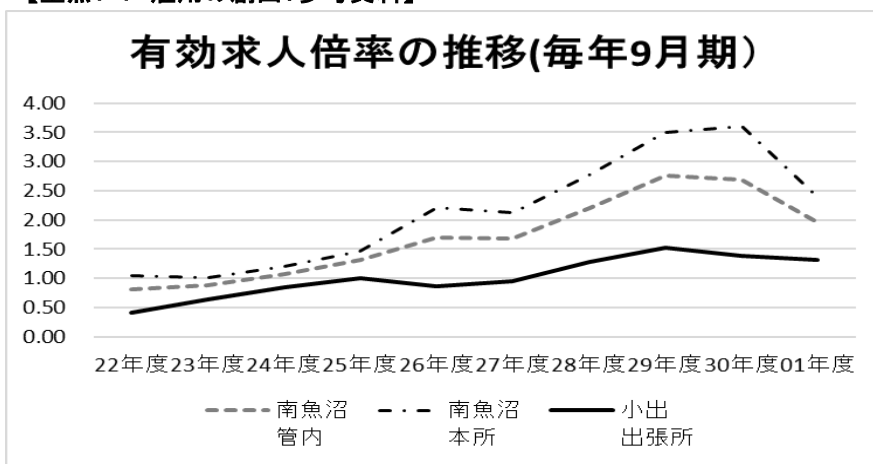
良好		概ね良好		やや不良	○	不良	
----	--	------	--	------	---	----	--

理由

企業誘致は順調に進んでいるが、一概に雇用に結びついていると言える状況ではない。また、求人数は増加傾向ではあるものの、求職者数は横ばいで推移しており、必ずしも希望する職種の求人がないということが課題である。今後は、求職者と求人企業とのマッチングに取り組む必要がある。

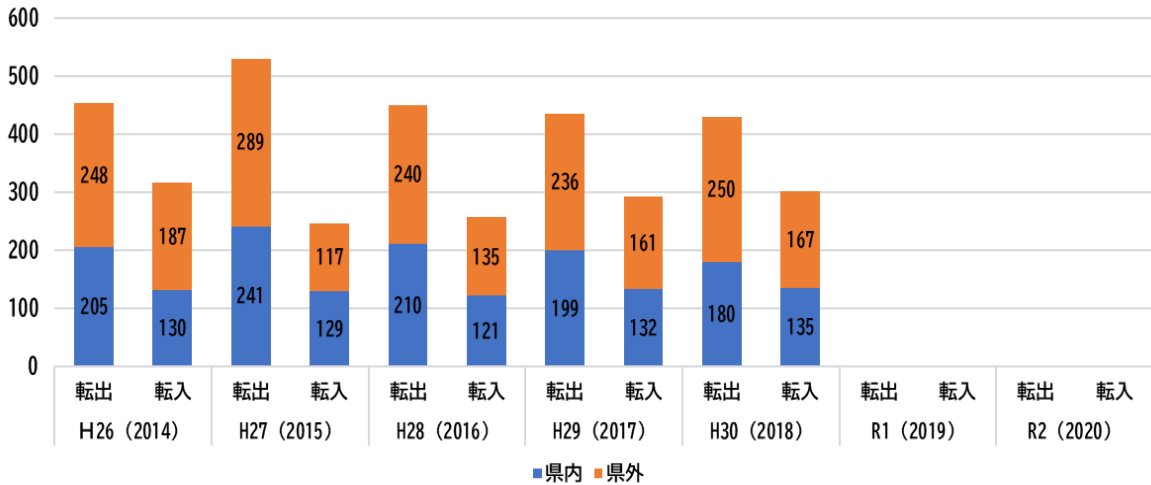
人材確保のための就職ガイダンス参加企業は年々増加しており、同ガイダンス参加者も若干ではあるが増えている。また、UIターン者、新規卒者向けの若者定住就職奨励金事業も増加傾向ではあるが、取組の効果の推移を注視していく必要がある。

【重点1-1 雇用の創出:参考資料】



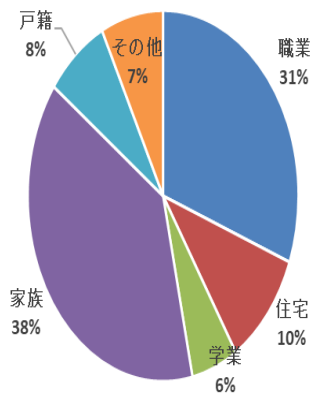
職業を理由とした転出・転入の推移

資料：新潟県の人口移動



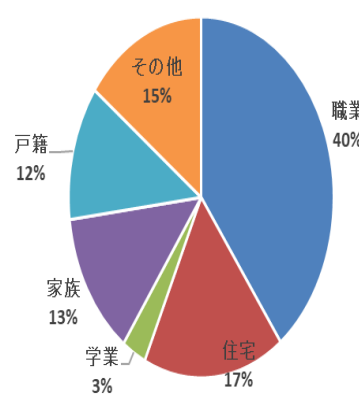
魚沼市からの転出理由割合 (H16~H25の集計)

n=16,505人



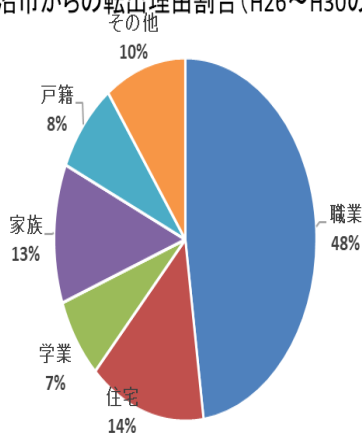
魚沼市への転入理由割合 (H16~H25の集計)

n=8,596人



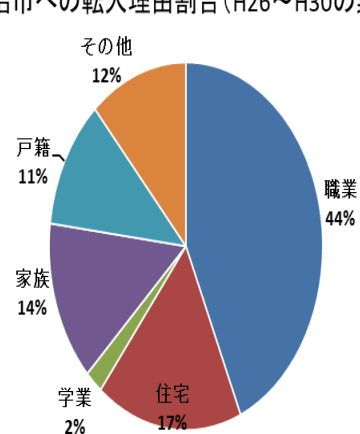
魚沼市からの転出理由割合 (H26~H30の集計)

n=4,810人



魚沼市への転入理由割合 (H26~H30の集計)

n=3,254人



第二次総合計画 前期基本計画 重点施策シート 中間検証

1. 施策の基本事項

主要施策	第1項 人口減少問題対策	検証担当	行政評価会議
施策名	第2号 結婚・出産・子育ての支援		

2. 取組の内容

結婚を希望する若い世代が希望どおり結婚できるよう、出会いの場の創出や相談体制の整備に取り組み、妊娠・出産・子育てについて切れ目のない支援を行います。
また、子どもの健やかな成長を地域全体で見守り育む仕組みづくりをすすめます。

3. 施策を構成する事業

〔事業費単位：千円〕

事業No.	事務事業名	担当課	H28 決算	H29 決算	H30 決算	R1 予算	R2 計画	合計	分野等	
									分野	備考
203	電話健康相談事業	健康増進課	2,559	2,578	2,685	2,664	2,700	13,186	健康福祉	
47	うおぬま出会いサポート事業	地域創生課	1,704	8,588	2,764	3,236	3,348	19,640	健康福祉	
172	要保護児童相談・支援事業	子ども課	1,820	47	76	2,235	2,250	6,428	健康福祉	
196	妊産婦医療費助成事業	子ども課	2,346	2,973	2,633	4,000	4,000	15,952	健康福祉	
198	不妊・不育治療費助成事業	子ども課	1,846	2,454	2,038	4,000	3,500	13,838	健康福祉	H31不育症追加
199	妊婦健診助成事業	子ども課	24,494	21,979	20,987	26,245	26,250	119,955	健康福祉	
511	産後ケア事業	子ども課			12	3,464	3,060	6,536	健康福祉	H30新規
512	産婦健診助成事業	子ども課			952	1,120	2,000	4,072	健康福祉	H30新規
142	公立保育園等整備事業	子ども課	438,557	41,927				480,484	健康福祉 教育文化	
173	子ども・子育て支援事業	子ども課	69	298	400	1,010	450	2,227	健康福祉	
510	子育ての駅整備事業	企画政策課		52,914	108,601			161,515	健康福祉 教育文化	H30完了
514	子育ての駅運営事業	地域創生課				19,160	19,160	38,320	教育文化	H31新規
436	家庭教育事業	生涯学習課	282	302	418	756	850	2,608	教育文化	
166	放課後児童クラブ再編事業	子ども課	64,876	31,888	29,421	3,582	15,672	145,439	教育文化	
376	総合学習支援事業	学校教育課	6,439	6,250	6,901	9,259	7,500	36,349	教育文化	

4. 主な指標の達成状況

No.	関連事業	成果指標名	現状値 (H25)	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	単位
1	196 198 199	子育てが楽しいと感じる人の割合(4ヶ月児健診)	91.5	85.8	90.5	93.4			96.5	%
2		子育てが楽しいと感じる人の割合(1.6歳児健診)	88.8	85.2	82.8	88.7			93.8	%
3		子育てが楽しいと感じる人の割合(3歳児健診)	82.2	75.7	81.5	77.7			87.2	%
4	173 514	子育て支援センターの利用者数(延)	20,838	15,306	15,107	15,185			23,000	人
5		(1.6歳児健診アンケートで)相談相手がいないと答えた人数 ※少ない方がよい		4	2	0			0	人

その他の指標

1		ハッピーパートナー企業登録社数	2	8	10	10			13	社
2	※新潟	婚姻率(人口千対)	上段:市	3.7	4.1	3.7			—	%
			下段:新潟県	4.3	4.1	4.0				
3	年報保健福祉	出生率(人口千対)	上段:市	6.4	6.2	6.1			—	%
			下段:新潟県	7.4	6.9	6.6				
4	合計	特殊出生率	上段:市	1.59	1.63	1.57				
			中段:新潟県	1.44	1.43	1.41			2.07	人口置換水準
			下段:全国	1.43	1.44	1.43				

その他、指標で表すことが困難な効果・成果

●冬期間及び雨天時の遊び場、親の交流の場の確保:子育ての駅かたつき建設(H30)
●子育て世代の負担の軽減:子ども医療費の助成※、第2子以上の保育料無償化(H30～)、妊産婦医療費助成、妊婦健診回数助成(H30～)、産婦健診1回分の費用助成(H30～)、インフルエンザ(18歳以下)・おたふくかぜ(就学前児童)予防接種の費用助成(H30～)、
※子ども医療費助成:保険診療による自己負担額のうち一部負担金を超える額を助成
一部負担金:通院1回あたり530円(同じ病院・同じ診療科で月4回まで負担。5回目からは負担なし(H27.4～入院の一部負担(1,200円/日)廃止、H29.4～対象年齢を15歳から18歳に引き上げ)

5. 市民アンケート調査結果等

関連する主な取組 領域図	1	【主要な施策】 3-2 安心して産み育てる喜びを感じることができる社会の構築	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない・無回答	指数
				12.8%	31.1%	14.2%	6.6%	35.3%	0.36
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない・無回答	指数
				64.3%	20.8%	1.3%	0.6%	13.0%	2.11
	2	【市の取組：健康・福祉】 37. 幼児保育や子育て支援の充実	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	指数
				10.2%	42.6%	26.8%	6.2%	14.2%	0.28
			重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	指数
				53.6%	30.4%	4.7%	1.3%	10.0%	1.82
	3 (2) 安心して産み育てることができる社会の構築		【健康・福祉】37幼児保育や子育て支援の充実						

6. 分析・検証

15歳～49歳年齢人口の減少に伴い、婚姻件数及び出生数は年々減少しており、婚姻率*並びに出生率*のどちらにおいても新潟県平均を下回っています。合計特殊出生率は、全国並びに新潟県平均を上回っていますが、人口規模による影響を大きく受けるため、長期的に推移を注視する必要があります。

妊産婦への各種助成及び子ども医療費助成など経済的な支援体制が整ってきている一方で、乳幼児健診における保護者へのアンケート結果では「子育てが楽しい」と答える人の割合が、子どもの年齢が上がるにつれ下がっていることから、子どもの成長とともに変化する保護者の悩みなどに寄り添い、孤立させない支援体制を整える必要があります。

*婚姻率・出生率：人口千人当たりでの率

市民アンケートの結果では、「安心して産み育てることができる社会の構築」に対する重要度は非常に高く、満足度についても平均値を上回っていますが、満足度で「わからない」と回答した人が35%にもなったことは、直接的に子育てに関係していない年代や世帯に市の子育て支援の取り組みが周知されていないためと考えられます。全世代に向けた取り組みの周知が必要です。

「幼児保育や子育て支援の充実」については、重要度、満足度ともに前回調査から上昇しています。どちらの設問に対しても、「重要」と答えた人が50%を超えており、市民の関心が高いことが分かります。

施策の検証（行政評価会議）※いずれかに○

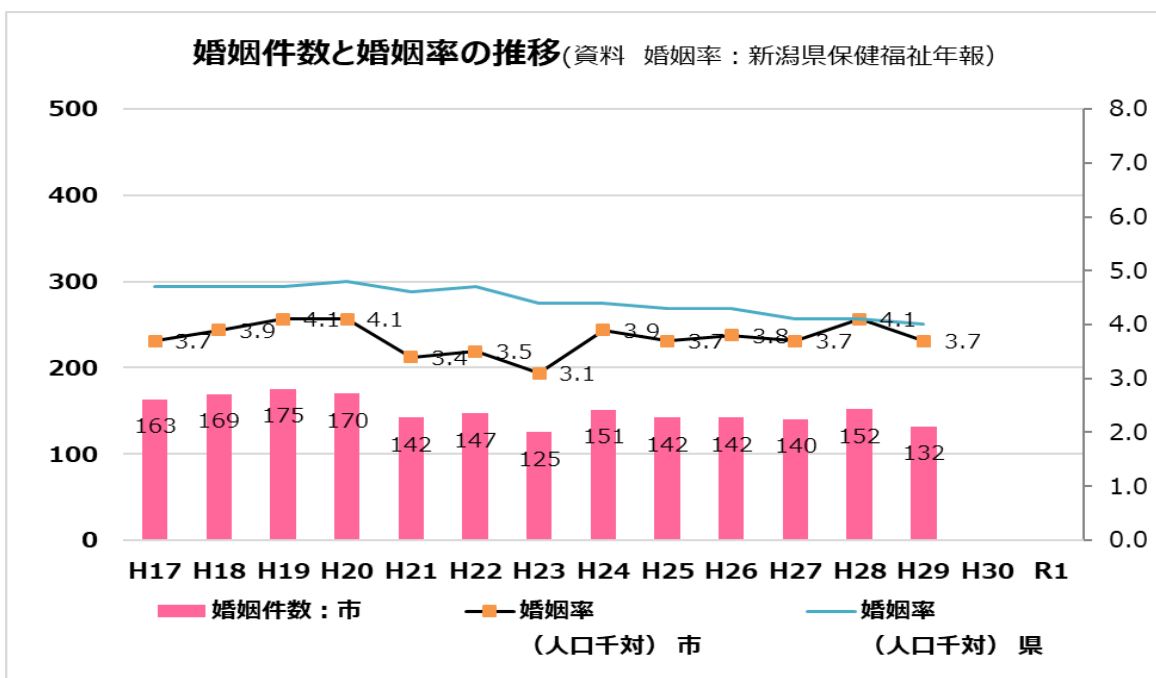
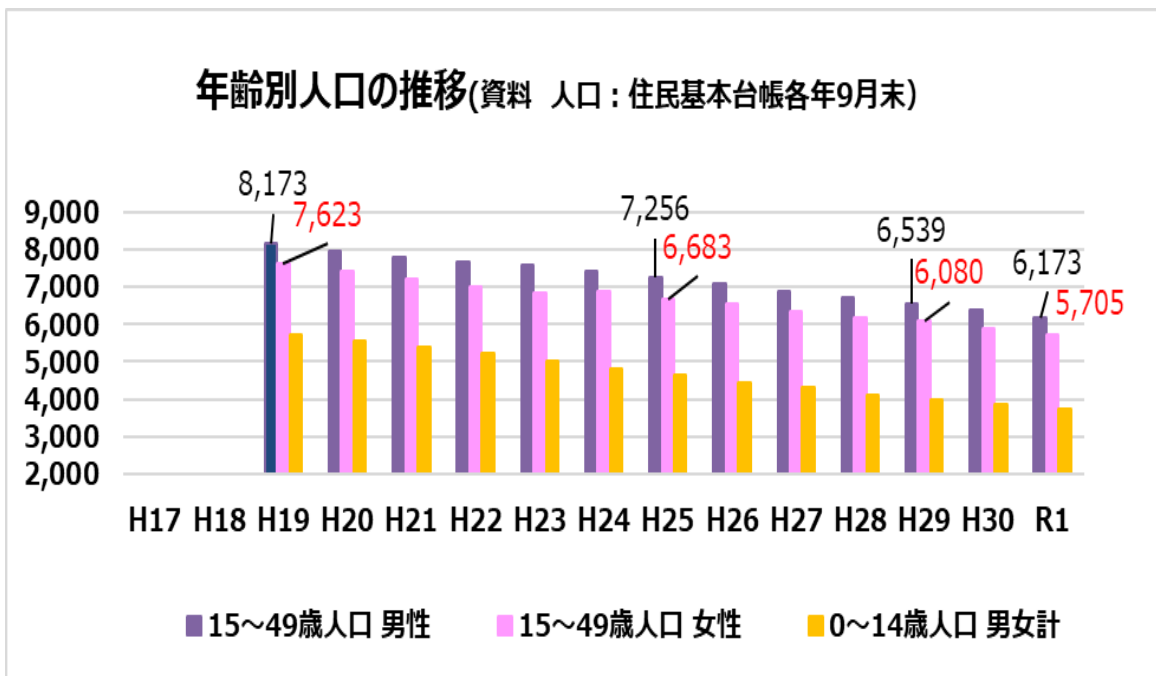
良好	概ね良好	○	やや不良	不良
----	------	---	------	----

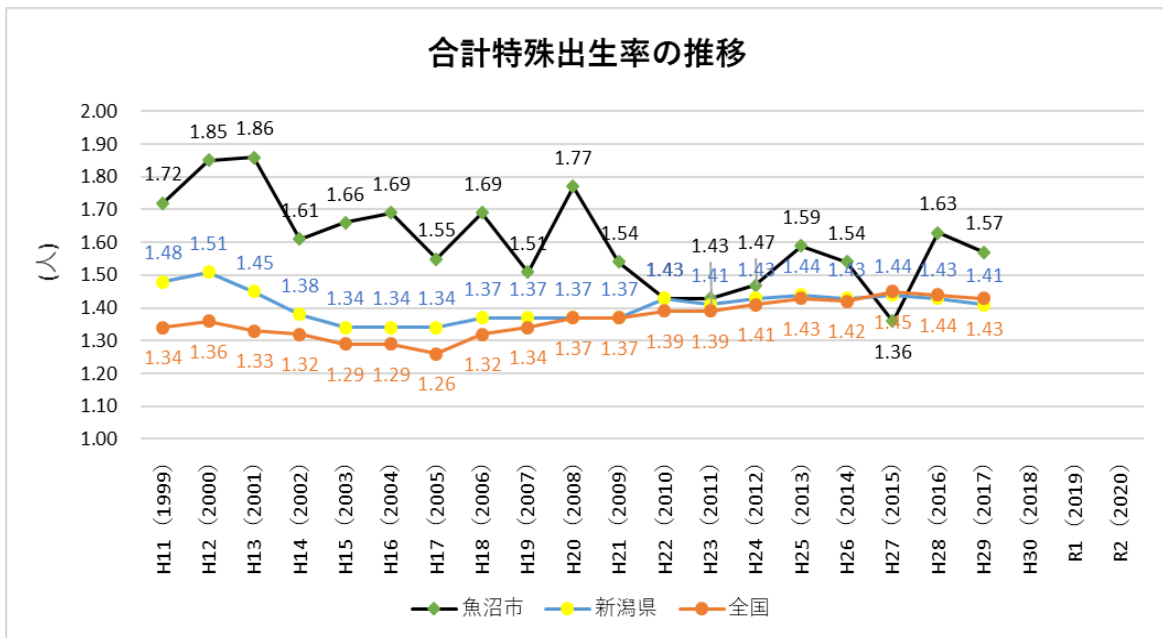
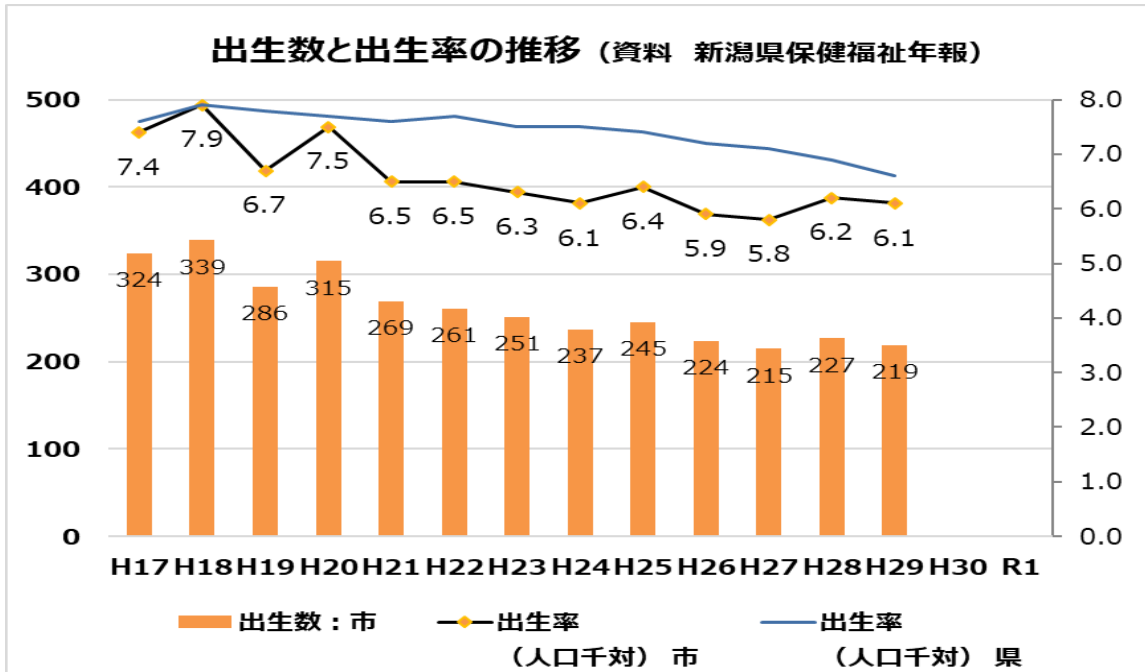
理由

婚姻率及び出生率のいずれも新潟県平均を下回っている状況ですが、平成26年～平成27年に5%台であった出生率は平成28年及び平成29年ではわずかに上昇し、回復の兆しも見えます。また、市民アンケート調査の結果においても、重要度に対する満足度は平均値より高い評価となりました。

不妊治療費助成、妊産婦医療費助成、子ども医療費助成、第2子以降保育料無償化等、妊娠期から子育て期の経済的支援と乳幼児健診の場や子育て支援センターぱびぷでの相談支援、交流の場としての子育ての駅かたっくりの開設など、切れ目のない支援体制の整備が確実に進んでいると判断し「概ね良好」としました。

【重点1-2 子育て支援:参考資料】





合計特殊出生率について (人口置換水準:2.07)
 合計特殊出生率は、人口規模による偶然変動の影響を大きく受けるため取り扱いには注意が必要

第二次総合計画 前期基本計画 重点施策シート 中間検証

1. 施策の基本事項

主要施策	第2項 地域資源の活用	検証担当	行政評価会議
施策名	第1号 食のまちづくりの推進		

2. 取組の内容

本市の豊かで良質な水と、四季がはっきりとした気候は、魚沼産コシヒカリだけでなく、おいしくて安全な食材を育みます。これらを活かし、健康づくりや食育に加えて、地産地消をすすめ、地域の活性化や産業振興まで「食」をテーマにお互いを結びつけ、「食でつながる元気なまちづくり」を推進します。

3. 施策を構成する事業

〔事業費単位：千円〕

事業No.	事務事業名	担当課	H28 決算	H29 決算	H30 決算	R1 予算	R2 計画	合計	分野等	
									分野	備考
301	誘客宣伝事業	商工観光課	51,921	65,573	67,080	69,006	78,345	331,925	環境衛生/自然/産業	
302	体験型観光推進事業	商工観光課	14,744	17,778	25,567	30,239	29,753	118,081	環境衛生/自然/産業	
210	食でつながる元気なまちづくり推進事業	企画政策課	4,102	13,516	12,386	17,969	16,576	64,549	健康福祉/産業	
211	健康づくり支援事業	健康増進課	300	849	1,031	1,797	1,720	5,697	健康福祉/教育文化	
245	地産地消・販路拡大推進事業	農政課	733	3,099	5,266	5,738	5,738	20,574	産業	
482	学校給食支援事業	学校教育課	5,060	4,389	3,654	4,396	4,800	22,299	産業/教育文化	
291	企業誘致対策事業	商工観光課	18,151	19,410	47,413	26,948	47,658	159,580	産業	

4. 主な指標の達成状況

No.	関連事業	成果指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	単位
1	301	年間観光客の入込数 (※食まち推進計画評価指標)	1,384 (H25)	1,579	1,534	1,588			2,000 (1,550)	千人
2		体験型観光の受入人数(延児童数) (※食まち推進計画評価指標)	21,988 (H26)	23,064	23,143	24,263			23,500 (24,000)	人
3	210	「食まちおめま」を知っている人の割合 (2歳、3歳児健診における保護者アンケート)		42.0	70.0	81.0			80.0	%
4	245	魚沼ブランド推奨品数 (※食まち推進計画評価指標)	44 (H26)	46	43	55			65 (70)	品
5	245	市内直売所年間販売額 (※食まち推進計画評価指標)	223,975 (H26)	229,891	237,176	235,071			245,000 (270,000)	千円
6	291	工場立地基本協定締結件数		0	1	0			-	件

その他の指標（食でつながる元気なまちづくり推進計画における評価指標より）

1		学校給食年間使用食材における市内産食材使用割合	9.5 (H26)	-	-	-	-	-	10.5	%	
2		市内食品製造業者等による新商品開発支援数(延)	1 (H26)	-	-	-	-	-	5	件	
3		食に関連した新規起業家への支援数(延)	2 (H26)	-	-	-	-	-	5	件	
4		環境学習講座等の参加者数	1,525 (H26)	2,245	1,612	1,956			1,600	人/年	
5		堆肥販売量	2,300 (H26)	販売代金ベース 18,939千円	販売代金ベース 12,717千円	販売代金ベース 16,872千円			2,420	t/年	
6		森林資源の利用量	1,723 (H26)	3,007	2,345	2,589			3,300	t/年	
7		適正体重(BMI値18.5以上25未満)の人の割合 ※40～64歳特定検診受信者	71.4 (H26)						73.0	%	
8		肥満傾向にある子どもの割合 (小学5年生) ※学校保健統計 10歳	男子	上段:市 下段:県	16.99	14.02	12.28	12.63		減少 させる	%
			女子	上段:市 下段:県	9.33	7.79	8.05	7.01			

その他の指標

1		新潟県消費者動向調査における地元購買率(全品目)※3年に1回調査	55.1 (H25)	57.8	-	-			55.0	%
2		新潟県消費者動向調査における地元購買率(最寄品:日用雑貨、生鮮食料品、一般食料品)	84.1 (H25)	89.5	-	-			-	%
3		新潟県消費者動向調査における最寄品(日用雑貨、生鮮食料品、一般食料品)購買流入人口	5,057 (H25)	5,965	-	-			-	人

その他、指標で表すことが困難な効果・成果

- 小中学校での「減塩給食」一斉実施:H29、H30
- 各種イベント等を活用した地場産食材のPR(観光産業見本市ツアーEXPOジャパン、フードメッセinにいがた、各地物産展等)
- 小学生による魚沼の食材、伝統料理を活用した弁当の企画、販売(H29、H30 里山まつり)

5. 市民アンケート調査結果

1	【主要な施策】 4- (1) 地域資源の活用による産業振興	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない・無回答	指数
			5.3%	25.7%	22.8%	7.4%	38.9%	-0.03
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない・無回答	指数
			34.2%	38.5%	6.4%	1.9%	19.1%	1.29

関連する主な取組	領域図		
----------	-----	--	--

6. 分析・検証

商品のブランド力向上のための「魚沼ブランド推奨品」については、登録数が順調に増加していますが、その効果が確認できていないため、今後の課題です。

誘客宣伝事業、体験型観光推進事業においては観光客入込、体験型観光の受入人数は増加していますが、冬期に集客が落ち込むなど、季節による影響が大きくなっています。

「地域資源の活用による産業振興」に対するアンケート結果では、重要度・満足度ともに平均値を下回っています。満足度については、およそ4割の人が「わからない」と回答しており、取組の内容、成果及び効果が市民に伝わりにくい状況であることが分かります。

施策の検証（行政評価会議）※いずれかに○

良好		概ね良好		やや不良	○	不良	
----	--	------	--	------	---	----	--



理由

「食のまちづくり」については、食による健康づくり、地産地消による地域活性化及び産業振興を結び付けた「食でつながる元気なまちづくり推進事業」を平成26年度に開始し、健康・農・商工・観光の各部門が、それぞれの役割を果たしながら連携を強化し取り組みを推進してきた。

食まの各種イベントや体験型を含む観光客入込数は増加傾向ではあるが、「食」をテーマとした健康、産業振興、地域活性化における全体的な指標の達成には、さらに取り組みを強化する必要がある。

特に、販路拡大については、「魚沼ブランド推奨品」制度によるブランド力向上と販売力の強化を目指したが、効果の検証はこれから実施する必要があるため「やや不良」と判断した。

【重点 2-1 食のまちづくり: 参考資料】

「世界農林業センサス」、農林業センサス

年次, 市町村		魚沼市	魚沼市
		平成22年	平成27年
農家数	総農家数	3 731	3 089
	販売農家 ¹⁾	2 567	2 047
	専業農家	456	378
	第1種兼業農家 ³⁾	260	130
	第2種兼業農家 ⁴⁾	1 851	1 539
	自給的農家 ²⁾	1 164	1 042
農業 経営体数 ⁵⁾		2 613	2 099

- 1) 経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家
- 2) 経営耕地面積が30a未満でかつ調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家
- 3) 農業所得を主とする兼業農
- 4) 農業所得を従とする兼業農家
- 5) 農産物の生産又は作業に係る面積・頭数が一定の規模に該当する事業を行うか、又は委託を受けて農作業を行う者

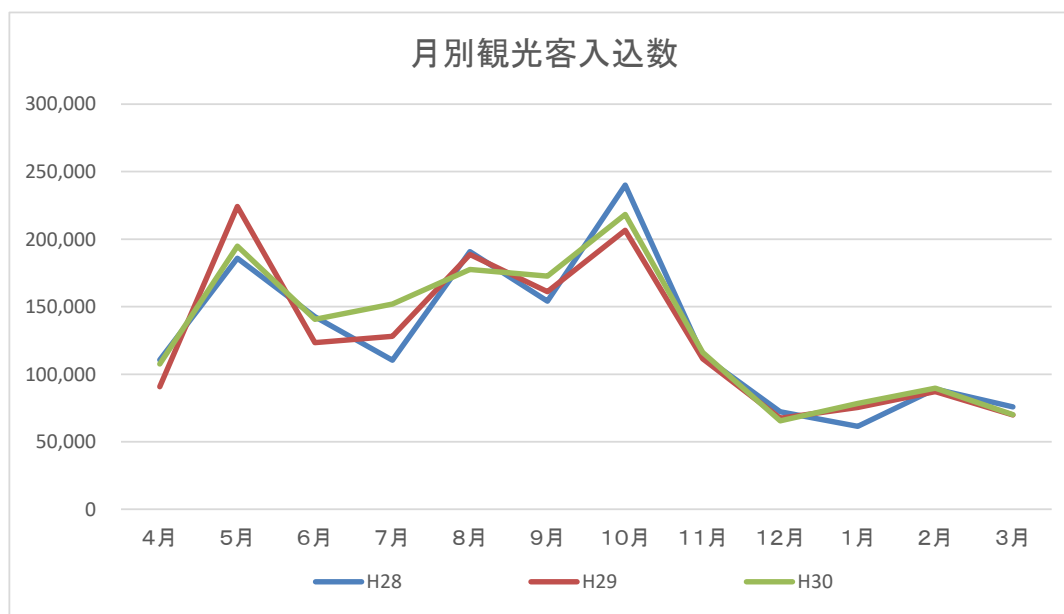
水稲作付面積・収穫量

資料 北陸農政局統計部「水稲の市町村別収穫量(新潟県)」

年次, 市町村		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	
		魚沼市	魚沼市	魚沼市	魚沼市	魚沼市	魚沼市	魚沼市	魚沼市	
作付面積	ha	2 650	2 560	2 580	2 580	2 540	2 530	2 490	2 470	
10a当たり収量	kg	517	511	532	526	508	563	510	514	
収穫量	t	13 700	13 100	13 700	13 600	12 900	14 200	12 700	12 700	
対前年差	作付面積	ha	30	△ 90	20	0	△ 40	△ 10	△ 40	△ 20
	10a当たり	kg	26	△ 6	21	△ 6	△ 18	55	△ 53	4
	収穫量	t	900	△ 600	600	△ 100	△ 700	1 300	△ 1 500	-

●食まちイベント参加者等

	H28	H29	H30	R1	R2
里山まつり参加者数(延)	1,500	6,800	7,300	7,800	
里山まつり出店数		55	57		
冬物語チケット販売数		898	1,198		
冬物語参加店		32	37		



第二次総合計画 前期基本計画 重点施策シート 中間検証

1. 施策の基本事項

主要施策	第2項 地域資源の活用	検証担当	行政評価会議
施策名	第2号 地域資源を活かした産業おこし		

2. 取組の内容

森林資源を利活用し、木質バイオマスエネルギーの有効利用など新たな取り組みをすすめるほか、雪冷熱のエネルギー利用など、豊富な自然資源の利活用をすすめます。
また、地域の人材や伝統芸能も地域の大事な資源ととらえ、その発掘と活用に努めます。

3. 施策を構成する事業

〔事業費単位：千円〕

事業No.	事務事業名	担当課	H28 決算	H29 決算	H30 決算	R1 予算	R2 計画	合計	分野等	
									分野	備考
346	住宅リフォーム支援事業	都市整備課	52,960	54,331	57,204	50,112	40,120	254,727	生活基盤	
274	森林体験・環境学習事業	農林整備課	299	638	617	1,547	1,387	4,488	環境衛生自然/産業	
273	峠のふるさと広場等再整備事業	農林整備課	25,689	30,133	17,848	4,713	-	78,383	環境衛生自然/産業	R1事業完了
301	誘客宣伝事業	商工観光課	51,921	65,573	67,080	69,006	78,345	331,925	環境衛生自然/産業	
302	体験型観光推進事業	商工観光課	14,744	17,778	25,567	30,239	29,753	118,081	環境衛生自然/産業	
272	木質バイオマス発電支援事業	農林整備課	17,259	0	0	-	-	17,259	環境衛生自然/産業	H31搭載外
275	魚沼市産材の家づくり事業	農林整備課	4,932	6,852	8,364	10,000	10,000	40,148	環境衛生自然/産業	
276	魚沼市産材活用促進事業	農林整備課	13,675	8,658	22,482	834	20,834	66,483	環境衛生自然/産業	
251	農業者育成支援事業	農政課	0	16,039	34,835	49,172	17,100	117,146	産業	
254	新規就農者援助事業	農政課	300	300	263	300	300	1,463	産業	
277	魚沼市伝統技能継承支援事業	農林整備課	8,691	5,922	6,351	7,990	9,190	38,144	産業	
291	企業誘致対策事業	商工観光課	18,151	19,410	47,413	26,948	47,658	159,580	産業	
52	農村文化創生事業	地域創生課	1,490	113	624	3,160	3,160	8,547	市民協働	
46	ふるさと結基金事業	地域創生課	200,207	260,357	407,840	422,626	422,626	1,713,656	市民協働	

4. 主な指標の達成状況

No.	関連事業	成果指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	単位
1	273	ふるさと広場利用者数		2,226	1,522	2,452			2,700	人/年
2	301	年間観光客入込客数	1,384 (H25)	1,579	1,534	1,588			2,000	千人/年
3	302	体験型観光の受入数(延べ宿泊者数) ※小学校児童受入は除く		379	437	464			800	人/年
4	275	地元産木材使用量 ※1棟18㎡×棟数		199	277	363			360	㎡/年
5		新製品開発支援事業による事業化件数	1	3	4	5			5	件
6	251	水田農業機械更新整備経費補助件数 ※H29追加		-	18	24				件/年
7	254	新規就農者数 ※新規就農者等援助事業における対象者		1	0	0				人/年
8		新規就農者数 ※次世代人材投資資金対象者数		6	5	1				人/年
9	277	継承者定着者数 ※支援期間3年(追跡期間:支援終了後3年)	定着者数 支援者数	- 3	- 3	- 3	- -	- -	- -	人
10	277	炭焼き、和紙、木工等体験イベント参加者数		454	238	278			380	人/年
11	52	農村文明に位置付ける累計事業数		概念検討	0	6			20	事業

その他の指標

1		魚沼ブランド推奨品	44 (H26)	46	43	55			65	品
2		新規起業支援事業による起業件数	4 (H25)	10	15	19			25	件
3		事業所数	126 (H26)	127	114	108				事業所
4	工業統計 ※	従業者数	3,100 (H26)	2,846	3,118	3,102				人
5		製造品出荷額	44,526 (H26)	42,689	46,907	47,692				百万円
6		付加価値額 ※従業者数29人以下は粗付加価値額	17,883 (H26)	18,196	19,056	19,662				百万円

その他、指標で表すことが困難な効果・成果

- 大白川地区を拠点とする合同会社の設立(木材の活用)
- 雪冷熱エネルギー利用への補助
- ※ 工業統計:新潟県工業統計報告書
新潟県の独自集計値のため経済産業省が公表している数値と相違する場合があります。
従業者数4人以上の事業所についての集計です。

5. 市民アンケート調査結果

関連する主な取組 領域図	1	【主要な施策】 4- (1) 地域資源の活用による産業振興	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない・無回答	指数	
				5.3%	25.7%	22.8%	7.4%	38.9%	-0.03	
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない・無回答	指数		
			34.2%	38.5%	6.4%	1.9%	19.1%	1.29		
	2	【産業】 28. 観光業の振興	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない・無回答	指数	
				4.9%	35.1%	34.7%	14.0%	11.3%	-0.27	
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない・無回答	指数		
			40.4%	41.3%	7.5%	2.5%	8.3%	1.48		
	4-(1)地域資源の活用による産業振興		【産業】23.農業の振興、24.林業の振興、26.商業の振興、27.工業の振興、28.観光業の振興、29.雇用・就業の場の確保対策							

6. 分析・検証

「地域資源の活用による産業振興」については、「満足」「やや満足」と答えた人の割合が31%で「やや不満」「不満」の合計30.2%を0.8ポイント上回りました。しかし、「わからない」「無回答」も38.9%と高くなっています。産業分野の各種取組の満足度は前回調査から大きな変動はありませんが、「28.観光業の振興」は、大きく後退しました。農産物生産者の意欲向上と加工、製造の振興を目的とした「魚沼ブランド推奨品」は、制度の見直しやPR方法等の課題はありますが、確実に品目を増やしています。今後はブランド力による付加価値を高める取り組みが必要です。木材の活用については、家づくりやブナ材の活用による新製品開発など、一部進捗がありますが、事業が軌道に乗るには、もうしばらく時間が必要です。また、雪冷熱エネルギーの活用は、一部の事業所での貯蔵、冷房システムで利用が始まっています。炭焼き、紙漉き、木工の伝統技能継承支援は、炭焼き2人、紙漉き1人、木工1人に対し支援を継続しています。（紙漉き支援（冬期間）については、炭焼き（春～秋）支援と同一人のため実人数では支援者数3人になります。）

施策の検証（行政評価会議）※いずれかに○

良好	概ね良好	やや不良	○	不良
----	------	------	---	----

理由

木質バイオマス発電については、社会情勢の変化等により事業の推移を見守っている状況であり、魚沼ブランドの推奨品の品目増加や年間観光客の入込数増加、市産材木の活用した新製品開発など一部で進捗が見られるものの、その取り組みはまだ始まったばかりである。効果が現れるまでには、もうしばらく時間が必要と思われる。炭焼き・手漉き和紙・木工の伝統技能継承では、現在延べ4人に対して支援を継続しており、継承者としての定着には、もうしばらく時間が必要と考える。伝統技能体験イベントでは、それなりの集客もあり、今後は、特産品としての付加価値を高める方法も検討する必要があるため「やや不良」と判断した。

第二次総合計画 前期基本計画 重点施策シート 中間検証

1. 施策の基本事項

主要施策	第3項 将来に向けたまちづくりの推進	検証担当	行政評価会議
施策名	第1号 市民参画の推進とコミュニティの充実・強化		

2. 取組の内容

市民主体のまちづくりを推進するために参画と協働をすすめていきます。特に、地域の人財や民間活力などの資源を積極的に活用していきます。
また、高齢化がすすむ中で、誰もが安心して暮らせるよう、地域のコミュニティ基盤の強化・充実に努めます。

3. 施策を構成する事業

〔事業費単位：千円〕

事業	事務事業名	担当課	H28 決算	H29 決算	H30 決算	R1 予算	R2 計画	合計	分野等	
									分野	備考
65	地域との「絆」推進事業	地域創生課・北部事務所	28,325	28,487	33,337	50,385	51,550	192,084	生活基盤/市民協働	
57	ICT推進事業	企画政策課	4,582	597	3,823	4,612	5,067	18,681	生活基盤	
45	移住定住促進事業	地域創生課	6,819	4,625	7,446	8,629	8,629	36,148	生活基盤/市民協働	
130	生きがい活動支援通所事業	介護福祉課	18,901	18,412	23,484	22,620	22,620	106,037	健康福祉	
48	うおぬま未来人財育成事業	地域創生課	1,199	2,870	312	600	600	5,581	市民協働	
61	地域活動支援事業	地域創生課・北部事務所	44,983	40,266	70,896	53,838	54,748	264,731	市民協働	
63	コミュニティ活動支援事業	地域創生課・北部事務所	14,364	16,211	15,317	16,597	17,197	79,686	市民協働	
34	地域交流推進事業	地域創生課・北部事務所	3,503	7,575	4,049	4,871	4,495	24,493	市民協働	

4. 主な指標の達成状況

No.	関連 事業	成果指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	単位
1	65	集落支援員の地域への出動回数 ※地域で活動を行った延べ人数		754	773	800			1,050	人
2	65	お茶会又は巡回訪問実施集落数		24	27	35			35	箇所
3	130	生きがい活動支援通所事業利用者延べ人数		5,522	5,055	5,169			6,700	人
4	63	コミュニティ協議会設立件数		14	15	15			15	団体

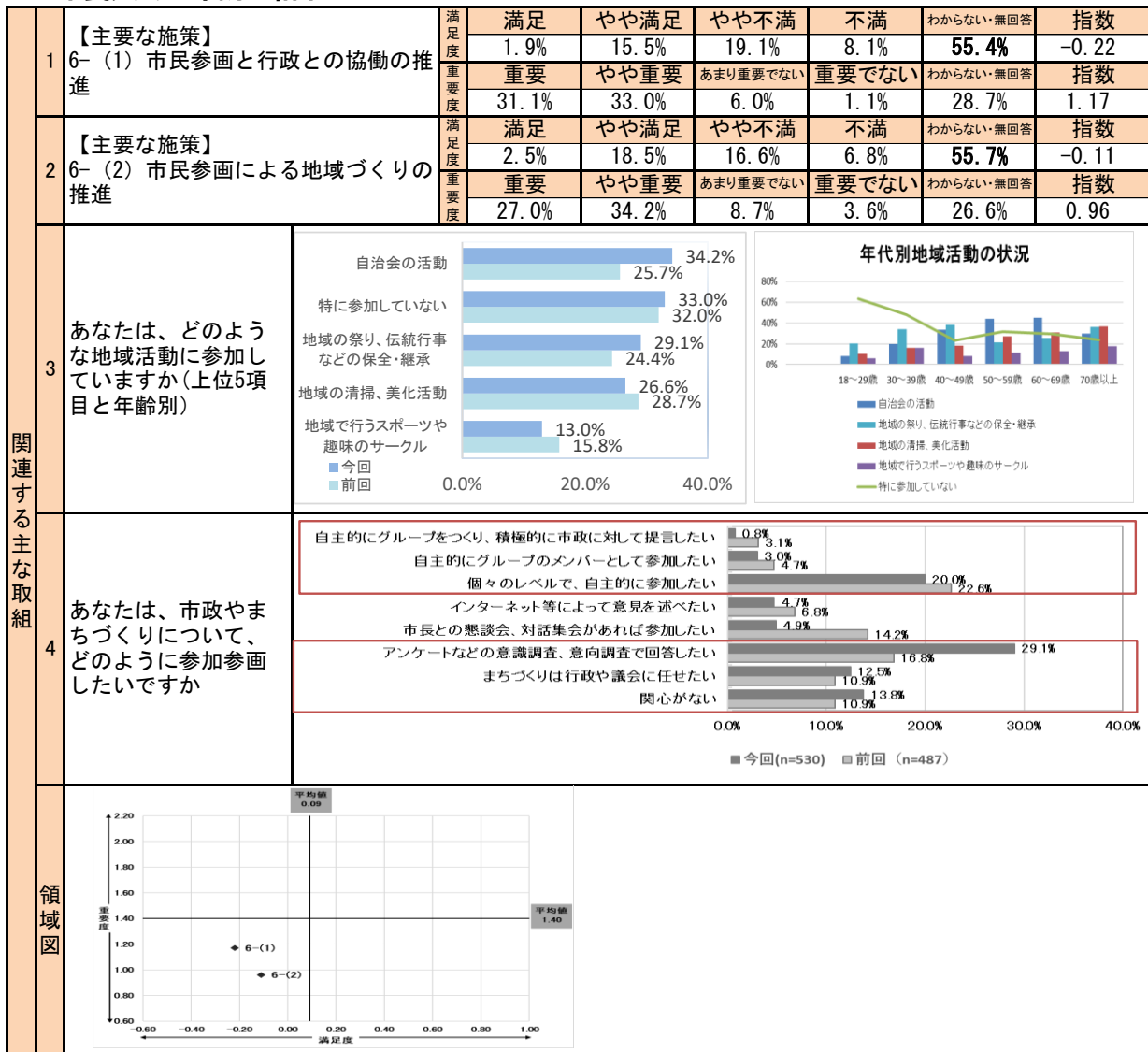
その他の指標

1		市民と行政の協力体制の確立について「満足」「やや満足」と回答した人の割合	33.0 (H25)	-	-	-	17.4		75.0以上	%
2		魚沼市を「暮らしやすい」「どちらかといえば暮らしやすい」と答えた人の割合	51.0 (H25)	-	-	-	58.1		75.0以上	%
3		魚沼市に「ずっと住み続けたい」と答えた人の割合	56.1 (H25)	-	-	-	43.2		68.0以上	%

その他、指標で表すことが困難な効果・成果

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5. 市民アンケート調査結果



6. 分析・検証

地域活動の参加について「自治会への活動」が34.2%と上位ですが、年齢別の内訳からは、20～30代の参加割合が低い状況です。加えて同年代では、「特に参加していない」の割合が高く、地域への関わりが希薄であると推測できます。しかし、祭り・伝統行事には比較的若い年代から参加が見られることから、地域活動が世帯を単位としており、親世代が世帯の代表者として地域活動に参加している間は、若者の出番が少ないためとも考えられます。

市民参画については、行政との協働の推進及び地域づくりの推進のどちらでも「満足」「やや満足」の合計より「やや不満」「不満」が上回っています。なお、満足度で「わからない」が50%を越え、重要度でも25%以上が「わからない」と回答しており、市民参画の取り組みについて周知されていないことが分かります。

また、市政やまちづくりへの参加参画については、前回調査と比較すると積極的に参加したい意向が減少しており、アンケートでの参加や行政や議会に任せるといった消極的な意見が増加しています。

施策の検証（行政評価会議）※いずれかに○

良好	概ね良好	やや不良	○	不良
----	------	------	---	----

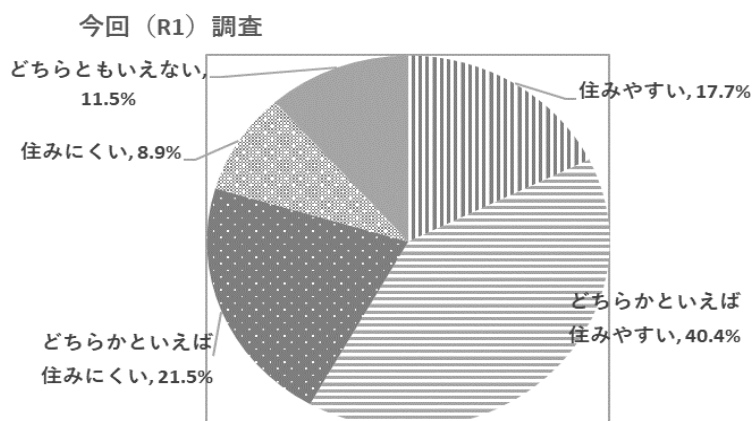
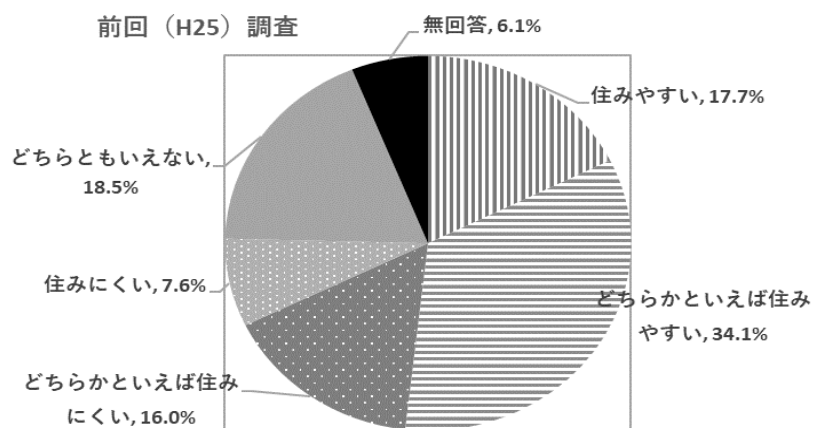
理由

地域課題の解決のためには、市民と行政の協働が必要不可欠ですが、『市民と行政の協力体制の確立について「満足」「やや満足」と回答した人の割合』は、H25と比較して減少してしまいました。また、『市政やまちづくりへの参加』についても、消極的意見が増加しています。

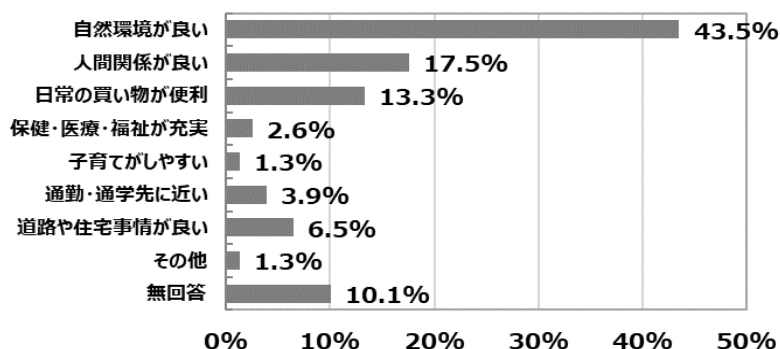
これは、市の取組が市民に上手く伝えられていないこと、市民が市に対して意見を伝える方法が分からないためと考えられます。また合併から15年が経過して市民のまちづくりへの意識が薄れてきていることも考えられます。

【重点3-1 市民参画:参考資料】

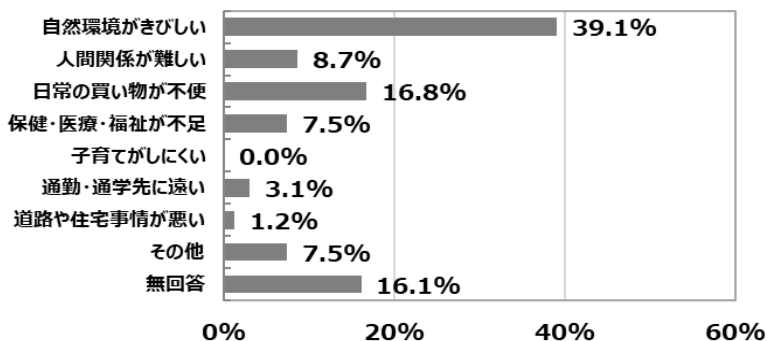
市民アンケート結果:住みやすさに関する前回との比較



住みやすい理由



住みにくい理由



第二次総合計画 前期基本計画 重点施策シート 中間検証

1. 施策の基本事項

主要施策	第3項 将来に向けたまちづくりの推進	検証担当	行政評価会議
施策名	第2号 「魚沼市版コンパクトなまちづくり」の推進		

2. 取組の内容

誰もが安全で暮らしやすいコンパクトなまちづくりに取り組み、あわせて公共交通との連携により市民の利便性向上を図ります。また、公共施設全体の機能や配置を総合的に考慮し、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うほか、近隣自治体間における公共施設の相互利用を促進します。

3. 施策を構成する事業

〔事業費単位：千円〕

事業No.	事務事業名	担当課	H28 決算	H29 決算	H30 決算	R1 予算	R2 計画	合計	分野等	
									分野	備考
314	市道整備事業	建設課	152,905	325,439	343,099	175,000	201,000	1,197,443	生活基盤/健康福祉	
329	都市計画策定事業	都市整備課	4,555	0	0	0	3,000	7,555	生活基盤/健康福祉	
331	都市再生整備計画事業	都市整備課				5,277	2,600	7,877	生活基盤	H31 搭載
332	景観計画策定事業	都市整備課	2,322	6,144	5,844	3,677	0	17,987	生活基盤	R1完了予定
39	公共交通総合連携事業	生活環境課	88,843	100,684	82,749	89,332	89,300	450,908	生活基盤	
75	庁舎再編整備事業	財務課	66,601	147,056	425,566	2,873,200	208,273	3,720,696	市民協働	

4. 主な指標の達成状況

No.	関連事業	成果指標名	現状値	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	単位
1	314	道路整備延長(累計)		1,365	2,251	3,316			7,500	m
2	314	事業完了路線数		2	4	3				路線
3	329	都市計画マスタープラン見直し進捗率		100 (見直し)			50 (中間検証)	100 (中間検証)		%
4	39	乗合タクシー利用者数		25,079	23,554	23,858			28,000	人
5		入広瀬コミバス利用者数			1,984	4,364				人
6	75	新庁舎建設工事進捗率	-	-	-	10.0			100.0	%

その他の指標										
1		魚沼市に「ずっと住み続けたい」と答えた人の割合	56.1 (H25)	-	-	-	43.2		68.0	%
2		外出時の不都合や不安について「道路の段差等、トイレ・階段などの設備」と答えた人の割合	35.6 (H26 ※1)	-	-	-	32.2 (※2)		30.0以下	%
3		外出時の不都合や不安について「経費がかかる」と答えた人の割合	25.9 (H26 ※1)	-	-	-	31.3 (※2)		20.0以下	%

※1 H26魚沼市障害者計画策定のためのニーズ調査に基づく数値、※2 R1魚沼市第二次総合計画に関するアンケート調査に基づく数値であるため単純な比較はできない。(段差、設備の数値には、列車やバスの乗り降りが困難と答えた人も含んでいる。)

その他、指標で表すことが困難な効果・成果
<p>●魚沼地域定住自立圏の取組成果</p> <p>1) 図書館の相互利用開始 魚沼市⇄南魚沼市(H31.4.1協定締結)、魚沼市⇄湯沢町(H31.4.1協定締結)</p>

5. 市民アンケート調査結果

関連する主な取組	1. 道路の整備	満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	指数
			12.6%	47.0%	24.2%	9.1%	7.2%	0.34
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	無回答	指数
			48.9%	38.5%	5.5%	0.8%	6.4%	1.77
		満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	指数
			3.2%	24.9%	39.2%	25.8%	6.8%	-0.82
	2. 鉄道・バス等の公共交通網の充実	重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	無回答	指数
			46.0%	40.8%	6.0%	0.8%	6.4%	1.71
		満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	指数
			4.7%	32.3%	38.1%	13.2%	11.7%	-0.31
		重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	無回答	指数
			30.0%	43.2%	13.4%	2.3%	11.1%	1.13
領域図	<p>平均値 0.14</p> <p>平均値 1.59</p> <p>重要度</p> <p>満足度</p> <p>◆今回調査値 ●前回調査値(平成25年度実施)</p>							

6. 分析・検証

「鉄道・バス等の公共交通網の充実」については、満足度で「不満」「やや不満」の割合が65.0%と前回の45.2%より19.8ポイント上昇し、重要度では「重要」「やや重要」と回答した人の割合が86.8%と前回の70.0%より16.8ポイント上昇しました。交通インフラの整備が、市民生活の質を高めるために重要な役割を担っていることがわかります。

また、「市街地の拠点づくり」についても、満足度は、「不満」「やや不満」の割合が51.3%と前回の34.9%より16.4ポイント上昇し、「重要」「やや重要」と回答した人の割合が73.2%と前回の61.2%より12ポイント上昇したことから、人、モノの交流の拠点をづくり、市民生活の利便性、満足度の向上を図る必要があります。

令和2年5月には、新庁舎への移転が予定されています。

施策の検証（行政評価会議）※いずれかに○

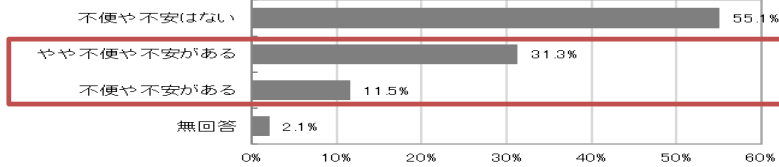
良好		概ね良好		やや不良	○	不良	
----	--	------	--	------	---	----	--

理由

コンパクトなまちづくりについては、当初計画より若干遅れている状況であるが、新庁舎とその周辺のまちづくりの検討が始まり、また既存庁舎の利活用を考える中で、コンパクトなまちづくりをすすめる必要がある。

【重点3-2 コンパクトなまちづくり:参考資料】

●外出時の不便や不安について



●不便や不安の内容

